



組合消防創設50周年記念誌

釧路北部消防事務組合

消防50年の あゆみ

50th
Anniversary





目 次

ご挨拶・祝辞	1
ごあいさつ	
釧路北部消防事務組合 組合長 徳永 哲雄	1
組合消防創設 50 周年を迎えて	
標茶町長 佐藤 吉彦	2
組合消防創設 50 周年を迎えて	
鶴居村長 大石 正行	3
釧路北部消防事務組合創設 50 周年によせて	
北海道釧路総合振興局 局 長 木村 英也	4
組合消防 50 周年を祝して	
釧路北部消防事務組合議会 議 長 徳永 則行	5
記念誌発刊にあたり	
釧路北部消防事務組合 消防長 高田 勝也	6
現況と沿革	7
釧路北部消防事務組合のあゆみ	11
人口・勤続・配置図・消防庁舎等	39
理事者・議員・職団員	49
火災一覧 救急統計	86
表彰・叙勲	105
資 料	111
編集後記	117



ご挨拶

・

祝辞

50th
Anniversary



ごあいさつ

釧路北部消防事務組合

組合長 徳永 哲雄

このたび、釧路北部消防事務組合が創設50周年という大きな節目を迎え、これまでの消防行政発展のためにご尽力賜りました歴代の消防関係者並びにご家族皆様のご労苦に対しまして、深く敬意と感謝を申し上げます。

釧路北部消防事務組合は、昭和48年4月1日に弟子屈町と標茶町の両町により発足し、平成17年には鶴居村が加入し2町1村として消防行政における組織体制を確立して参りました。

これまでの50年を顧みますと、昭和、平成、令和と社会が大きく変遷する中、各種災害は複雑多様化、大規模化しており、想定をはるかに超える規模の災害が各地で発生しております。

崇高な郷土愛に身を呈し、弛まぬ努力を重ねてこられた先人達により地域の安寧秩序が保たれてきたものであります。

さらにこの間、消防の伝統が脈々と継承され常備消防体制が図られるとともに、地域に密着した消防団の組織強化、消防設備の近代化が飛躍的に進展したことは、組合議会をはじめ関係各位、地域住民のご尽力の賜であり、往時を思うに深く感銘し、消防行政の責任者として心から感謝とお礼を申し上げる次第であります。

近年では人口減少に伴う少子高齢化が加速する一方、救急需要は増化しており、消防の担う役割は今後更に増えることが懸念されております。

また、国内では東日本大震災の発生など未曾有の自然災害を経験し、北海道道東地区におきましても千島海溝沿いの巨大地震の発生が今後予想されるなど、消防行政に寄せる地域の期待と信頼は極めて大きく、消防が果たす役割は益々重要なものとなっております。

この度の「組合創設50周年記念誌」の刊行は、これまで、先人達が築き上げてきた栄光や苦難を改めて振り返り、この教訓を活かし、更なる消防力の充実・強化を図るとともに、一層の飛躍と発展を遂げる契機になれば幸いと存じます。

本組合といたしましては、各構成町村とこれまで以上に連携を図り、あらゆる災害に対応すべく、消防職・団員一丸となり、地域防災力の向上と災害に強い街づくりに傾注してまいります。

結びに、これまで本組合の運営にご尽力いただきました関係各位並びに地域の皆様に改めまして感謝申し上げますとともに、今後も尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

50th
Anniversary



常備消防 50 周年を迎えて

標茶町長 佐藤 吉彦
(副組合長)

釧路北部消防事務組合がめでたく創設50周年を迎え、このたび記念誌が発行されることに対しまして、心よりお祝い申し上げます。

釧路北部消防事務組合は、広域消防行政推進の趣旨に則り昭和48年4月1日、弟子屈町と標茶町で創設され、平成17年10月には鶴居村が編入し、現在では職員82名を有する消防事務組合として、2町1村の発展とともに今日の常備消防体制を確立させ、地域住民の生命と財産を守るための重要機関として広く認識されております。

しかし、近年の社会情勢や気候の変化により、火災をはじめとする災害や風水害の様相は複雑多岐にわたり、加えて新型コロナウイルス感染症の拡大など消防を取り巻く環境もめまぐるしい速さで変化しており、地域住民の消防に寄せる期待は、日々の暮らしの安全・安心には欠かすことのできない重要要素となっており、今まで以上に災害に対する対応力が求められております。

このような中、最新鋭の消防車両等の更新、資機材の充実など近代消防としての整備を進めていくとともに、地域住民の防災に対する理解を深め自主防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりにも尽力するなど消防への期待は高まるばかりです。

今後は50年間の歳月の中で培われ、諸先輩より受け継がれた伝統や経験、技術力、さらには精神力を遺憾なく発揮し地域住民に寄り添い、安全・安心を守る砦となるべくなお一層の努力と精進を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、組合の発展に御尽力賜りました皆様、記念誌発刊にあたり御尽力賜りました関係各位に深く感謝を申し上げるとともに、釧路北部消防事務組合のさらなる発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

50th
Anniversary



組合消防 50 周年を記念して

鶴居村長 大石 正行
(副組合長)

釧路北部消防事務組合が、記念すべき設立50周年の節目の年を迎えられましたことを住民の皆様とともに心からお慶び申し上げます。

顧みますと、当組合設立前の日本は高度成長期にあり、産業発展に伴うビル火災の増加や危険物、消防設備の規制などが強化されるほか、救急業務が消防機関の役割となるなど、消防業務の重要性が大きく増した時代であり、こうした社会を背景に、組合は昭和48年に設立されました。

鶴居村においては、市町村合併に伴う広域による消防再編により、平成17年10月から組合の一員として加入させていただきました。

この節目を2町の皆様と一緒に迎えることができ感謝の念に堪えません。

近年、社会経済の変化は目まぐるしく、高齢社会の進展等による救急需要の増加や地震、異常気象による自然災害の大規模化、さらに新型コロナウイルスに代表される新たな感染症など、常に新たな課題や脅威が出現しました。

そうした中、住民の尊い生命と大切な財産を守るという崇高な使命のもと、歴代の組合関係者の皆様におかれては、消防施設の充実や消防機器の近代化、さらに消防職員の資質向上や各地域の消防団との連携による消防体制の強化充実など、不断の努力の積み重ねにより、住民の期待に応える消防組織として発展を続けられてきました。あらためて深く敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

消防職・団員の皆様には、設立から50周年の大きな節目を契機として、住民が安全安心に暮らし続けることができる地域づくりのため、半世紀の長きにわたり築き上げた輝かしい歴史と伝統を守りながら、更なる発展を目指すべく、これまで培ってきた技術の研鑽とより一層の精進を期待する次第であります。

私は、この組合の大きな節目を境に、副組合長としての役割に加え、消防組合を支え、十分な連携を図る構成自治体として役割を果たし、努力してまいり所存でありますので、徳永組合長をはじめ関係皆様のお力添いをお願いする次第であります。

結びに、釧路北部消防事務組合の更なる発展に向け、関係各位には引き続きのご支援とご指導賜りますようお願い申し上げますとともに、消防職・団員をはじめ関係各位の益々のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、組合設立50周年にあたってのお祝いの言葉といたします。

50th
Anniversary

釧路北部消防事務組合 創設 50 周年によせて



北海道釧路総合振興局

局長 木村 英也

釧路北部消防事務組合が創設50周年という大きな節目を迎えられましたことを、心からからお祝い申し上げます。

貴組合は、昭和48年に標茶町、弟子屈町の2町による広域消防組合として創設され、平成17年には新たに鶴居村が加わり、広域的な組織力が強化されるとともに、地域においてより重要な役割を担うこととなりました。

消防活動においては、幾多の災害や火災などから地域住民の生命や暮らしを守ってこられたことに加え、平成23年の東日本大震災の際には、現地に消防職員を派遣し、救急活動等に従事いただくなど、被災された方々の大きな支えとなっていただきました。

また、活動を支える設備の充実については、3町村の各消防署に高規格救急自動車を継続して配備し、令和3年には迅速な情報収集を行うための無人航空機（ドローン）を配置するなど、新たな技術を導入しながら、より効率的に災害に対応できる体制づくりを推進されてきました。

こうした全道の消防機関の模範となる活動を続けられてきたことに対し、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

近年は、全国的に地震や風水害等の大規模災害が多発化・激甚化しており、地域住民の皆様は消防・防災への関心が高まる中、地域防災の中核を担う貴組合への期待は、より一層大きなものとなっております。

釧路総合振興局といたしましても、関係機関等と連携しながら、住民の方々が安心して暮らせる災害に強い地域づくりに取り組んでまいりますので、今後とも御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、釧路北部消防事務組合が、創立50周年を契機として、より住民の皆様への期待に応え、地域の安全・安心の確保に益々ご貢献されることを御期待申し上げますとともに、消防職員並びに団員の皆様の御健勝を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

50th
Anniversary



組合消防 50 周年を祝して

釧路北部消防事務組合議会

議長 徳永 則行

釧路北部消防事務組合が創設50周年を迎え、大変喜ばしい限りであり心からお祝い申し上げます。

顧みれば昭和48年に釧路管内北部地域の弟子屈町と標茶町の両町により消防組合が発足され、平成17年に鶴居村が加入し2町1村で構成する広域消防組織としてご活躍されてきました。

以来、日夜防災の最前線に立ち、火災、救急をはじめあらゆる災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため、献身的に邁進されておりますことに対し、深く敬意を表しますとともに心から感謝を申し上げます。

組合運営にあたり、構成町村理事者の特段のご理解によって、消防体制が充実整備され、地域社会の防火体制づくりにご尽力を賜り、組合消防として地域住民の期待に応え、消防職団員が一丸となり郷土愛の精神で、危険も顧みず懸命な活動に努めていただき、深甚なる敬意を表する次第であります。

全国的に消防の広域化を推進されているなか、住民から災害対応の不安が増し、消防活動に対する住民の関心は一層高まっております。一方、消防行政を取り巻く環境は、各町村の人口減、少子高齢化による職団員の確保に苦難を要する時代となり、複雑化する災害から住民を守るべく消防体制も技術や設備の革新など消防行政の新たな対応が求められております。

組合議会として、組合創設50周年を契機すべく課せられた使命の重大さを再認識し、住民ニーズに応える安全な地域社会の確立に向けて邁進する所存であります。

終わりにあたり、消防職団員皆様のご活躍に深く感謝申し上げますとともに、釧路北部消防事務組合の益々のご発展と構成町村のご繁栄並びに消防関係機関様のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

50th
Anniversary



記念誌発刊にあたり

釧路北部消防事務組合

消防長 **高田 勝也**

このたび、釧路北部消防事務組合が昭和48年4月1日に消防の広域化と常備消防体制確立のため創設され本年で50周年の記念すべき節目を迎えました。

組合創設時は弟子屈町、標茶町の2町で構成され1本部1署3支署3消防団、消防職員29名、消防団員266名で発足し、平成17年には消防広域再編により鶴居村が加入、令和3年には弟子屈消防団と川湯消防団が統合、現在では1本部3署1支署3消防団、消防職員82名、消防団員281名となり組織が強化されるとともに、消防施設、消防車両、各種装備等の充実が図られ災害対応力が格段に向上しました。

当組合がこれまで発展しましたのは、組合構成町村の理事者及び組合議会をはじめ、地域の防火・防災に御尽力いただいている消防防災関係者、協力団体、消防後援会及び地域住民の皆様方のご支援とご協力の賜物と深く敬意と感謝を申し上げます。

半世紀を振り返りますと、社会情勢や生活環境も大きく変化し消防が果たすべき役割も時代と共に変化してきました。創設当時は川湯支署に屈折梯子付消防ポンプ自動車、標茶消防に林野工作車など消防車の配備や消防団の組織強化など「火災」に対し重点がおかれ、高齢化社会、疾病構造の変化により「救急」の需要が高まると平成3年には救急救命士の資格制度が新設され当組合でも平成9年から救急救命士の運用を開始、平成21年にはドクターヘリが運航開始されるなど救急業務の重要性は今なお高まる一方で現在42名の救急救命士が活躍し、予備救急車も含め7台の高規格救急車を運用しております。また、自動車の増加、機械化の進展やアウトドアレジャーの普及に伴い交通事故、労災事故や水難事故など「救助」の要請も増加し、平成6年には標茶消防署に救助工作車配備、平成10年には弟子屈消防署に水難救助隊の編成など救助資機材や救助技術の強化を図り、令和3年には災害情報伝達手段の多重化や各種災害に迅速かつ効果的に対応するため組合の「通信」指令業務を一元化し共同運用しております。

近年では全国で相次ぐ自然災害の発生や大規模地震発生の危惧、未知の感染症の拡大、武力侵攻による影響など、予測が困難な社会情勢となっており、住民の安全・安心に対する関心と消防に対する期待が益々高まっていると認識しているところです。半世紀の中で培われ受け継がれてきた教訓や経験を糧に全職員がより一層の結束を高め、消防団とより強固な連携を図り、消防に対する期待に応えるべく誠心誠意邁進してまいります。

結びに、本記念誌は、釧路北部消防事務組合50年の歩みを記し、諸先輩方が築き上げられたものを改めて振り返り、後世に残すことで時代の変化に相応した当組合の発展に繋がるものと発刊いたしました。発刊にあたり祝意をお寄せいただきました関係各位に心から感謝を申し上げ、併せて編集にご尽力されました皆様に敬意を表するとともに、当組合に対する皆様方からのより一層のご支援とご指導をお願い申し上げ発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

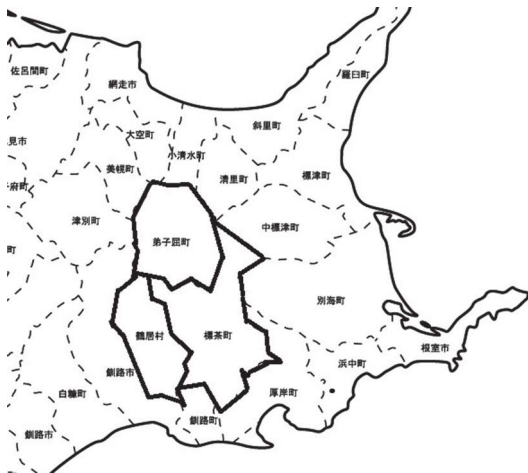


現況と沿革



1 弟子屈町・標茶町・鶴居村の位置

釧路北部消防事務組合は、北海道釧路総合振興局所在地より北へ約20～70kmの地点に位置している。



位 置		
区 分	東 経	北 緯
弟子屈町	144° 36′	43° 42′
標茶町	144° 29′	43° 19′
鶴居村	144° 19′	43° 13′

2 釧路北部消防事務組合の概要

当組合は広域消防行政推進の趣旨に則り、昭和48年4月1日をもって、弟子屈町、標茶町の2町を構成町とし、釧路総合振興局管内の北部に位置することから「釧路北部消防事務組合」と称し、一部事務組合として発足した。平成17年10月には、釧路西部消防組合の解散に伴い、その中の鶴居村が釧路北部消防事務組合に編入し、現在2町1村での組合構成となっている。

当組合の主産業は酪農と観光を主流とし、阿寒国立公園内の屈斜路湖を水源とする釧路川を中心に、その水系の両岸に広がる丘陵台地に広く点在する酪農家と、摩周火山系による摩周温泉、川湯温泉を中心とした観光が経済活動の軸となっており、これらを取りかこむようにして広大な国有林を有し、かつては林業の町として栄えたこともあったが現在では森林資源休養の時代となり、将来に期待されている。消防が管轄する総面積は2,445.50km²と广大で、酪農家の一戸当たり保有面積はおよそ85haで約380戸の酪農家が点在する。これらの酪農家の経済活動となる集落と温泉観光地の高層建築物のホテル街、役場を中心とした商店街となり、それぞれに消防署、支署、消防団、分団（部）の配置が必要なため、消防力の分散による消防財政への影響が極めて大きい。

3 地勢及び気候風土

(1) 地域の範囲及び面積

釧路北部消防の総面積は2,445.50km²（弟子屈町774.33km²、標茶町1,099.37km²、鶴居村571.80km²）で、東西55km、南北92kmの千島系火山脈と平野に囲まれた地域であり、北東はオホーツク総合振興局管内、根室振興局管内に、南西は釧路市阿寒町に接し、道東地区の中心に位置している内陸の中心地帯である。

更に、弟子屈町は阿寒国立公園の60%の面積を、標茶町・鶴居村合せて釧路湿原の75%の面積を占める位置にあり、自然景観に恵まれている。

(2) 自然条件

気 象

気候は一般的に冷涼で積算温度は極めて低く、降雪期の始まりは11月下旬で降雪量は50～80cmと比較的少なく、土面の凍結度は著しい。又、平均の初霜は10月上旬、晩霜が5月下旬で年により変動はあるが霜害を被ることが多い。加えて濃霧の発生が多く日照時間が少ない地域である。

地 形

弟子屈町の大部分は千島火山系に属する高原地帯で、一般に峻嶺の余波を受け起伏が多く、活火山を有し507.09km²の森林に囲まれている。

標茶町は山岳部が少なく、釧路川流域の平野と丘陵台地が大半を占めている。

鶴居村は阿寒カルデラ外輪山を貫流する雪裡、幌呂、久著呂の各川の流域に沿って広がる原野で構成されている。

組合内の起伏については最低が釧路湿原地帯の海拔3.6m、最高が阿寒山麓の原始林帯で海拔812mとなっている。

土 質

弟子屈町の中心部に至る屈斜路湖及び釧路川周辺に一部沖積層が分布し、小河川に沿って湿地、泥炭層が点在するほか大部分は摩周系火山灰土で地味乏しく、酸性土壌で地力の消耗が著しい。反面、標茶町と鶴居村の多くの丘陵間に熊牛、御卒別、久著呂、雪裡、幌呂、茶安別、阿歴内等の原野を有し、地質は第3紀層に属し、概ね肥沃である。

水 利

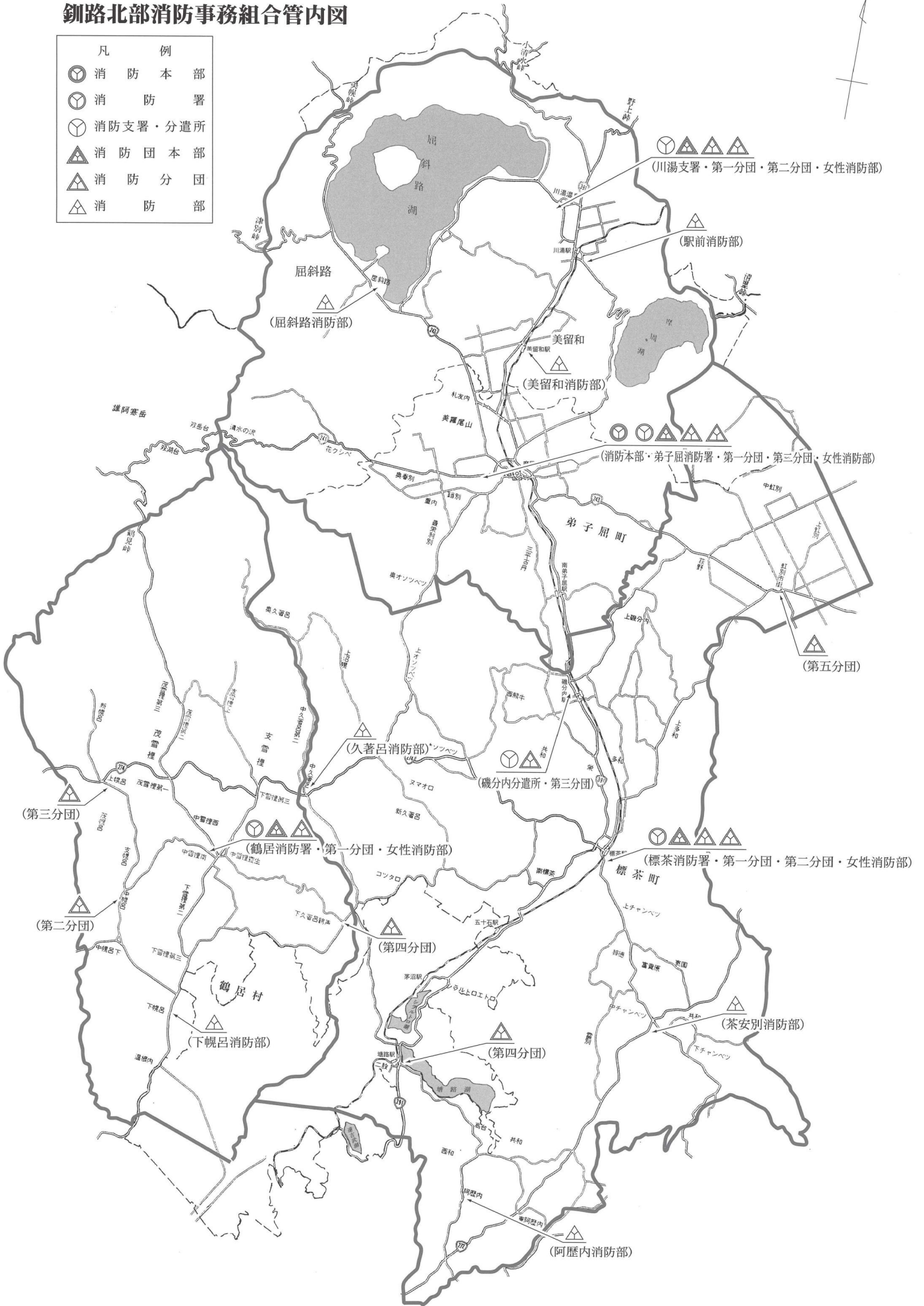
屈斜路湖を源流とする釧路川は、兩岸の丘陵地から流れ出す小河川と合流して地域の中央部を縦貫し、釧路湿原を経て太平洋に注いでいる。又、北東部の西別川は摩周湖の浸出水を源として虹別原野、根室振興局管内別海町を経てオホーツク海に注いでいる。

4 交通・通信・運輸状況

地域の中央部を釧路川に沿ってJ R北海道釧網線が南北に走り、弟子屈町を中心に国道、道道がそれぞれ釧路、網走、北見、根室、帯広の各都市に結ばれ、冬期間の一部を除き定期バス、観光バスが運行している。更には各地区に町村道、農道が発達し、酪農製品である生乳の運搬路として交通の便は良好である。又、通信施設は、一般加入電話に加え、IT関連の通信や携帯電話各社等、広く普及されている。

釧路北部消防事務組合管内図

- 凡 例
- ◎ 消防本部
 - 消防署
 - 消防支署・分遣所
 - △ 消防団本部
 - △ 消防分団
 - △ 消防部





釧路北部消防事務組合のあゆみ

釧路北部消防事務組合のあゆみ

昭和48年

4月1日

国が示した広域市町村圏推進計画により、地域の統合した発展と自治体経営の円滑化のため、共通する事務を効率的に推進しようと広域行政が各地において逐次定着化の方向にあった時、消防の広域化が関係方面で論議されるに至り、道の強力な指導のもとに、消防組合の組織化が具体化し、弟子屈町、標茶町の両町議会において、それぞれ円満議決を経て「釧路北部消防事務組合規約」が制定され、昭和48年4月1日をもって弟子屈町と標茶町を構成町とする「釧路北部消防事務組合」が発足した。組合長には弟子屈町長の堀田正次郎氏が就任した。

消防本部を弟子屈町字弟子屈190番地（弟子屈消防団本部）に置き、5月10日付で初代消防長兼消防署長に釧路市中央消防署次席の守護泰国氏が就任した。

また、弟子屈、川湯、標茶に消防支署が置かれ職員の常備化が図られるとともに、従来役場で行なっていた消防に関する事務を取り扱うこととなった。さらに消防団を組合消防団に改めた。

消防組織として消防本部（消防長外常備職員4名）、弟子屈支署（常備職員9名）、標茶支署（常備職員11名）、川湯支署（常備職員4名）が組合消防署として新設される。

また、消防団定数は弟子屈消防団80名（実員80名）、標茶消防団138名（実員125名）、川湯消防団64名（実員61名）としている。

管理者

組合長 堀田 正次郎
助 役 藤野 昭高
収入役 斉藤 修

監査員

本間 国雄
青木 料作

組合議員

議 長 門屋 盛吾
副議長 横山 登
議 員 本間 国雄
大野 政義
沢頭 定雄
熊谷 市郎
高橋 定夫
野崎 好文
阪口 麻一

消防長兼消防署長 守護 泰国

本部庶務課長 河合 養七

弟子屈支署長 内田 高保

標茶支署長 森 孝

川湯支署長 斎藤 良治

警 防 課 長 秋元 慶亀

弟子屈消防団長 古屋 利八

標茶消防団長 三本仙一郎

川湯消防団長 根津 文男

常備化により、署員の勤務体制は日勤当直制で夜間（17時15分～8時30分）は2名の職員が当直勤務を行い、翌日は朝食後、引き続き日勤業務を行っていた。

救急業務の開始

組合設立に伴い弟子屈・標茶両支署に救急車が配置され組合消防として救急業務を開始する。弟子屈支署にあっては昭和46年11月弟子屈町の建設業国岡組(株)より弟子屈町役場に寄贈された救急車両を移管し運用を開始する。また標茶町においても同時期に標茶市街開業歯科医であった米沢久悦氏より寄贈を受けた救急車両により標茶消防団が運用開始している。車両はそれぞれ国岡号・米沢号と命名され、北部消防の救急の礎となった。当時はバン後部席に担架と簡易的な救急バックを積載しているだけの質素な仕様であった。救急活動も署員2名(夜間・日曜は1名)での出動であり、搬送業務が主であった。



昭和48年救急出動件数 弟子屈支署181件 標茶支署98件



S46年時 弟子屈支署
(現 弟子屈町商工会)



S48年時 標茶支署
(現 標茶町商工会)



昭和48年時 川湯支署

- 8月10日 北海道消防操法大会に川湯消防団が出場し優勝(自動車ポンプ)
- 10月1日 根室北部消防事務組合と災害時における相互応援協定締結
- 10月2日 標茶町虹別に消防団詰所を新築
- 10月19日 弟子屈町湯の島 店舗併用従業員寮火災
現場は飲食店が立ち並ぶ歓楽街であり、出火建物は飲食店
舗及び従業員寮が併設されている大規模雑居建物の半焼火災
で450平方メートルの焼失した。
- 11月20日 標茶支署事務室増築落成式
- 11月28日 標茶支署に水槽付消防ポンプ自動車を購入し配置する



昭和49年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈支署10名 標茶支署12名 川湯支署7名
機分内分遣所1名 計37名

非常備団員現況 弟子屈消防団80名 標茶消防団125名 川湯消防団61名

5月16日 標茶町 国有林パイロットフォレスト山林火災

国有林パイロットフォレスト火災は16日午前7時30分頃、真龍担当区主任から庶務課長宅への通報で覚知、標茶町と厚岸町の両町を跨ぐ山林火災は2昼夜3日間燃え続け、造林地587.53ヘクタール、立木は87万3千本を焼失、この内カラマツ87万本の人工林を焼失した。



焼失したカラマツはパイロットフォレストの人工林の約10%であり、この山林火災による総焼失面積は1,504ヘクタール。

総出動人員は関係機関を含め3日間で総勢4,206人である。

8月10日

消防無線電話機設置（基地局を弟子屈支署・標茶支署・川湯支署に置く）



基地局



車載移動局

磯分内地区電話自動化により119開通

10月28日

川湯支署に屈折梯子付消防ポンプ自動車（20メートル級）を購入し配置する

川湯地区の有志が中心となり3階以上のホテル事業者等からの寄付を受け配備となる。

温泉街の中高層建物火災への防ぎょ活動の要として平成22年の更新まで活躍する。



昭和50年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈支署10名 標茶支署14名 川湯支署7名
磯分内分遣所1名 計39名

非常備団員現況 弟子屈消防団78名 標茶消防団133名 川湯消防団62名

2月25日

川湯消防団に日本消防協会より表彰旗が授与される

3月27日

日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け弟子屈支署に配置する

弟子屈支署で使用されていた国岡号は川湯支署へ配置替えとなり5月より川湯支署で救急業務を開始する。ワンボックスタイプに変更となる。

4月1日

釧路西部消防組合と相互応援協定締結

標茶消防団長第11代目団長に森山廣太郎氏就任

消防団組織規則の改正により各消防団を分団制とする

弟子屈消防団を2分団制とし第1分団に屈斜路班を設置する

川湯消防団を2分団制とする

標茶消防団を3分団から5分団制とする

5月1日

組合長に横山徳住氏（弟子屈町長）就任

5月26日

組合議長に門屋盛吾氏（標茶町長）選出

5月30日

組合助役に吉田千代司氏（弟子屈町助役）就任

10月15日

標茶支署に林野火災工作車を購入し配置する



昭和51年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈支署11名 標茶支署15名 川湯支署8名
磯分内分遣所1名 計39名

非常備団員現況 弟子屈消防団75名 標茶消防団137名 川湯消防団63名

4月1日 弟子屈支署長 笹川三勇士氏、標茶支署長 河合養七氏を発令

6月5日 弟子屈町役場庁舎火災（現 弟子屈町役場駐車場）

午前3時05分頃、弟子屈警察署からの通報により覚知、出火建物は昭和24年建築の老朽木造建物ということもあり、現場到着時には庁舎の大半が炎に包まれている状況であった。この火災により建物延べ1,096.105㎡が全焼、被害総額は3千万円に及んだ。



7月22日 斜里地区消防組合と相互応援協定締結

9月25日 第21回釧路管内消防団員技能競技大会で川湯消防団Aが優勝（自動車ポンプ）

10月17日 標茶町中茶安別に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する

10月31日 標茶町久著呂に消防団詰所を新築

12月8日 釧路北部防火管理協議会設立

昭和52年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈支署11名 標茶支署16名 川湯支署8名
磯分内分遣所1名 計43名

非常備団員現況 弟子屈消防団79名 標茶消防団133名 川湯消防団62名

3月1日 標茶消防団第12代目団長に千葉義一氏就任

弟子屈消防団第2分団に美留和班を設置

7月8日 標茶町中茶安別に消防団詰所を新築

7月21日 北海道消防操法大会に標茶消防団が出場

8月7日 有珠山噴火

10月11日 標茶町塘路に消防ポンプ自動車を購入し配置する

10月22日 弟子屈町川湯駅前小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する

11月23日 弟子屈町屈斜路に消防団詰所を新築



昭和53年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈支署11名 標茶支署15名 川湯支署9名
磯分内分遣所2名 計43名（川湯1名増員）

非常備団員現況 弟子屈消防団77名 標茶消防団135名 川湯消防団64名

2月1日 日本自動車工業会より救急自動車の寄贈を受け標茶支署に配置する

3月15日 釧路北部地区危険物安全協会設立

- 8月31日 弟子屈町美留和に小型動力ポンプ付積載車を購入配置する
- 9月8日 第23回釧路管内消防団員技能競技大会で標茶消防団第3分団が優勝（自動車ポンプ）
- 9月26日 釧路市の拓伸建設工業（株）よりマイクロバスの寄贈を受け弟子屈支署に配置する
- 10月25日 標茶町磯分内に小型動力ポンプ付水槽車（5,000ℓ）を購入し配置する
- 11月20日 弟子屈町川湯駅前に消防団詰所を新築
- 11月25日 標茶町阿歴内に消防団詰所を新築



拓伸号

昭和54年

常備職員現況 消防本部5名 弟子屈消防署12名 標茶消防署17名 川湯支署9名
磯分内分遣所2名 計45名（弟子屈1名・標茶2名増員）

非常備団員現況 弟子屈消防団77名 標茶消防団132名 川湯消防団61名

- 3月1日 標茶消防団第13代目団長に高橋昭寿氏就任
- 5月1日 組合長に横山徳住氏（弟子屈町長）就任
組合助役制度が廃止され副組合長に阿部悟郎氏（標茶町長）就任
- 5月31日 組合議長に野崎好文氏（標茶町議会議員）を選出
- 8月1日 消防組織の機構改革により消防2署制とし弟子屈支署、標茶支署を消防署とする
弟子屈消防署長に笹川三勇士氏、標茶消防署長に河合養七氏を発令
川湯支署長に大友泰雄氏を発令
- 8月23日 川湯支署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
- 9月12日 標茶消防署に水槽付消防ポンプ自動車を購入し配置する
- 9月13日 組合収入役に佐々木進氏（弟子屈町収入役）就任
- 9月14日 第24回釧路管内消防団員技能競技大会を標茶町で開催
- 10月20日 弟子屈町美留和に消防団詰所を新築（サイレン塔併設）

昭和55年

常備職員現況 消防本部5名 弟子屈消防署14名 標茶消防署18名 川湯支署9名
磯分内分遣所2名 計48名（弟子屈2名・標茶1名増員）

非常備団員現況 弟子屈消防団74名 標茶消防団131名 川湯消防団62名

- 2月1日 弟子屈町の摩周工産より指揮車の寄贈を受け弟子屈消防署に配置する
- 4月1日 美幌津別広域事務組合消防本部と相互応援協定締結
- 4月5日 磯分内少年消防クラブ設立（会員24名）
- 6月1日 釧路東部消防組合と相互応援協定締結
- 8月1日 弟子屈婦人防火クラブ設立（会員47名）
学校や家庭などで防火意識を高めることを目的とし各地域で防火クラブが設立される。

8月22日 北海道消防操法大会に弟子屈消防団が出場し準優勝（自動車ポンプ）

9月10日 標茶消防署に消防ポンプ自動車（CDⅡ型）を購入
入し配置する

10月30日 弟子屈消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型を購入
入し配置する

11月6日 標茶婦人防火クラブ設立（会員36名）

12月13日 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け川
湯支署に配置する



弟子屈婦人防火クラブすずらん丘分会

昭和56年

常備職員現況 消防本部5名 弟子屈消防署14名 標茶消防署18名 川湯支署10名
機分内分遣所2名 計49名（川湯支署1名増員）

非常備団員現況 弟子屈消防団76名 標茶消防団129名 川湯消防団63名

3月31日 弟子屈消防庁舎新築移転

弟子屈消防庁舎を弟子屈町字鋸別原野42線西20番69（現美里2-1-1）へ新築移転
構造：鉄骨造2階建



敷地面積：4,747.55㎡

建築面積：1,013.19㎡

総工費：215,079千円

4月16日

標茶消防署長に越善禔氏発令

9月19日

第26回釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈町で開催し川湯消防団が小型ポンプの部、自動車ポンプの部で優勝

10月1日 弟子屈消防職員待機宿舎建設 1棟4世帯

10月25日 第1回弟子屈消防防火フェスティバル開催

防火啓発を目的に火災予防運動の一環として開催されたこの行事は、楽しみながら体験できる防火行事として現在まで引き継がれている。



昭和57年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署18名 川湯支署10名
機分内分遣所2名 計50名（本部1名増員）

非常備団員現況 弟子屈消防団76名 標茶消防団136名 川湯消防団64名

防火基準適合表示制度「適マーク」の開始

昭和55年11月に発生した栃木県川治プリンスホテル火災を契機とし、旅館、ホテル等の宿泊施設に係る防火基準適合表示制度「適マーク」の公布が釧路北部消防事務組合でも開始され、一定規模以上の劇場、百貨店、旅館・ホテル等の防火安全に関する不備事項の是正が図られ、計19件の適マークが公布される。

防火基準適合表示制度は平成14年に消防法が改正され、平成15年9月30日をもって廃止となり替わって防火対象物定期点検報告制度へと法制化された。

公布内訳 弟子屈地区 6件 川湯地区 12件 標茶地区 1件

- 2月1日 釧路市消防本部と相互応援協定締結
- 4月1日 弟子屈消防署と標茶消防署に救急係を新設、4係制となる
救急件数の増大に伴い救急専門部署として救急係が新設される。
- 6月1日 釧路北部防火管理協議会が5月13日を以て解散となり、各署で防火管理協議会が設立される
弟子屈防火管理協議会設立
川湯防火管理協議会設立
標茶防火管理協議会設立
- 6月7日 川湯第7部落で遊覧セスナ機不時着事故により6名が負傷
- 7月28日 第11回全道消防救助技術訓練指導会に弟子屈消防署員4名が出場
- 10月8日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け「火災保険号」と命名し弟子屈消防署に配置する
弟子屈消防職員待機宿舎建設 1棟4世帯 待機宿舎が2棟8世帯となる
- 10月13日 全国消防長会技術委員会を弟子屈町で開催
- 10月27日 標茶消防署に小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）を購入し配置する



昭和57年弟子屈町防火管理協議会

昭和58年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署18名 川湯支署10名
機分内分遣所2名 計50名

非常備団員現況 弟子屈消防団75名 標茶消防団137名 川湯消防団63名

- 3月30日 川湯在住の納谷幸治氏から広報車の寄贈を受け、「納谷号」と命名し川湯支署に配置する
- 4月1日 弟子屈消防団第7代目団長に佐藤繁一氏就任
- 4月21日 標茶消防署に広報車を購入し配置する
- 5月1日 組合長に横山徳住氏（弟子屈町長）就任
副組合長に阿部悟郎氏（標茶町長）就任
- 6月2日 組合議長に鈴木兼好氏（標茶町議会議員）を選出

- 7月1日 標茶消防署長に西村泉氏発令
- 11月14日 川湯支署に水槽付消防ポンプ自動車（3,000ℓ）を購入し配置する

昭和59年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署19名 川湯支署10名
 機分内分遣所2名 計50名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団135名 川湯消防団58名

- 3月8日 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け弟子屈消防署に配置する
- 4月1日 川湯支署に救急係を新設、4係制となる
- 7月27日 北海道消防操法大会に川湯消防団が出場（小型ポンプの部）
- 8月24日 全国消防救助大会（名古屋市）に弟子屈消防署員が梯子登はんの部に出場
- 9月8日 第29回釧路管内消防団員技能競技大会で川湯消防団が優勝（小型ポンプ）
- 10月30日 弟子屈消防署に広報車を購入し配置する

昭和60年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署13名 標茶消防署18名 川湯支署10名
 機分内分遣所2名 計49名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団134名 川湯消防団63名

- 3月1日 川湯消防団第4代目団長に鈴木義光氏就任
- 4月1日 標茶消防署長に関澤幸一氏発令
 立正館幼年消防クラブ設立
 川湯少年消防クラブ設立



- 8月26日 組合議長に江端義夫氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 9月16日 第30回釧路管内消防団員技能競技大会で川湯消防団優勝（自動車ポンプ）
- 10月12日 標茶消防新庁舎建設に向けた設計業務及び地質調査開始

昭和61年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署18名 川湯支署10名
 機分内分遣所2名 計50名

非常備団員現況 弟子屈消防団70名 標茶消防団135名 川湯消防団59名

- 1月21日 弟子屈消防署長に澤頭昇氏発令
- 6月20日 第38回北海道消防大会開催（弟子屈町）
- 7月8日 標茶消防庁舎を標茶町字標茶104番50に新築移転
 構造：鉄筋コンクリート2階建一部鉄骨造
 敷地面積：約10,000㎡
 建築面積：1,198.3㎡
 延床面積：1,248.0㎡
 総工費：375,000千円



- 8月22日 全国消防救助大会（神戸市）に標茶消防署員が梯子登はんの部に出場
- 9月10日 日本消防協会から広報車の寄贈を受け弟子屈消防署に配置する
- 9月19日 五月女克氏、榎本綾子氏、山口芳雄氏、川湯消防後援会から26人乗りマイクロバスの寄贈を受け川湯支署に配置する
- 9月20日 第31回釧路管内消防団員技能競技大会で川湯消防団優勝（小型ポンプ）



昭和62年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署19名 川湯支署10名
 機分内分遣所1名 計50名

非常備団員現況 弟子屈消防団72名 標茶消防団136名 川湯消防団61名

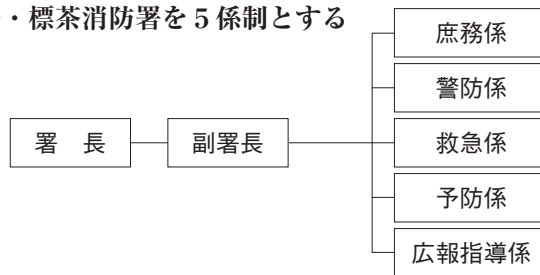
- 2月10日 弟子屈消防団に日本消防協会より表彰旗が授与される
- 3月4日 弟子屈消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与される
- 4月3日 第2代消防長に坪井長治氏発令
- 5月1日 組合長に横山徳住氏（弟子屈町長）就任
 副組合長に阿部悟郎氏（標茶町長）就任
- 5月26日 組合議長に江上義信氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 9月12日 第32回釧路管内消防団員技能競技大会で標茶消防団優勝（自動車ポンプ）
- 11月24日 弟子屈消防署に水槽付消防ポンプ自動車（3,000ℓ）を購入し配置する
- 11月25日 標茶消防署に水槽付消防ポンプ自動車（7,000ℓ）を購入し配置する

昭和63年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署19名 川湯支署10名
磯分内分遣所1名 計50名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団136名 川湯消防団58名

4月1日 弟子屈消防署・標茶消防署を5係制とする



7月29日 北海道消防操法大会に標茶消防団が出場し優勝（自動車ポンプの部）



9月10日 第33回釧路管内消防団員技能競技大会で川湯消防団が優勝（小型ポンプ）

11月14日 弟子屈消防団で29人乗りマイクロバスを購入し弟子屈消防署に配置する

マイクロバス購入にあたっては昭和31年に植林した弟子屈消防団分収林を280万円で売却し購入資金の一部として充てた。

12月1日 弟子屈町泉地区の防災体制整備のため中央・泉地区に防災アンプサイレン設置

平成元年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署19名 川湯支署10名
磯分内分遣所1名 計50名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団134名 川湯消防団61名

2月17日 第3代消防長に伊藤聖二氏発令

3月31日 標茶消防署に広報車を購入し配置する

5月28日 弟子屈消防団が消防施設充実のため植林を実施

前年度マイクロバス購入のため伐採した仁多植林地に職団員で植林を行う。



9月9日 第34回釧路管内消防団員技能競技大会で川湯消防団が優勝（小型ポンプ）

12月1日 弟子屈消防団屈斜路詰所を旧和琴診療所へ移転

平成2年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署19名 川湯支署10名
 機分内分遣所1名 計50名

非常備団員現況 弟子屈消防団71名 標茶消防団132名 川湯消防団56名

- 2月1日 弟子屈町屈斜路消防詰所に防災アンプサイレン設置
- 3月28日 標茶町塘路に消防団車庫を新築（塘路住民センター併設）
- 4月1日 標茶消防署長に鈴木健一氏発令
- 5月27日 弟子屈町奥春別 国有林弟子屈事業区65林班山林火災

5月27日17時20分頃発生した雷が奥春別当別林道先の国有林弟子屈事業区65林班の山頂付近立木に落雷し延焼拡大したもので、翌28日14時15分頃営林署職員により発見された時には広範囲に延焼していたため完全鎮火まで3日間を要し、国有林35ヘクタールを焼失する大規模林野火災となった。



- 12月11日 弟子屈消防署川湯支署、弟子屈町役場川湯支所の合同庁舎を弟子屈町川湯温泉3丁目2番10号に新築
 構造：鉄筋コンクリート2階建
 敷地面積：4,489.71㎡
 建築面積：795.95㎡
 延床面積：1,125.975㎡
 総工費：329,186千円



平成3年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署14名 標茶消防署19名 川湯支署11名
 機分内分遣所1名 計51名

非常備団員現況 弟子屈消防団70名 標茶消防団128名 川湯消防団56名

- 4月1日 消防組織法第39条の規定に基づき北海道広域消防相互応援協定締結
- 4月12日 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（2,000ℓ）の寄贈を受け「摩周号」と命名し弟子屈消防署に配置する
- 4月15日 消防本部に指揮車購入し配置する
- 4月23日 救急救命士法制定
- 5月1日 組合長に吉田千代司氏（弟子屈町長）就任
 副組合長に千葉健氏（標茶町長）就任
- 5月27日 組合議長に鴨志田友則氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 8月6日 日本赤十字社北海道支部釧路支部弟子屈町分区から救急自動車の貸与を受け弟子屈消防署川湯支署に配置する



平成4年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署15名 標茶消防署19名 川湯支署11名
磯分内分遣所1名 計52名

非常備団員現況 弟子屈消防団70名 標茶消防団137名 川湯消防団57名

1月29日 組合収入役に岡田勉氏（弟子屈町収入役）就任

7月1日 大型油圧救助器具を購入し弟子屈消防署と川湯支署に配置

大型油圧救助器具（アムカスレスキューツール）1式

スプレッダー（モデル30CX）

カッター（モデル25）

ラムシリンダー（モデル40）

エンジンポンプ

エアバッグ（マキシーフォース）1式

エアバッグ KPI-32・KPI-44 各1枚

7月31日 北海道消防操法訓練大会に弟子屈消防団が出場し優勝（小型ポンプ）

9月1日 標茶消防団に女性消防部を設置する

10月14日 全国消防操法大会に弟子屈消防団が北海道代表として出場し優良賞を受賞する（小型ポンプ）



10月16日 標茶消防創設100年記念式典を挙行（標茶消防署・標茶消防団）

明治25年、これまでの義勇消防から熊牛消防組へと組織化され、標茶消防100年のこれまでの先人の功績を称え顕彰碑と火の見櫓が建立された。

また、式典に際しては町内からも多くの協賛が寄せられ厳粛かつ盛大に取り行われた。



11月24日 釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署の住所を「川上郡弟子屈町美里2丁目1番1号」に名称変更

平成5年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署15名 標茶消防署20名 川湯支署11名
磯分内分遣所0名 計52名

非常備団員現況 弟子屈消防団66名 標茶消防団134名 川湯消防団56名

- 1月15日 釧路沖地震発生
- 3月2日 標茶町磯分内に水槽付消防ポンプ自動車（1,500ℓ）を購入し配置する
標茶町中久著呂に小型動力消防ポンプ付積載車を購入し配置する
- 4月1日 第4代消防長に安倍良博氏発令
標茶消防署長に川村毅氏発令
- 7月12日 北海道南西沖地震発生
- 9月11日 第38回釧路管内消防団員技能競技大会で弟子屈消防団が優勝（自動車ポンプ）
- 10月16日 組合創設20周年記念式典を挙行（釧路圏摩周観光文化センター）

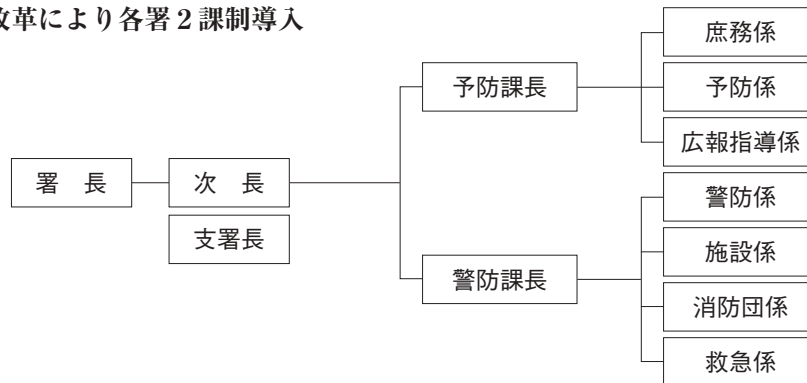
平成6年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署15名 標茶消防署20名 川湯支署12名
磯分内分遣所1名 計54名

非常備団員現況 弟子屈消防団71名 標茶消防団135名 川湯消防団60名

- 2月7日 弟子屈消防署川湯支署に消防職員待機宿舎建設 木造平屋建 1棟2戸
標茶消防署に救助工作車を購入し配置する

- 6月1日 機構改革により各署2課制導入



- 9月10日 第39回釧路管内消防団員技能競技大会で弟子屈消防団が優勝（自動車ポンプ）
- 10月4日 北海道東方沖地震発生

平成7年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署16名 標茶消防署21名 川湯支署12名
磯分内分遣所1名 計56名

非常備団員現況 弟子屈消防団70名 標茶消防団129名 川湯消防団57名

- 1月17日 阪神・淡路大震災発生
5時46分頃、明石海峡を震源としたマグニチュード7.3、都市型地震として戦後最大級の被害をもたらした。
この地震災害を契機に全国の消防機関相互の援助体制を構築するため、6月に緊急消防援助隊が創設された。
- 3月14日 標茶町中茶安別に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
弟子屈消防署に緊急通信指令システム（I型指令台）導入し運用開始する

- 4月1日 川湯消防団第5代目団長に三澤憲政氏就任
- 5月1日 組合長に岡田勉氏（弟子屈町長）就任
副組合長に千葉健氏（標茶町長）就任
- 5月17日 組合議長に松岡悟氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 5月30日 組合収入役に西郷満氏（弟子屈町収入役）就任
- 6月14日 弟子屈ロータリークラブから広報車の寄贈を受け「国際ロータリー弟子屈号」と命名し弟子屈消防署に配置する
- 10月1日 弟子屈消防団第8代目消防団長に林隆雄氏就任
各消防班を消防部に改める
- 11月10日 標茶消防署の住所を「川上郡標茶町旭4丁目6番2号」に名称変更
- 11月16日 弟子屈消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
救急車両が老朽化し更新が迫る中、救急救命士の養成に先駆け導入となる。
- 12月22日 川湯支署に小型動力ポンプ付水槽車（1,000ℓ）を購入し配置する



I型指令台（弟子屈）



高規格救急車（弟子屈）

平成8年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署16名 標茶消防署21名 川湯支署13名
機分内分遣所1名 計58名

非常備団員現況 弟子屈消防団72名 標茶消防団124名 川湯消防団56名

- 2月14日 標茶町阿歴内に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
- 3月6日 弟子屈消防団に消防庁長官より表彰旗が授与される
- 3月18日 弟子屈消防署に水槽付消防ポンプ自動車（6,000ℓ）を購入し配置する
- 4月1日 第5代消防長に大下精氏発令
救急救命士養成のため救急救命東京研修所に標茶消防署より職員1名派遣
- 9月14日 第41回釧路管内消防団員技能競技大会で標茶消防団が優勝（自動車ポンプ）
救急救命士養成のため救急救命東京研修所に弟子屈署・標茶署から各1名派遣
- 11月19日 標茶消防署に組合初の救急救命士誕生
救急救命士法施行から5年、救急業務高度化へ向けた救急救命士の養成が加速する。

平成9年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署23名 川湯支署14名
 機分内分遣所1名 計63名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団129名 川湯消防団58名

- 3月3日 標茶消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
 同年8月より救急救命士運用開始
- 4月1日 川湯消防団に女性消防部を設置する
- 7月1日 弟子屈消防団にラッパ隊を結成する
- 8月7日 弟子屈消防署に消防団活性化整備事業により指揮広報車を購入し配置する
- 8月21日 日本消防協会から軽積載車の寄贈を受け標茶消防署に配置する
- 9月13日 第42回釧路管内消防団員技能競技大会で標茶消防団が優勝（自動車ポンプ）
- 12月1日 弟子屈消防署に高度救命資機材整備



平成10年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署22名 川湯支署14名
 機分内分遣所1名 計62名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団134名 川湯消防団55名

- 1月10日 標茶消防署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
- 4月1日 弟子屈消防署救命士運用開始
- 6月1日 川湯消防団第6代目団長に松田勝吉氏就任
- 7月30日 北海道消防操法大会に標茶消防団が出場し準優勝（自動車ポンプ）
- 9月7日 川湯支署に広報車を購入し配置する
- 11月1日 弟子屈消防署に水難救助隊を編成し運用開始する



平成11年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署23名 川湯支署14名
磯分内分遣所1名 計63名

非常備団員現況 弟子屈消防団75名 標茶消防団127名 川湯消防団55名

- 5月1日 組合長に岡田勉氏（弟子屈町長）就任
副組合長に千葉健氏（標茶町長）就任
- 5月17日 組合議長に徳永行雄氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 7月1日 弟子屈消防署に水難救助用ボートを購入し弟子屈消防署に配置する
- 7月6日 北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け標茶消防署に配置する
- 9月18日 第44回釧路管内消防団員技能競技大会で弟子屈消防団優勝（自動車ポンプ）、及び川湯消防団優勝（小型ポンプ）
- 11月21日 釧路管内女性消防団員研修会を弟子屈町川湯で開催



平成12年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署23名 川湯支署14名
磯分内分遣所1名 計63名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団127名 川湯消防団52名

- 2月26日 地吹雪の中、道々屈斜路摩周湖畔線で観光バスの多重衝突事故発生
観光バス3台が除雪車に相次いで追突、乗客乗員116名が受傷する多数傷者事故となった。
- 3月31日 有珠山噴火災害発生
- 4月1日 第6代消防長に澤頭昇氏発令
弟子屈消防署長に中山十二男氏発令
- 4月23日 硫黄山で落石事故発生
登山中の3名が落石に巻き込まれ、内1名が重症となり道警へりで搬送された。
- 9月9日 第45回釧路管内消防団員技能競技大会で弟子屈消防団優勝（小型ポンプ）
- 11月28日 組合議長に八幡豊行氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 11月17日 組合長職務代理者に副組合長千葉健氏（標茶町長）就任
- 12月25日 組合長に徳永哲雄氏（弟子屈町長）就任
- 12月27日 川湯支署に水槽付き消防ポンプ自動車（3,000ℓ）を購入し配置（更新）する

平成13年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署23名 川湯支署14名
 磯分内分遣所1名 計63名

非常備団員現況 弟子屈消防団77名 標茶消防団127名 川湯消防団55名

- 1月19日 弟子屈町湯の島地区火災発生
 飲食店等が密集する商業地域内の火災で組合第3種出動が発令された。
- 2月1日 組合収入役に寺岡清敏氏（弟子屈町収入役）就任
- 4月1日 第7代消防長に館定勝氏発令
 弟子屈消防署長に船坂計明氏発令
 標茶消防署長に北村久男氏発令
 弟子屈消防団に女性消防部を設置する
- 6月8日 川湯消防団に北海道消防協会より竿頭綬が授与される
- 11月22日 弟子屈町美留和に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する



平成14年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署23名 川湯支署14名
 磯分内分遣所1名 計63名

非常備団員現況 弟子屈消防団76名 標茶消防団125名 川湯消防団53名

- 2月8日 弟子屈消防団に日本消防協会から特別表彰「まとい」が授与される
- 2月20日 標茶町磯分内に小型動力ポンプ付水槽車を（5,000ℓ）を
 購入し配置する
- 2月27日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け「損
 害保険号」と命名し弟子屈消防署に配置する
- 4月1日 標茶町消防団第14代目団長に幸坂邦夫氏就任

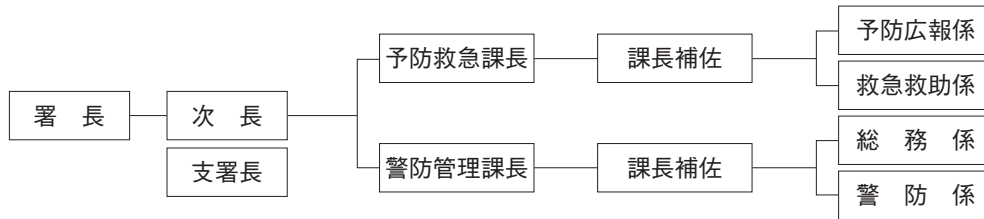


平成15年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署24名 川湯支署14名 計63名

非常備団員現況 弟子屈消防団72名 標茶消防団123名 川湯消防団50名

- 4月1日 標茶町磯分内分遣所の職員常駐を廃止する
 弟子屈町摩周厚生病院が救急指定病院となり救急救命士指示病院として運用開始
- 5月1日 副組合長に今西猛氏（標茶町長）就任
 消防署の機構改革により2課7係を課長補佐職を設け2課4係に改変する



5月18日 組合創設30周年記念式典を挙行（標茶町コンベンションホールういず）
標茶駅前大火50周年記念組合総合演習実施（標茶町）

6月4日 屈斜路湖カヌー転覆事故により3名が受傷

7月24日 北海道消防操法訓練大会に川湯消防団が出場（自動車ポンプ）

10月1日 防火対象物定期点検報告制度施行

平成13年9月の新宿歌舞伎町ビル火災事故を受け、一定の防火対象物の管理の権限を有する者に防火対象物点検資格者に防火管理上必要な業務などについて点検させ、その結果を消防長又は消防署長に報告することが義務付けられました。

10月15日 川湯支署に高規格救急自動車を購入し配置、救命士運用開始

平成16年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署17名 標茶消防署24名 川湯支署14名 計62名

非常備団員現況 弟子屈消防団72名 標茶消防団133名 川湯消防団50名

4月1日 第8代消防長に中山十二男氏発令

消防組織法の一部を改正する法律（平成15年）により緊急消防援助隊が消防庁長官の出勤の指示権が創設され、緊急消防援助隊に係る基本計画の策定及び財政措置が規定された

7月1日 弟子屈消防署長に古屋勝氏発令

11月24日 組合議長に村上政市氏（弟子屈町議会議員）を選出

12月24日 組合長に徳永哲雄氏（弟子屈町長）就任

平成17年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署18名 標茶消防署25名 川湯支署14名

鶴居消防署12名（派遣職員含） 計75名

非常備団員現況 弟子屈消防団69名 標茶消防団129名 川湯消防団49名 鶴居消防団63名

2月1日 組合収入役に吉備津民夫氏（弟子屈町助役）就任

4月1日 川湯消防団第7代目団長に濱岡正次氏就任

9月10日 第50回釧路管内消防団員技能競技大会で弟子屈消防団優勝（自動車ポンプ）

10月11日 消防広域再編により釧路北部消防事務組合に鶴居村が加入

副組合長に日野浦正志氏（鶴居村長）就任

鶴居消防署長に山崎達生氏発令

鶴居消防団長に櫻橋敏夫氏就任

組合議会議員13名（弟子屈町5名、標茶町5名、鶴居村3名）となる

11月15日 携帯電話からの119番通報を消防本部単位で受信開始（弟子屈署で受信）



鶴居村の組合加入による消防広域再編発足式

平成18年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署25名 川湯支署14名
鶴居消防署12名 計76名

非常備団員現況 弟子屈消防団65名 標茶消防団126名 川湯消防団52名 鶴居消防団66名

- 4月1日 標茶消防団第15代目団長に田中純一氏就任
- 6月1日 消防法改正によりすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられた
- 7月20日 北海道消防操法大会に弟子屈消防団が出席し準優勝（自動車ポンプ）
- 10月1日 第9代消防長に古屋勝氏発令
弟子屈消防署長に葛尾政行氏発令
- 10月22日 副組合長に池田裕二氏（標茶町長）就任

平成19年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署24名 川湯支署14名
鶴居消防署13名（派遣職員含） 計76名

非常備団員現況 弟子屈消防団74名 標茶消防団127名 川湯消防団53名 鶴居消防団67名

- 2月14日 弟子屈消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
- 2月15日 鶴居消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
- 3月2日 鶴居消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与される
- 3月26日 救急救命東京研修所第31期研修生の標茶消防職員が
成績優秀により表彰される
- 4月1日 組合収入役制度が廃止され組合会計管理者（弟子屈
町）に國岡有氏就任
標茶消防署長に飯田徹氏発令
- 4月27日 全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区
代表として出場し最優秀賞を受賞
- 5月1日 組合議会議員数9名（各町村3名）となる
- 5月25日 組合議長に村上政市氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 6月1日 鶴居消防団に北海道消防協会長より竿頭綬が授与される
- 6月7日 第30回全国消防職員意見発表会に標茶消防署員が全道を代表して出場
- 6月16日 釧路川水防公開演習が標茶町で開催される
- 8月2日 弟子屈町在住の男性よりAED 1台の寄贈を受け弟子屈消防署に配置する



- 9月9日 第52回釧路管内消防団員技能競技大会で鶴居消防団が優勝（自動車ポンプ）及び弟子屈消防団が優勝（小型ポンプ）
- 12月20日 標茶消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
- 12月21日 鶴居村中幌呂に水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）を購入し配置する

平成20年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署23名 川湯支署14名
鶴居消防署13名（派遣職員含） 計75名

非常備団員現況 弟子屈消防団71名 標茶消防団128名 川湯消防団52名 鶴居消防団67名

- 3月7日 川湯消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与される
- 4月1日 会計管理者に村田英雄氏（弟子屈町）就任
- 4月25日 全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
- 5月20日 副組合長に日野浦正志氏（鶴居村長）就任
- 5月26日 川湯ライオンズクラブより軽四トラック1台の寄贈を受け川湯支署に配置する
- 9月6日 川湯消防団に北海道消防協会長より表彰旗が授与される
- 12月4日 組合議長に風祭保夫氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 12月19日 鶴居消防庁舎を鶴居村鶴居西3丁目4番地に新築
構造：鉄筋コンクリート平屋建
敷地面積：50,702㎡
延床面積：781.00㎡
総工費：313,960千円
- 12月24日 組合長に徳永哲雄氏（弟子屈町長）就任



平成21年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署19名 標茶消防署24名 川湯支署15名
鶴居消防署13名（派遣職員含） 計78名

非常備団員現況 弟子屈消防団73名 標茶消防団129名 川湯消防団53名 鶴居消防団70名

- 2月26日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、鶴居消防署13名体制となり、期限付きで弟子屈消防署19名、川湯支署15名となり組合定数が78名となる
- 3月6日 標茶消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与される
- 4月1日 第10代消防長に館郁男氏発令
- 6月5日 鶴居消防団に北海道消防協会長より表彰旗が授与される
- 9月12日 第54回釧路管内消防団員技能競技大会で弟子屈消防団優勝（小型ポンプ）
- 10月1日 弟子屈消防団第9代目団長に藤田茂氏就任
- 10月5日 道東ドクターヘリ運航開始



平成22年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署24名 川湯支署15名
鶴居消防署14名（派遣職員含） 計78名

非常備団員現況 弟子屈消防団74名 標茶消防団129名 川湯消防団53名 鶴居消防団68名

- 2月2日 標茶消防署に小型動力ポンプ付水槽車（9,500ℓ）を購入し配置する
- 4月1日 弟子屈消防署長に西川進氏発令
会計管理者に高橋進氏（弟子屈町）就任
- 4月23日 全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区代表として出場
- 8月31日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、鶴居消防署が14名体制となり、組合定数が79名となる
- 9月11日 第55回釧路管内消防団員技能競技大会で標茶消防団が優勝（自動車ポンプ）及び弟子屈消防団が優勝（小型ポンプ）
- 10月22日 副組合長に池田裕二氏（標茶町長）就任
- 12月24日 川湯支署に屈折はしご（25m級）付消防ポンプ自動車を購入し配置する



平成23年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署24名 川湯支署14名
鶴居消防署15名（派遣職員含） 計78名

非常備団員現況 弟子屈消防団74名 標茶消防団131名 川湯消防団51名 鶴居消防団66名

- 1月14日 標茶消防団員より標茶消防団費として役立ててほしいと寄付金の申し出があり受納する
- 2月25日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、弟子屈消防署18名、川湯支署14名となり組合定数が77名となる
- 3月11日 東日本大震災発生
宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmを震源とするマグニチュード9.0の日本周辺における観測史上最大の地震が発生。
この地震による死者・行方不明者19,759人、建物被害は全壊・半壊・流出を含め40万5,156戸（令和4年3月1日現在）となっている。死亡の原因として9割以上が津波による溺死であった。地震被害としては戦後最大であり、明治以降でも関東大震災、明治三陸地震に次ぐ被害規模となっている。
- 3月22日 東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第4次北海道隊として標茶消防署員1名を宮城県石巻市に派遣する
- 4月9日 東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第9次北海道隊として消防本部職員1名、弟子屈消防職員1名、標茶消防職員3名を宮城県石巻市に派遣する



- 4月22日 全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区代表として出場
- 7月14日 北海道消防操法大会に鶴居消防団が出場（小型ポンプ）
- 8月25日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、期限付きで標茶消防署が25名体制となり組合定数が78名となる
- 9月17日 第56回釧路管内消防団員技能競技大会で標茶消防団が優勝（自動車ポンプ）
- 12月15日 鶴居消防署に広報車を購入し配置する

平成24年

常備職員現況 消防本部 7名 弟子屈消防署 18名 標茶消防署 25名 川湯支署 14名
鶴居消防署 15名（派遣職員含） 計79名

非常備団員現況 弟子屈消防団 75名 標茶消防団 129名 川湯消防団 50名 鶴居消防団 67名

- 2月28日 釧路北部消防事務組合消防団員定数条例が改正され、鶴居消防団が副団長 2名体制となる
- 3月22日 平成23年12月29日に発生した住宅火災において、1人暮らしの高齢者を救出した功勞に対し、川湯駅前在住の男性に感謝状を贈呈する
- 5月20日 副組合長に大石正行氏（鶴居村長）就任
- 7月12日 第41回消防救助技術指導会に弟子屈消防署員 4名出場
- 7月19日 北海道消防操法大会に標茶消防団が出場（小型ポンプ）
- 11月30日 組合議長に館忠良氏（弟子屈町議會議員）を選出
- 12月 3日 弟子屈消防署に小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）を購入し配置する
- 12月24日 組合長に徳永哲雄氏（弟子屈町長）就任

平成25年

常備職員現況 消防本部 7名 弟子屈消防署 19名 標茶消防署 25名 川湯支署 14名
鶴居消防署 13名 計78名

非常備団員現況 弟子屈消防団 73名 標茶消防団 124名 川湯消防団 46名 鶴居消防団 68名

- 3月 2日 道内の急激に発達した低気圧により翌日 3日かけて暴風雪となり、中標津町の 5名をはじめ、全道で 9名が死亡する暴風雪災害が発生
- 4月 1日 第11代消防長に熊谷英二氏発令
鶴居消防署長に高田勝也氏発令
会計管理者に増井明夫氏（弟子屈町）就任
- 5月12日 組合創設40周年記念式典を挙行（摩周観光文化センター）
- 8月29日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、弟子屈消防署が19名体制となり、組合定

数79名となる

9月14日 第58回釧路管内消防団員技能競技大会で鶴居消防団が優勝（小型ポンプ）

10月11日 平成25年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（苫小牧市）に消火小隊1隊5名を派遣

10月18日 平成25年10月5日に標茶町で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功勞に対し、標茶町在住の男性に感謝状を贈呈する

11月21日 鶴居消防団に北海道知事より表彰旗が授与される

11月24日 消防団120周年・自治体消防65周年記念大会（東京ドーム）



平成26年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署25名 川湯支署14名
鶴居消防署14名 計78名

非常備団員現況 弟子屈消防団75名 標茶消防団126名 川湯消防団42名 鶴居消防団82名

1月7日 平成25年12月17日に弟子屈町で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功勞に対し、弟子屈町在住の男性に感謝状を贈呈する

3月20日 消防救急デジタル無線の運用開始

4月1日 第12代消防長に松田孝之氏発令

弟子屈消防署長に鏡信雄氏発令

鶴居消防団に下幌呂消防部、女性消防部を設置、定数を71名から91名とする

5月23日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、弟子屈消防署18名体制となり、組合定数が78名となる

7月14日 釧路北部消防事務組合議会議員行政視察研修で宮城県・岩手県を視察

9月13日 第59回釧路管内消防団員技能競技大会で鶴居消防団が優勝（自動車ポンプ）

10月22日 副組合長に池田裕二氏（標茶町長）就任

平成26年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（弘前市）に後方支援隊2名を派遣

12月25日 総務省消防庁より救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車が無償貸付され鶴居消防団に配置する



平成27年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署25名 川湯支署13名
鶴居消防署14名 計77名

非常備団員現況 弟子屈消防団76名 標茶消防団123名 川湯消防団42名 鶴居消防団83名

- 3月10日 鶴居消防団に日本消防協会より表彰旗が授与される
- 3月20日 北海道共済農業協同組合連合会から高規格救急自動車の寄贈を受け標茶署に配置する
- 4月1日 第13代消防長に菅井憲昭氏発令
標茶消防署長に田中善志氏発令
- 7月18日 第44回全道消防救助技術訓練指導会に標茶署員4名、鶴居署員3名が出場
- 9月12日 第60回釧路管内消防団員技能競技大会で標茶消防団が優勝（自動車ポンプ）及び鶴居消防団が優勝（小型ポンプ）
- 9月24日 川湯支署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
- 11月22日 鶴居村下幌呂に消防団詰所を新築、消防ポンプ自動車を配置する



平成28年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署18名 標茶消防署25名 川湯支署13名
鶴居消防署14名 計77名

非常備団員現況 弟子屈消防団75名 標茶消防団124名 川湯消防団42名 鶴居消防団83名

- 4月1日 会計管理者に山本節子氏（弟子屈町）就任
- 4月19日 全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
- 5月20日 副組合長に大石正行氏（鶴居村長）就任
- 6月3・4日 弟子屈消防団女性部消防部が第22回全国女性消防団員活性化北海道大会に参加
- 7月15日 北海道消防操法大会に川湯消防団が出場（小型ポンプ）
- 7月16日 第45回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員5名、鶴居消防署員4名が出場し、鶴居消防署員が知事賞（ロープブリッジ渡過の部）を受賞
- 8月24日 第45回全国消防救助技術大会（松山市）に標茶署員1名（はしご登はん）、鶴居署員1名（ロープブリッジ渡過）が出場
- 9月10日 第61回釧路管内消防団員技能競技大会で川湯消防団が優勝（小型ポンプ）
- 11月30日 組合議長に岩崎義人氏（弟子屈町議会議員）を選出
釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、標茶消防署が26名体制となり、組合定数79名となる
- 12月24日 組合長に徳永哲雄氏（弟子屈町長）就任



平成29年

常備職員現況 消防本部 6名 弟子屈消防署32名 標茶消防署26名 鶴居消防署14名 計78名

非常備団員現況 弟子屈消防団74名 標茶消防団125名 川湯消防団43名 鶴居消防団82名

- 4月1日 弟子屈消防署機構改革により弟子屈消防署に人員集約し川湯支署通勤体制をとる
- 6月17日 釧路川水防公開演習が標茶町で開催される
- 7月13日 釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署を川上郡弟子屈町美里3丁目8番1号へ新築移転し運用開始
- 7月15日 第46回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員3名、鶴居消防署員4名が出場
- 8月25日 第69回北海道消防大会が弟子屈町で開催される
- 9月9日 第62回釧路管内消防団員技能競技大会で弟子屈消防団が優勝（小型ポンプ）
- 10月6日 平成29年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（米沢市）に後方支援隊で2名を派遣
- 10月12日 北海道共済農業協同組合連合会から高規格救急自動車の寄贈を受け鶴居消防署に配置する
- 11月22日 緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて高規格救急自動車を購入し弟子屈消防署に配置する



弟子屈消防庁舎 新築移転 構造：鉄筋コンクリート2階建
 敷地面積：8,321.74㎡ 総工費：1,372,732千円
 延床面積：2,069.86㎡



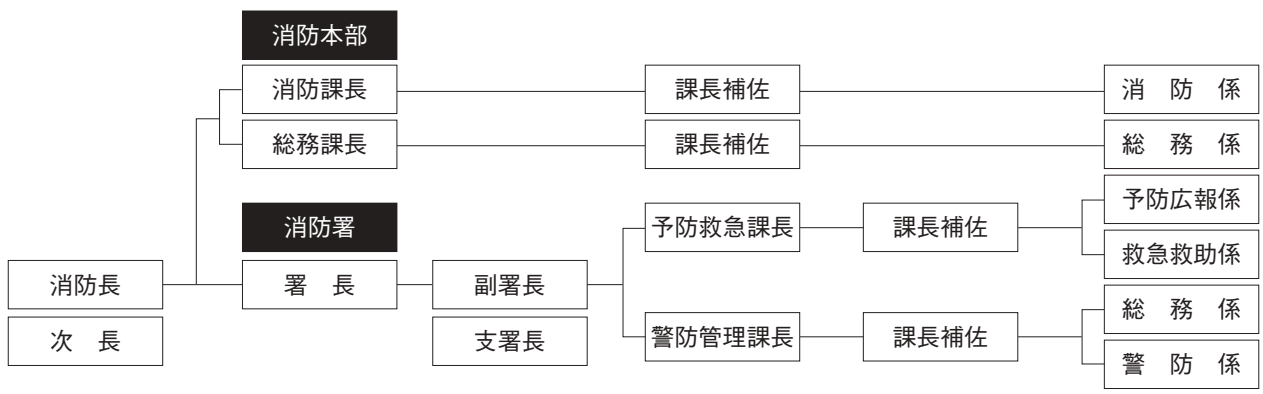
第69回北海道消防大会 弟子屈町開催

平成30年

常備職員現況 消防本部 7名 弟子屈消防署31名 標茶消防署26名 鶴居消防署15名 計79名

非常備団員現況 弟子屈消防団74名 標茶消防団120名 川湯消防団43名 鶴居消防団81名

- 3月9日 道東地区に季節外れの大雨による水害発生
被害状況 弟子屈町 床上浸水19件、床下浸水26件、水没車両17台、火災1件
標茶町 床上浸水4件、床下浸水5件
鶴居村 床下浸水4件、火災1件
- 3月22日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、鶴居消防署が15名体制となり、組合定数80名となる
- 4月1日 消防本部に次長職を設け、消防署次長を副署長とする
会計管理者に納谷基哉氏（弟子屈町）就任



- 7月21日 第47回全道消防救助技術訓練指導会に鶴居消防署員4名が出場
- 9月6日 北海道胆振東部地震発生
死者43名、負傷者782名、建物被害は全壊469棟、半壊1,660棟、北海道電力苫東厚真火力発電所が停止し道内ほぼ全域の電力が止まるブラックアウトが発生した。
- 10月1日 鶴居消防団第11代目団長に松井廣道氏就任
- 10月22日 副組合長に佐藤吉彦氏（標茶町長）就任
- 12月13日 標茶消防署に指令車を購入し配置する



3月9日発生 of 弟子屈町朝日地区の水害

平成31年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署31名 標茶消防署25名 鶴居消防署15名 計78名
非常備団員現況 弟子屈消防団72名 標茶消防団121名 川湯消防団38名 鶴居消防団80名

- 1月7日 緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて水槽車（10,000ℓ）を購入し鶴居消防署に配置する
- 3月6日 標茶消防団・鶴居消防団に消防庁長官より表彰旗が授与される
- 3月28日 緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて先攻車（5,000ℓ）を購入し、標茶消防署に配置する
- 4月1日 川湯消防団第8代目団長に不動繁雄氏就任



令和元年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署31名 標茶消防署25名 鶴居消防署15名 計78名

非常備団員現況 弟子屈消防団72名 標茶消防団121名 川湯消防団38名 鶴居消防団80名

- 7月16日 弟子屈消防署に水難救助艇を購入し配置する
- 7月19日 北海道消防操法大会に弟子屈消防団が出場し準優勝（小型ポンプ）
- 7月20日 第48回全道消防救助技術訓練指導会に鶴居消防署員4名が出場
- 9月14日 第64回釧路管内消防団員技能競技大会で鶴居消防団が優勝（小型ポンプ）
- 10月21日 弟子屈消防団と川湯消防団にそれぞれ配置していた消防団輸送車（マイクロバス）を1台とし弟子屈消防署に購入し配置する
- 12月5日 公益財団法人日本消防協会から消防団活動車の寄贈を受け川湯支署に配置する
- 12月19日 令和元年11月22日に弟子屈町で発生した屈斜路湖の水難事故において3名を救助した功勞に対し、弟子屈町

川湯在住の男性に感謝状を贈呈



令和2年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署32名 標茶消防署26名 鶴居消防署15名 計80名

非常備団員現況 弟子屈消防団65名 標茶消防団113名 川湯消防団38名 鶴居消防団82名

- 3月4日 川湯消防団に消防庁長官より表彰旗が授与される
- 4月1日 第14代消防長に越善忍氏発令
鶴居消防署長に川村公基氏発令
- 4月7日 政府より全国に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令される
- 5月7日 緊急事態措置期間終了
新型コロナウイルスの流行拡大により世界的なパンデミックが懸念され、海外への渡航制限や飲食店・遊技場の営業自粛、消防行事を含む各種イベントも各地で中止となった。また、人々の生活様式も「巣ごもり需要」と呼ばれるようになり外出を控えるようになった。
- 5月20日 副組合長に大石正行氏（鶴居村長）就任
- 11月24日 組合議長に徳永則行氏（弟子屈町議会議員）を選出
- 12月24日 組合長に徳永哲雄氏（弟子屈町長）就任

令和3年

常備職員現況 消防本部7名 弟子屈消防署31名 標茶消防署26名 鶴居消防署16名 計80名

非常備団員現況 弟子屈町消防団101名 標茶消防団110名 鶴居消防団81名

- 2月25日 釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、鶴居消防署が16名体制となり組合定数が81名となる

3月19日 弟子屈消防署に指令車を購入し配置する
 3月28日 弟子屈町消防団統合式開催（消防団組織改革により
 弟子屈消防団と川湯消防団が統合）定数144名とする



4月1日 弟子屈町消防団発足 初代団長に藤田茂氏就任
 第15代消防長に鈴木浩氏発令
 弟子屈消防署長に池田保士氏発令
 標茶消防署長に嶽義明氏発令
 会計管理者に丹羽好文氏（弟子屈町）就任

4月12日 無人航空機（ドローン）を配備する

6月2日 株式会社佐々木建設から消防機材運搬車の寄贈を受け鶴居消防署に配置する

6月3日 令和3年3月31日に発生したマンホール転落事故の救助功勞により弟子屈郵便局員の男性と弟子屈町在住の男性2名に感謝状を贈呈する

7月13日 消防本部に指令車を購入し配置する

10月21日 通信指令室共同化による運用を開始

各署で行ってきた通信指令業務を弟子屈消防署の指令室に一元化する。

10月22日 標茶消防署に水難救助艇を購入し配置する

11月13日 令和3年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（釧路市）に救急隊1隊3名、後方支援隊に2名を派遣

令和4年

常備職員現況 消防本部6名 弟子屈消防署32名 標茶消防署25名 鶴居消防署16名 計79名

非常備団員現況 弟子屈町消防団102名 標茶消防団108名 鶴居消防団80名

3月4日 鶴居消防団に日本消防協会長より竿頭綬が授与される

4月1日 第16代消防長に高田勝也氏発令

標茶消防署長に高橋勝氏発令

鶴居消防署長に加藤博由氏発令



4月23日 斜里町ウトロのカシュニ滝付近で26名が乗船する観光船が沈没し、翌24日朝に北海道広域応援第1要請により救急隊1隊を派遣する

7月16日 第50回全道消防救助技術訓練指導会に鶴居消防署員4名が出場

9月17日 第66回釧路管内消防団員技能競技大会が3年ぶりに開催される

10月7・8日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（青森市）に消火小隊1隊5名を派遣

10月22日 副組合長に佐藤吉彦氏（標茶町長）就任

11月12・13日 緊急消防援助隊全国合同訓練（静岡県）に後方支援隊で2名を派遣

1月15日 鶴居村上幌呂第3分団に消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し配置する



3月4日 北海道共済農業協同組合連合会から高規格救急自動車の寄贈を受け弟子屈消防署川湯支署に配置する



人
口
・
勤
続
・
配
置
図
・
消
防
庁
舎
等



人口・世帯数及び面積

年 別	地 域	面 積	世 帯 数	人 口			附 記
				男	女	計	
令和4年 12月31日 現 在	弟子屈町	774.33km ²	3,784 世帯	3,241 名	3,458 名	6,699 名	住民基本台帳
	標茶町	1,099.37km ²	3,667 世帯	3,474 名	3,705 名	7,179 名	
	鶴居村	571.80km ²	1,206 世帯	1,235 名	1,250 名	2,485 名	
	計	2,445.50km ²	8,657 世帯	7,950 名	8,413 名	16,363 名	

消防本部・消防署人員配置状況

(令和4年12月末現在)

区 分		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事務職員	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	総務課			1	1			1	3
	消 防 課		1	1					2
	小 計	1	1	2	1	0	0	1	6
消 防 署	弟子屈消防署		5	12	4	4	7		32
	標茶消防署		4	8	3	4	6		25
	鶴居消防署		4	4	1	2	5		16
	小 計	0	13	24	8	10	18		73
合 計		1	14	26	9	10	18	1	79

職員勤続状況

(令和4年12月末現在)

区分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計
1年未満						4		4
1年以上～5年未満						12		12
5年〃～10年〃				2	9	2		13
10年〃～15年〃			4	7	1			12
15年〃～20年〃			7					7
20年〃～25年〃		1	10					11
25年〃～30年〃		9	4					13
30年以上	1	4	1				1	7
計	1	14	26	9	10	18	1	79

職員年令別状況

(令和4年12月末現在)

区分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計
20歳未満						3		3
20歳以上～25歳未満						11		11
25歳〃～30歳〃					5	4		9
30歳〃～35歳〃				8	5			13
35歳〃～40歳〃			7	1				8
40歳〃～45歳〃		3	15					18
45歳〃～50歳〃		5	2					7
50歳〃～55歳〃		3	1					4
55歳以上	1	3	1				1	6
計	1	14	26	9	10	18	1	79

職員教育状況

(令和4年12月末現在)

区分	職員数	初任教育	専科											
			幹部	査予察防	調火災	危険物	救急			警防	救助	救都市助型		
							I課程	II課程	標準課程				救急科	救命士
消防本部	6	6		1	2			2	3		4		2	
弟子屈消防署	32	31		2	7	3		1	4	8	19	2	8	
標茶消防署	25	25		2	2	1	3	3	5	13	10	1	8	1
鶴居消防署	16	16	3	2	4	1	1	1	4	5	10	5	7	2
計	79	78	3	7	15	5	4	7	16	26	43	8	25	3

消防団員人員配置状況

(令和4年12月末現在)

階級 団名	団長			副団長			分団長			副分団長			部長			班長			団員			計	合計		
	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居				
団本部	1	1	1	3	3	2																4	4	3	11
女性消防部													2	1	1	2	3	2	8	6	5	12	10	8	30
第一分団	第1分団						1	1	1	1	1	1	3	3	2	7	5	4	10	4	20	22	14	28	64
	川湯第1分団						1			1			4			4			4			14	0	0	14
	茶安別消防部												1			3			5			0	9	0	9
	下幌呂消防部														1			1			7	0	0	9	9
第二分団	第2分団						1	1	1	1	1	1	3	3	2	5	5	3	11	5	8	21	15	15	51
	川湯第2分団						1			1			3			3			4			12	0	0	12
	久著呂消防部												1			3			3			0	7	0	7
第三分団	第3分団							1	1		1	1	3	1		5	2		5	3		0	15	8	23
	美留和消防部						1						1			1			4			7	0	0	7
	屈斜路消防部									1			1			1			7			10	0	0	10
第四分団	第4分団							1	1		1	1	2	1		3	2		3	5		0	10	10	20
	阿歴内消防部												1			3			5			0	9	0	9
第5分団							1			1		3			5			5			0	15	0	15	
実数				3	2	5	5	4	5	5	4	4	17	18	8	23	35	14	48	41	48	102	108	81	291
定員				3	2	2	5	4	2	5	4	4	8	18	8	14	35	15	52	71	57	80	138	91	309

消防団員勤続年数別状況

(令和4年12月末現在)

階級 年数	団長			副団長			分団長			副分団長			部長			班長			団員			計	合計		
	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居	弟子 屈町	標 茶	鶴 居				
1年未満																			8	3	2	8	3	2	13
1年以上~5年未満																			10	8	8	10	8	8	26
5年〃~10年〃													1		1		3	4	10	14	13	11	17	18	46
10年〃~15年〃													1	1			6	9	11	5	7	18	14	8	40
15年〃~20年〃									1					2		2	9	1	5	4	10	7	15	12	34
20年〃~25年〃									1		2	1	5	4	1	5	5	2	1	2	4	11	13	9	33
25年〃~30年〃										1	1	2	5	4	4	4	5	1	2	3	1	8	14	7	29
30年〃~35年〃						1	1	1	2	2			1	3		2		1		1		6	7	3	16
35年以上	1	1	1	3	3	1	4	4	1	3		1	7	4	2	4	4	5	1	1	3	23	17	14	54
計	1	1	1	3	3	2	5	5	4	5	5	4	17	18	8	23	35	14	48	41	48	102	108	81	291

消防団員階級別職業別状況

(令和4年12月末現在)

階級	団名	農	林	建	製	電	運	卸	金	飲	医	教	サ	団	公	無	そ	計	経	被
		業	業	設	造	気・ガス	輸	小	融・保	食・宿	療・福	育・学	ービス	体	務	職	の			
団長	弟子屈																1	1	1	
	標茶							1										1	1	
	鶴居	1																1	1	
副団長	弟子屈				1			1					1					3		3
	標茶			1				1					1					3	3	
	鶴居												1	1				2		2
分団長	弟子屈				1			1					3					5	1	4
	標茶	1		3									1					5	4	1
	鶴居	2		1									1					4	2	2
副分団長	弟子屈	1		1	1			2										5	3	2
	標茶	2		3														5	3	2
	鶴居	3					1											4	2	2
部長	弟子屈	3	3		1	3		1	1		1		4					17	6	11
	標茶	8		2			2	1		1	1		2				1	18	11	7
	鶴居	4												2	1	1		8	2	5
班長	弟子屈	4	1	1	2	4		2	1	3			3	2				23	9	14
	標茶	18		1	2		1			1	1		8	1	2			35	14	21
	鶴居	8		1									1	3		1		14	6	7
団員	弟子屈	7		4	3	1		6		5	3	1	9	4	5			48	13	35
	標茶	20		2				2	1		6		8	1		1		41	5	36
	鶴居	13		5						2	2		1	12	9	4		48	5	39
計	弟子屈	15	4	6	9	8		13	2	8	4	1	20	6	5		1	102	33	69
	標茶	49		12	2		3	5	1	2	8		20	2	2	1	1	108	41	67
	鶴居	31		7			1			2	2		4	17	11	6		81	18	57
合計		95	4	25	11	8	4	18	3	12	14	1	44	25	18	7	2	291	92	193

消防庁舎の現況

(令和4年12月末現在)

町村別	名称	所在地	構造	延べ面積 (㎡)	建築年月
弟子屈町	消防本部・弟子屈消防署 弟子屈町消防団 団本部、女性消防部 第1・2分団	弟子屈町美里 3丁目8番1号	鉄 コ ン ク リ ー ト 筋 造 建 2階	2,069	平成29年 7月
	弟子屈町消防団第3分団 屈斜路消防部	弟子屈町字屈斜路 221番3	木 造 モ ル タル 屋 建	35	平成元年 12月
	弟子屈町消防団第3分団 美留和消防部	弟子屈町字美留和	木 造 モ ル タル 屋 建	65	昭和54年 10月
	弟子屈消防署川湯支署 弟子屈町消防団 川湯第1分団 川湯第2分団	弟子屈町川湯温泉 3丁目2番10号	鉄 コ ン ク リ ー ト 筋 造 建 2階	1,125	平成2年 12月
標茶町	標茶消防署・標茶消防団 団本部、女性消防部 第1・2分団	標茶町旭4丁目 6番2号	鉄 コ ン ク リ ー ト 筋 造 建 2階	1,248	昭和61年 6月
	標茶消防署磯分内分遣所 標茶消防団第3分団	標茶町字熊牛原野 15線西1番地	木 造 モ ル タル 屋 建	240	昭和45年 10月
	標茶消防団第4分団 (塘路)	標茶町字塘路 147番地2	鉄 コ ン ク リ ー ト 筋 造 建 平屋	96	平成2年 3月
	標茶消防団第5分団 (虹別)	標茶町字虹別原野 67線105の1	鉄 コ ン ク リ ー ト 筋 造 建 平屋	197	昭和48年 11月
	標茶消防団第1分団 茶安別消防部	標茶町字中茶安別	木 造 モ ル タル 屋 建	65	昭和52年 6月
	標茶消防団第2分団 久著呂消防部	標茶町字中久著呂	木 造 モ ル タル 屋 建	65	昭和51年 10月
	標茶消防団第4分団 阿歴内消防部	標茶町字阿歴内	木 造 モ ル タル 屋 建	65	昭和53年 9月
鶴居村	鶴居消防署・鶴居消防団 団本部、女性消防部 第1分団	鶴居村鶴居西 3丁目24番地	鉄 コ ン ク リ ー ト 筋 造 建 平屋	781	平成20年 12月
	鶴居消防団第2分団 (中幌呂)	鶴居村幌呂西 3丁目13番地	木 造 一 部 鉄 骨 造 建 屋	189	平成5年 11月
	鶴居消防団第3分団 (上幌呂)	鶴居村字幌呂原野 第1基線47番地4	木 造 一 部 鉄 骨 造 建 屋	160	平成7年 12月
	鶴居消防団第4分団 (下久著呂)	鶴居村字久著呂 原野168番地	木 造 サ イ デ ィ ン グ 屋 建	80	平成4年 10月
	鶴居消防団第1分団 下幌呂消防部	鶴居村字幌呂原野 南4線37-1	木 平 屋 造 建	124	平成27年 11月

消 防 機 械 現 有 数

(令和4年12月末現在)

名 称	車 種	年代	購入年月日	年数	HP	ポンプ型式		配置場所
						型 式	級	
指揮車	トヨタRAV4	3	R 3.7.13	0	171			消防本部
指揮車	トヨタランドクルーザー	9	H 9.8.7	24	190			弟子屈消防署
指揮車	ニッサンエクストレイル	1	R 1.12.3	2	135			弟子屈消防署
指揮車	トヨタハイエース	3	R 3.3.22	0	151			弟子屈消防署
救急車	トヨタハイメディック	19	H 19.2.8	14	151			弟子屈消防署
救急車	トヨタハイメディック	29	H 29.11.22	4	151			弟子屈消防署
先攻車	日野 (6,000ℓ)	8	H 8.3.18	25	390	j-1	A2	弟子屈消防署
2号車	日野 (3,000ℓ)	62	S 62.11.24	34	230	ME - 5	A2	弟子屈町消防団
ポンプ1	三菱シ (普通)	14	H 14.2.27	19	140	V3000	A1	弟子屈町消防団
水槽車	日野 (10,000ℓ)	24	H 24.12.3	9	380			弟子屈消防署
屈斜路1号	いすゞフォワード (2,000ℓ)	3	H 3.4.12	30	195	V3000	A1	屈斜路消防部
美留和1号	三菱シ (1,000ℓ)	13	H 13.11.20	20	140			美留和消防部
小型動力ポンプ	シバウラ (美留和1号)	5	H 5.12.13	28	60	SF-760E	B2	美留和消防部
〃	トーハツ (ポンプ車)	21	H 21.5.21	12		VF631	B2	弟子屈町消防団
〃	トーハツ (水槽車)	24	H 24.12.3	9		VF631	B2	弟子屈消防署
〃	シバウラ (美留和1号)	13	H 13.11.20	20	52	SF-756M	B2	美留和消防部
〃	シバウラ (予備)	58	S 58.7.22	38	55	B-709	B2	弟子屈消防署
〃	トーハツ (予備)	30	H 30.11.15	3	30	V7201	B2	弟子屈消防署
軽四貨物車	スバル	15	H 15.3.12	18	48			弟子屈消防署
輸送車	日野リエッセII	1	R 1.10.21	2	135			弟子屈町消防団
船外機付ゴムボート	インフレーターボート	1	R 1.7.16	2	75			弟子屈消防署
指揮車	トヨタクラウン	10	H 10.9.7	23	200			川湯支署
支援車	ニッサンセレナ	22	H 31.2.27	2	135			弟子屈町消防団
救急車	トヨタハイメディック	15	H 15.10.30	18	180			川湯支署
先攻車	日野 (3,000ℓ)	12	H 12.12.27	21	300	ME - 5	A2	川湯支署
2号車	日野 (普通)	27	H 27.9.16	6	140	MD260A	A2	弟子屈町消防団
水槽車	日野 (10,000ℓ)	7	H 7.12.22	26	355			川湯支署
屈折梯子車	日野 (普通)	22	H 22.12.24	11	320	ME - 5	A2	川湯支署
軽四貨物車	ダイハツハイゼット	20	H 20.5.16	13	50			川湯支署
小型動力ポンプ	シバウラ (予備)	14	H 14.7.25	19	56	SF-756MG	B2	川湯支署
〃	トーハツ (予備)	24	H 24.12.5	9	30	VF-63AS	B2	川湯支署
〃	トーハツ (2号車)	27	H 27.9.16	6	30	V7201	B2	川湯支署
〃	シバウラ (水槽車)	7	H 7.12.22	26	56	SF-760F	B2	川湯支署
指令1	トヨタハイエース	30	H 30.12.12	3	150			標茶消防署
指令2	トヨタランドクルーザープラド	29	H 29.3.1	4	163			標茶消防署
連絡車	トヨタカローラアクシオ	27	H 27.7.6	6	103			標茶消防署
救急1	トヨタハイメディック	19	H 19.12.20	14	151			標茶消防署
救急2	トヨタハイエース	27	H 27.3.13	6	151			標茶消防署
先攻1	日野 (5,000ℓ)	31	H 31.3.28	2	370	M21	A2	標茶消防署
先攻2	ニッサン (6,000ℓ)	17	H 17.2.9	16	400	j2	A1	標茶消防署
ポンプ2号車	日野 (普通)	10	H 10.1.10	23	215	j2	A1	標茶消防署
救助工作車	三菱シふそう	6	H 6.2.7	27	295			標茶消防署
水槽車	ニッサン (9,800ℓ)	22	H 22.2.1	11	355			標茶消防署
第3分団車	ニッサン (5,000ℓ)	14	H 14.2.20	19	430			第3分団 (磯分内)
第4分団車	日野 (1,500ℓ)	5	H 5.3.2	28	195	ME - 5	A2	第4分団 (塘路)
第5分団車	三菱シ (5,000ℓ)	6	H 6.2.4	27	375			第5分団 (虹別)
久著呂車	三菱シキャンター (小型)	5	H 5.3.2	28	120			久著呂消防部
茶安別車	三菱シキャンター (小型)	7	H 7.3.14	26	140			茶安別消防部
阿歴内車	三菱シキャンター (小型)	8	H 8.2.23	25	140			阿歴内消防部
林野火災工作車	ベンツウニモグ	50	S 50.10.15	46	80			標茶消防署
小型動力ポンプ	トーハツ (予備)	23	H 23.11.29	10	62	VC7201	B2	阿歴内消防部
〃	シバウラ (予備)	55	S 55.9.10	41	40	B-709	B2	久著呂消防部
〃	トーハツ (9.8t 水槽車)	22	H 22.2.1	11	30	VF63AS	B2	標茶消防署

名 称	車 種	年代	購入年月日	年数	H P	ポンプ型式		配置場所
						型 式	級	
小型動力ポンプ	シバウラ (予備)	60	S 60. 7. 15	36	40	B-709	B2	茶安別消防部
〃	シバウラ (久著呂車)	5	H 5. 3. 2	28	55	B-715	B2	久著呂消防部
〃	シバウラ (第5分団車)	6	H 6. 2. 4	27	55	B-715	B2	第5分団 (虹 別)
〃	シバウラ (茶安別車)	7	H 7. 3. 14	26	55	B-715	B2	茶安別消防部
〃	トーハツ (ポンプ2号車)	17	H 17. 2. 9	16	62	V7201	B2	標茶消防署
〃	シバウラ (予備)	7	H 7. 9. 13	26	55	B-715	B2	標茶消防署
〃	シバウラ (阿歴内車)	8	H 8. 2. 23	25	55	B-715	B2	阿歴内消防部
〃	シバウラ (第3分団車)	14	H 14. 2. 20	19	56	B-716	B2	第3分団 (磯分内)
〃	トーハツ (予備)	3	R 3. 1. 20	0	30	VF63AS	B2	標茶消防署
輸 送 車	ミツビシローザ	6	H 6. 2. 23	27	120			標茶消防署
資器材搬送車	日野 (普通)	17	H 17. 12. 6	16	220			防災ステーション
船外機付ゴムボート	レスプロデュラボート	3	R 3. 9. 26	0	9.9	3v5		標茶消防署
指 令 車	トヨタアルファード	16	H 16. 12. 21	17	220			鶴居消防署
広 報 車	スバルフォレスター	23	H 23. 12. 15	10	148			鶴居消防署
救 急 車	トヨタハイメディック	19	H 19. 2. 14	14	151			鶴居消防署
救 急 車	トヨタハイメディック	29	H 29. 10. 12	4	151			鶴居消防署
運 搬 車	スバルサンバー	17	H 17. 12. 15	16	48			鶴居消防署
機 材 車	トヨタダイナ	3	R 3. 5. 26	0	106			鶴居消防署
水 槽 車	日野 (10,000ℓ)	31	H 31. 1. 7	2	374			鶴居消防署
先 攻 車	日産ディーゼル (3,000ℓ)	8	H 8. 12. 20	25	295	R3	A2	鶴居消防署
タンク 1	ミツビシふそう (2,000ℓ)	13	H 13. 1. 26	20	200	V3000	A1	第1分団
積 載 1	いすゞ	26	H 26. 12. 25	7	110			第1分団
タンク 2	日野 (3,500ℓ)	19	H 19. 12. 21	14	330	R3	A2	第2分団
積 載 2	いすゞ	1	H 1. 12. 18	32	110			第2分団
タンク 3	日野 (2,000ℓ)	3	H 3. 2. 6	30	195	R3	A2	第3分団
積 載 4	ミツビシふそう (1,000ℓ)	10	H 10. 1. 28	23	140			第4分団
ポンプ 1	日野 (600ℓ)	27	H 27. 11. 22	6	150	MZI	A2	下幌呂消防部
小型動力ポンプ	トーハツ (水槽車)	31	H 31. 1. 7	2	30	VF53AS	B2	鶴居消防署
〃	シバウラ (予備)	6	H 6. 11. 14	27	54	B-716	B2	鶴居消防署
〃	シバウラ (予備)	6	H 6. 11. 14	27	54	B-716	B2	鶴居消防署
〃	シバウラ (予備)	14	H 14. 1. 11	19	56	B-716	B2	鶴居消防署
〃	トーハツ (タンク1)	22	H 22. 11. 25	11	30	VF63AS	B2	第1分団
〃	トーハツ (積載1)	26	H 26. 12. 25	7	30	VF63AS	B2	第1分団
〃	トーハツ (ポンプ1)	22	H 22. 11. 25	11	30	VF63AS	B2	下幌呂消防部
〃	シバウラ (タンク2)	19	H 19. 12. 21	14	62	B-716	B2	第2分団
〃	ラビット (積載2)	61	S 61. 10. 17	35	52	P-508	B2	第2分団
〃	ラビット (積載2)	63	S 63. 10. 25	33	52	P-508RS	B2	第2分団
〃	ラビット (タンク3)	27	H 27. 8. 1	6	34	EP572DAN	B2	第3分団
〃	トーハツ (積載4)	27	H 27. 11. 10	6	30	VC72PRO II	B2	第4分団
〃	ラビット (積載4)	63	S 63. 10. 25	33	52	P-508RS	B2	第4分団

	車 名	配置場所				計	備 考
		弟子屈	川 湯	標 茶	鶴 居		
総 計	指 揮 車	4	1	2	2	9	本部1台 (弟子屈)
	救 急 自 動 車	2	1	2	2	7	
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	1	1	1	4	
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	3	2	3	4	12	
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1	1	3	1	6	
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	1		3	3	7	
	屈 折 梯 子 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1			1	
	救 助 工 作 車			1		1	
	林 野 火 災 工 作 車			1		1	
	支 援 車		1			1	
	資 器 材 運 搬 車	1	1	1	2	5	
	連 絡 車			1		1	
マイクロバス (団員輸送車)	1		1		2		
船 外 機 付 ゴ ム ボ ー ト	1		1		2		

消 防 水 利 保 有 数

(令和4年12月末現在)

消防署・支署別			水利別				
			弟子屈	川 湯	標 茶	鶴 居	計
消 火 栓	公 設	組合所有	99	23	84	14	220
		委託管理			15	3	18
	私 設	1		6		7	
防火貯水槽	公 設	組合所有	36	13	49	23	121
		委託管理			5	17	22
	私 設	1		2		3	
自然水利	公 設					0	
	私 設					0	
計			137	36	161	57	391

消 防 用 ホ ー ス 現 有 数

(令和4年12月末現在)

消防署・支署別		弟子屈		川 湯		標 茶		鶴 居		計	
		50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm
1 級 (無傷・20m 以上・経過年数5年未満)		6	35	9	23	59	110	0	22	74	190
2 級 (15m 以上又は経過年数5年以上10年未満～)		11	36	5	30	1	28	100	97	117	191
3 級 (15m 未満又は経過年数9年以上)		102	61	46	120	128	343	51	89	327	613
4 級 (10m 未満)								0	0	0	0
計		119	132	60	173	188	481	151	208	518	994

消防用機器及び資材保有状況

(令和4年12月末現在)

業務別	消防署・支署別 品名	消防署・支署別				計
		弟子屈	川 湯	標 茶	鶴 居	
消火活動用	ホース	323本	236本	622本	359本	1540本
	エアフォームノズル	5	1	3		9
	ラインプロポーションナー	1	1	3	3	8
	泡原液	763ℓ	200ℓ	260ℓ	440ℓ	1663ℓ
	発電機	11	5	8	12	36
	投光器	17	7	14	17	55
	三連梯子	2	1	1	2	6
	可燃性ガス検知器	2	1	1	2	6
	東消式発泡器	1				1
	噴霧消火装置(フォグテック)			1		1
	救助活動用	空気呼吸器	16	9	16	9
空気呼吸器用ボンベ		39	28	50	23	140
高圧ガス(空気)充てん器		1		1	1	3
油圧式救助器具		1	2	1	3	7
エンジンカッター		2	2	3	4	11
チェーンソー		1	5	2	7	15
空気式救助マット		2	1	1	3	7
ハンドスピーカー		7	6	2	3	18
エアソー				1		1
エアー・ツール				1		1
耐熱服		2		2		4
潜水器具		7				7
救命胴衣		31	20	24	11	86
救命浮環		2		3	2	7
救命ボート	1		1	1	3	
救急活動用	血圧計	4	4	5	10	23
	聴診器	5	2	2	9	18
	血中酸素飽和度測定器	3	2	4	6	15
	心電計	車載2・携帯0	車載1・携帯1	車載2・携帯2	車載2・携帯2	車載7・携帯5
	経鼻エアウエイ	2	2	2	2	8
	喉頭鏡	4	1	4	4	13
	マギール鉗子	2	2	4	3	11
	ショック・パンツ	1	2	2		5
	自動式心臓マッサージ器			1	1	2
	自動体外式除細動器	3	2	2	3	10
	輸液・薬剤セット一式	2	1	2	2	7
	ラリングアルマスク・ツーウェイチューブ等	2	1	2	2	7
	自動車電話				2	2
車両整備用	在宅療法継続用資器材					0
	アセチレンガス溶接切断機	1		1		2
	交流アーク溶接機	1	1	1		3
	コンプレッサー	2	1	1	2	6
	バッテリー充電器	1	1	4	5	11
	ガレージジャッキ	2	2	3	7	14



理事者・議員・職団員

歴代組合長・副組合長・助役

■歴代組合長

【弟子屈町長】

氏名	就任期間
堀田 正次郎	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日
横山 徳住	昭和50年5月1日～昭和54年4月30日
	昭和54年5月1日～昭和58年4月30日
	昭和58年5月1日～昭和62年4月30日
	昭和62年5月1日～平成3年4月30日
吉田 千代司	平成3年5月1日～平成7年4月30日
岡田 勉	平成7年5月1日～平成11年4月30日
	平成11年5月1日～平成12年11月16日
千葉 健	平成12年11月17日～平成12年12月24日(職務代理者)
徳永 哲雄	平成12年12月25日～平成16年12月23日
	平成16年12月24日～平成20年12月23日
	平成20年12月24日～平成24年12月23日
	平成24年12月24日～平成28年12月23日
	平成28年12月24日～令和2年12月23日
	令和2年12月24日～現在

■副組合長

【標茶町長】

氏名	就任期間
阿部 悟郎	昭和54年5月1日～昭和58年4月30日
	昭和58年5月1日～昭和62年4月30日
	昭和62年5月1日～平成3年4月30日
千葉 健	平成3年5月1日～平成7年4月30日
	平成7年5月1日～平成11年4月30日
	平成11年5月1日～平成15年4月30日
今西 猛	平成15年5月1日～平成18年9月9日
池田 裕二	平成18年10月22日～平成22年10月21日
	平成22年10月22日～平成26年10月21日
	平成26年10月22日～平成30年10月21日
佐藤 吉彦	平成30年10月22日～令和4年10月21日
	令和4年10月22日～現在

【鶴居村長】

氏名	就任期間
日野浦 正志	平成17年10月11日～平成20年5月19日
	平成20年5月20日～平成24年5月19日
大石 正行	平成24年5月20日～平成28年5月19日
	平成28年5月20日～令和2年5月19日
	令和2年5月20日～現在

■歴代助役

氏名	就任期間
藤野 照高	昭和48年4月1日～昭和50年5月29日
吉田 千代司	昭和50年5月30日～平成3年4月30日

組合構成町村長



副組合長 佐藤 吉彦
(標茶町長)



組合長 徳永 哲雄
(弟子屈町長)



副組合長 大石 正行
(鶴居村長)

組合議会議員



議長 徳永 則行



副議長 長尾 式宮



議員 鈴木 康弘



議員 大道 賞二



議員 鈴木 裕美



議員 齊藤 昇一



議員 松井 俊治



議員 板 宏哉

監査委員



監査委員 田中 俊彦



監査委員 吉田 保博

歴代監査委員

【見識者】

氏名	就任期間
青木 料作	昭和48年4月6日～昭和52年5月31日
岩澤 幸彦	昭和52年6月1日～昭和54年4月14日
徳村 正男	昭和54年6月1日～昭和58年4月6日
土田 鉄男	昭和58年6月2日～平成3年6月1日
平野 督二	平成3年6月2日～平成15年5月31日
山口 幸夫	平成15年6月3日～平成23年6月2日
田中 俊彦	平成23年6月3日～現在

【議会選出】

氏名	就任期間
本間 国雄	昭和48年4月6日～昭和54年4月30日
岩澤 幸彦	昭和54年6月1日～昭和62年10月29日
高橋 正光	昭和62年12月23日～平成3年4月30日
山口 照男	平成3年5月27日～平成7年4月30日
鴨志田 友則	平成7年5月18日～平成10年3月16日
徳永 行雄	平成10年7月1日～平成11年4月30日
金子 正男	平成11年5月17日～平成12年10月11日
吉田 兵一	平成12年12月28日～平成16年11月11日
舘 忠良	平成16年11月24日～平成19年4月30日
秋里 廣志	平成19年5月25日～平成23年4月30日
吉田 保博	平成23年5月20日～平成31年4月30日
東 隆行	令和1年5月29日～令和5年4月30日
吉田 保博	令和5年5月16日～現在

歴代議会議員

< (議) = 議長・(副) = 副議長 >

氏名	就任期間	備考
阪口 麻一	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	弟子屈町議員
澤頭 定雄	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	弟子屈町議員
高橋 定夫	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	弟子屈町議員
横山 登	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	弟子屈町議員 (副)
渡辺 喜七	昭和49年5月20日～昭和50年4月30日	弟子屈町議員
本間 国男	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	標茶町議員
野崎 好文	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	標茶町議員
門屋 盛吾	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	標茶町長 (議)
大野 政義	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	標茶町議員
熊谷 市郎	昭和48年4月1日～昭和50年4月30日	標茶町議員
一戸 光義	昭和50年5月14日～昭和54年4月30日	弟子屈町議員
阪口 麻一	昭和50年5月14日～昭和54年4月30日	弟子屈町議員
渡辺 喜七	昭和50年5月14日～昭和54年4月30日	弟子屈町議員 (副)
渡辺 三郎	昭和50年5月14日～昭和54年4月30日	弟子屈町議員
服部 和教	昭和50年5月14日～昭和54年4月30日	弟子屈町議員
田中 和水	昭和50年5月15日～昭和54年4月30日	標茶町議員
本間 国男	昭和50年5月15日～昭和54年4月30日	標茶町議員
野崎 好文	昭和50年5月15日～昭和54年4月30日	標茶町議員
梶川 正夫	昭和50年5月15日～昭和54年4月30日	標茶町議員
門屋 盛吾	昭和50年5月15日～昭和54年4月30日	標茶町長 (議)
岩澤 幸彦	昭和54年5月1日～昭和62年10月29日	弟子屈町議員
武田 康俊	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	弟子屈町議員
阪口 麻一	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	弟子屈町議員
渡辺 喜七	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	弟子屈町議員
渡辺 三郎	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	弟子屈町議員
服部 和教	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	弟子屈町議員 (副)
高坂 東助	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	標茶町議員
加藤 善三郎	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	標茶町議員
松本 清司	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	標茶町議員
鈴木 兼好	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	標茶町議員
野崎 好文	昭和54年5月31日～昭和58年4月30日	標茶町議員 (議)
中野 和好	昭和58年5月13日～昭和60年8月25日	弟子屈町議員
服部 和教	昭和58年5月13日～昭和60年8月25日	弟子屈町議員
岩澤 幸彦	昭和58年5月13日～昭和60年8月25日	弟子屈町議員
樋川 清七	昭和58年5月13日～昭和60年8月25日	弟子屈町議員
江幡 義夫	昭和58年5月13日～昭和60年8月25日	弟子屈町議員 (副)
中野 良一	昭和58年5月12日～昭和62年4月30日	標茶町議員
川畑 辰男	昭和58年5月12日～昭和62年4月30日	標茶町議員
三好 英雄	昭和58年5月12日～昭和62年4月30日	標茶町議員
稲沢 清司	昭和58年5月12日～昭和62年4月30日	標茶町議員
鈴木 兼好	昭和58年5月12日～昭和62年4月30日	標茶町議員 (議)
中野 和好	昭和60年8月26日～昭和62年4月30日	弟子屈町議員
服部 和教	昭和60年8月26日～昭和62年4月30日	弟子屈町議員
岩澤 幸彦	昭和60年8月26日～昭和62年4月30日	弟子屈町議員
樋川 清七	昭和60年8月26日～昭和62年4月30日	弟子屈町議員
江幡 義夫	昭和60年8月26日～昭和62年4月30日	弟子屈町議員 (議)
山口 照男	昭和62年5月9日～平成3年4月30日	弟子屈町議員
高橋 正光	昭和62年5月9日～平成3年4月30日	弟子屈町議員
徳永 行雄	昭和62年5月9日～平成3年4月30日	弟子屈町議員
江上 義信	昭和62年5月9日～平成3年4月30日	弟子屈町議員 (議)
岩澤 幸彦	昭和62年5月9日～昭和62年10月29日	弟子屈町議員
樋川 清七	昭和62年11月24日～平成3年4月30日	弟子屈町議員
後藤 辰夫	昭和62年5月7日～平成3年4月30日	標茶町議員

氏名	就任期間	備考
中野良一	昭和62年5月7日～平成3年4月30日	標茶町議員
大島益美	昭和62年5月7日～平成3年4月30日	標茶町議員
佐々木良夫	昭和62年5月7日～平成3年4月30日	標茶町議員
小林俊昭	昭和62年5月7日～平成3年4月30日	標茶町議員(副)
嶋田稔	平成3年5月10日～平成7年4月30日	弟子屈町議員
須藤忠明	平成3年5月10日～平成7年4月30日	弟子屈町議員
山口照男	平成3年5月10日～平成7年4月30日	弟子屈町議員
坪井嗣雄	平成3年5月10日～平成7年4月30日	弟子屈町議員
鴨志田友則	平成3年5月10日～平成7年4月30日	弟子屈町議員(議)
館田賢治	平成3年5月9日～平成7年4月30日	標茶町議員
佐藤松喜	平成3年5月9日～平成7年4月30日	標茶町議員
中野良一	平成3年5月9日～平成4年10月31日	標茶町議員
佐々木良夫	平成3年5月9日～平成7年4月30日	標茶町議員(副)
新田重雄	平成3年5月9日～平成7年4月30日	標茶町議員
川畑辰夫	平成4年11月17日～平成7年4月30日	標茶町議員
森勝彦	平成7年5月12日～平成7年8月19日	弟子屈町議員
八幡豊行	平成7年5月12日～平成11年4月30日	弟子屈町議員
鴨志田友則	平成7年5月12日～平成10年3月16日	弟子屈町議員
吉田兵一	平成7年5月12日～平成11年4月30日	弟子屈町議員
松岡悟	平成7年5月12日～平成11年4月30日	弟子屈町議員(議)
松田豊	平成7年8月25日～平成11年4月30日	弟子屈町議員
徳永行雄	平成10年3月19日～平成11年4月30日	弟子屈町議員
小野寺典男	平成7年5月10日～平成11年4月30日	標茶町議員
館田賢治	平成7年5月10日～平成11年4月30日	標茶町議員
大島益美	平成7年5月10日～平成11年4月30日	標茶町議員
新田重雄	平成7年5月10日～平成11年4月30日	標茶町議員
高野千鶴子	平成7年5月10日～平成11年4月30日	標茶町議員(副)
中田正光	平成11年5月11日～平成15年4月30日	標茶町議員
川村多美男	平成11年5月11日～平成15年4月30日	標茶町議員
三上剛	平成11年5月11日～平成15年4月30日	標茶町議員
羽田光雄	平成11年5月11日～平成15年4月30日	標茶町議員
佐藤松喜	平成11年5月11日～平成15年4月30日	標茶町議員(副)
風祭保夫	平成11年5月12日～平成12年10月11日	弟子屈町議員
和田淳	平成11年5月12日～平成12年10月11日	弟子屈町議員
金子正男	平成11年5月12日～平成12年10月11日	弟子屈町議員
坪井嗣雄	平成11年5月12日～平成12年10月11日	弟子屈町議員
徳永行雄	平成11年5月12日～平成12年10月11日	弟子屈町議員(議)
吉田兵一	平成12年11月21日～平成16年11月11日	弟子屈町議員
山田博	平成12年11月21日～平成16年11月11日	弟子屈町議員
風祭保夫	平成12年11月21日～平成16年11月11日	弟子屈町議員
和田淳	平成12年11月21日～平成16年11月11日	弟子屈町議員
八幡豊行	平成12年11月21日～平成16年11月11日	弟子屈町議員(議)
館忠良	平成16年11月12日～平成19年4月30日	弟子屈町議員
近江屋茂	平成16年11月12日～平成19年4月30日	弟子屈町議員
和田淳	平成16年11月12日～平成19年4月30日	弟子屈町議員
松田豊	平成16年11月12日～平成19年4月30日	弟子屈町議員
村上政市	平成16年11月12日～平成19年4月30日	弟子屈町議員(議)
豊田實	平成15年5月9日～平成19年4月30日	標茶町議員
末柄薫	平成15年5月9日～平成19年4月30日	標茶町議員
川村多美男	平成15年5月9日～平成19年4月30日	標茶町議員(副)
菊地誠道	平成15年5月9日～平成19年4月30日	標茶町議員
高橋紀久男	平成15年5月9日～平成19年4月30日	標茶町議員
武藤清隆	平成17年10月11日～平成19年4月30日	鶴居村議員
久保田武男	平成17年10月11日～平成19年4月30日	鶴居村議員
大山尚良	平成17年10月11日～平成19年4月30日	鶴居村議員
村上政市	平成19年5月11日～平成20年11月11日	弟子屈町議員(議)
和田淳	平成19年5月11日～平成20年11月11日	弟子屈町議員

氏 名	就 任 期 間	備 考
近江屋 茂	平成19年5月11日～平成20年11月11日	弟子屈町議員
林 博	平成19年5月10日～平成23年4月30日	標茶町議員
平川 昌昭	平成19年5月10日～平成23年4月30日	標茶町議員
館田 賢治	平成19年5月10日～平成23年4月30日	標茶町議員 (副)
東 隆行	平成19年5月9日～平成23年4月30日	鶴居村議員
吉田 保博	平成19年5月9日～平成23年4月30日	鶴居村議員
秋里 廣志	平成19年5月9日～平成23年4月30日	鶴居村議員
風祭 保夫	平成20年11月17日～平成24年11月11日	弟子屈町議員 (議)
小川 義雄	平成20年11月17日～平成24年11月11日	弟子屈町議員
岩崎 義人	平成20年11月17日～平成24年11月11日	弟子屈町議員
松下 哲也	平成23年5月20日～平成27年4月30日	標茶町議員
深見 迪	平成23年5月20日～平成27年4月30日	標茶町議員 (副)
黒沼 俊幸	平成23年5月20日～平成27年4月30日	標茶町議員
及川 満浩	平成23年5月20日～平成27年4月30日	鶴居村議員
佐藤 吉人	平成23年5月20日～平成27年4月30日	鶴居村議員
吉田 保博	平成23年5月20日～平成27年4月30日	鶴居村議員
館 忠良	平成24年11月12日～平成28年11月11日	弟子屈町議員 (議)
鈴木 繁	平成24年11月12日～平成28年7月12日	弟子屈町議員
鈴木 康弘	平成24年11月12日～平成28年11月11日	弟子屈町議員
後藤 勲	平成27年5月1日～平成31年4月30日	標茶町議員
深見 迪	平成27年5月1日～平成31年4月30日	標茶町議員 (副)
黒沼 俊幸	平成27年5月1日～平成31年4月30日	標茶町議員
及川 満浩	平成27年5月1日～平成31年4月30日	鶴居村議員
松井 洋和	平成27年5月1日～平成31年4月30日	鶴居村議員
吉田 保博	平成27年5月1日～平成31年4月30日	鶴居村議員
高橋 正秀	平成28年7月13日～平成28年11月11日	弟子屈町議員
岩崎 義人	平成28年11月12日～令和2年11月11日	弟子屈町議員 (議)
徳永 則行	平成28年11月12日～令和2年11月11日	弟子屈町議員
小川 義雄	平成28年11月12日～令和2年11月11日	弟子屈町議員
長尾 式宮	令和1年5月1日～令和5年4月30日	標茶町議員
熊谷 善行	令和1年5月1日～令和5年4月30日	標茶町議員
黒沼 俊幸	令和1年5月1日～令和5年4月30日	標茶町議員 (副)
松井 俊治	令和1年5月1日～令和5年4月30日	鶴居村議員
松井 洋和	令和1年5月1日～令和5年4月30日	鶴居村議員
東 隆行	令和1年5月1日～令和5年4月30日	鶴居村議員
徳永 則行	令和2年11月12日～ 現 在	弟子屈町議員 (議)
鈴木 康弘	令和2年11月12日～ 現 在	弟子屈町議員
大道 賞二	令和2年11月12日～ 現 在	弟子屈町議員
長尾 式宮	令和5年5月1日～ 現 在	標茶町議員 (副)
鈴木 裕美	令和5年5月1日～ 現 在	標茶町議員
齊藤 昇一	令和5年5月1日～ 現 在	標茶町議員
吉田 保博	令和5年5月1日～ 現 在	鶴居村議員
松井 俊治	令和5年5月1日～ 現 在	鶴居村議員
板 宏哉	令和5年5月1日～ 現 在	鶴居村議員

歴代収入役・会計管理者

■歴代収入役

氏名	就任期間
齊藤 修	昭和48年4月1日～昭和52年12月24日
佐々木 進	昭和54年12月17日～平成2年10月10日
岡田 勉	平成4年1月29日～平成7年2月28日
西郷 満	平成7年5月30日～平成13年1月31日
寺岡 清敏	平成13年2月1日～平成17年1月31日
吉備津 民夫	平成17年2月1日～平成19年3月31日

■歴代会計管理者

氏名	就任期間
國岡 有	平成19年4月1日～平成20年3月31日
村田 英雄	平成20年4月1日～平成22年3月31日
高橋 進	平成22年4月1日～平成25年3月31日
横井 明夫	平成25年4月1日～平成28年3月31日
山本 節子	平成28年4月1日～平成30年3月31日
納谷 基哉	平成30年4月1日～令和3年3月31日
丹羽 好文	令和3年4月1日～現在

歴代幹部職員

■歴代消防長

代	氏名	就任期間
初	守護 泰国	昭和48年5月10日～昭和62年3月31日
2	坪井 長治	昭和62年4月3日～平成1年2月6日
3	伊藤 聖二	平成1年2月17日～平成5年3月31日
4	安部 良博	平成5年4月1日～平成8年3月31日
5	大下 精	平成8年4月1日～平成12年3月31日
6	澤頭 昇	平成12年4月1日～平成13年3月31日
7	館 定勝	平成13年4月1日～平成16年3月31日
8	中山 十二男	平成16年4月1日～平成18年9月30日
9	古屋 勝	平成18年10月1日～平成21年3月31日
10	館 郁男	平成21年4月1日～平成25年3月31日
11	熊谷 英二	平成25年4月1日～平成26年3月31日
12	松田 孝之	平成26年4月1日～平成27年3月31日
13	菅井 憲昭	平成27年4月1日～令和2年3月31日
14	越善 忍	令和2年4月1日～令和3年3月31日
15	鈴木 浩	令和3年4月1日～令和4年3月31日
16	高田 勝也	令和4年4月1日～現在

■歴代消防署長

【弟子屈消防署】

代	氏名	就任期間
初	笹川 三勇士	昭和54年6月1日～昭和60年12月31日
2	澤頭 昇	昭和61年1月20日～平成12年3月31日
3	中山 十二男	平成12年4月1日～平成13年3月31日
4	船坂 計明	平成13年4月1日～平成16年6月30日
5	古屋 勝	平成16年7月1日～平成18年9月30日
6	葛尾 政行	平成18年10月1日～平成22年3月31日
7	西川 進	平成22年4月1日～平成26年3月31日
8	鏡 信雄	平成26年4月1日～令和3年3月31日
9	池田 保士	令和3年4月1日～現在

【標茶消防署】

代	氏名	就任期間
初	河合 養七	昭和54年8月1日～昭和56年3月31日
2	越善 諤	昭和56年4月16日～昭和58年3月31日
3	西村 泉	昭和58年7月1日～昭和60年3月31日
4	関澤 幸一	昭和60年4月1日～平成2年3月31日
5	鈴木 健一	平成2年4月1日～平成5年3月31日
6	川村 毅	平成5年4月1日～平成13年3月31日
7	北村 久男	平成13年4月1日～平成19年3月31日
8	飯田 徹	平成19年4月1日～平成27年3月31日
9	田中 善志	平成27年4月1日～令和3年3月31日
10	嶽 義明	令和3年4月1日～令和4年3月31日
11	高橋 勝	令和4年4月1日～現在

【鶴居消防署】 ※平成17年10月11日より釧路北部消防事務組合に加入

代	氏名	就任期間
初	山崎 達生	平成17年10月11日～平成25年3月31日
2	高田 勝也	平成25年4月1日～令和2年3月31日
3	川村 公基	令和2年4月1日～令和4年3月31日
4	加藤 博由	令和4年4月1日～現在

■歴代支署長

【弟子屈支署】

代	氏名	就任期間
初	内田 高保	昭和48年4月1日～昭和51年3月31日
2	笹川 三勇士	昭和51年4月1日～昭和54年5月30日

【川湯支署】

代	氏名	就任期間
初	齊藤 良治	昭和48年5月1日～昭和53年7月31日
2	大友 泰雄	昭和53年8月1日～平成14年3月31日
3	古屋 勝	平成14年4月1日～平成16年4月30日
4	大橋 正	平成16年5月1日～平成23年3月31日
5	伊藤 秀明	平成23年4月1日～平成24年3月31日
6	菅江 泰大	平成24年4月1日～平成26年3月31日
7	村山 和也	平成26年4月1日～令和2年3月31日
8	池田 保士	令和2年4月1日～令和3年3月31日

【標茶支署】

代	氏名	就任期間
初	森 孝	昭和48年4月1日～昭和51年3月31日
2	河合 養七	昭和51年4月1日～昭和54年5月31日

元職員名簿

■弟子屈消防署

役職	階級	氏名	在籍期間
予防救急課長	消防司令	森谷満治	昭和46年4月27日～平成14年3月31日
予防救急課主幹	消防司令補	佐久間英夫	昭和47年4月17日～平成14年3月31日
予防救急課長補佐	消防司令	勝呂光男	昭和48年4月1日～平成20年3月31日
警防管理課主幹	消防司令補	若島敏雄	昭和53年5月1日～平成20年12月31日
次長	消防司令	久江和則	昭和53年7月1日～平成23年3月31日
予防救急課長	消防司令	吉田陽	昭和54年7月1日～平成22年9月30日
警防係主査	消防司令補	澤田亘弘	平成4年4月1日～平成26年3月31日
救急救助係長	消防司令補	戸張靖一郎	平成12年4月1日～令和5年1月27日
救急救助係長	消防司令補	和田聡史	平成14年4月1日～令和元年6月30日
予防広報係	消防副士長	芝尾拓也	平成23年5月1日～令和2年1月31日
予防広報係	消防士	草野陽貴	平成30年4月1日～令和4年1月31日

■川湯支署

役職	階級	氏名	在籍期間
予防救急課長	消防司令	鈴木祐蔵	昭和48年5月10日～平成16年3月31日
警防管理課長	消防司令	片岡福美	昭和49年11月10日～平成23年3月31日
警防管理課長補佐	消防司令	合田繁年	昭和50年4月1日～平成23年3月31日
警防管理課長	消防司令	金子賢一	昭和52年1月1日～平成30年3月31日
警防係長	消防司令補	畑正章	平成8年4月1日～平成29年2月28日
警防係	消防副士長	田中泰弘	平成23年4月1日～平成29年3月31日
警防係	消防副士長	吉田健志	平成24年5月1日～平成27年8月31日

■標茶消防署

役職	階級	氏名	在籍期間
警防係長	消防司令補	高橋貞夫	昭和31年4月1日～昭和61年3月31日
警防課長	消防司令補	小場詔夫	昭和40年12月1日～平成10年6月30日
次長	消防司令	森田紀男	昭和43年4月1日～平成14年3月31日
警防管理課主幹	消防司令補	林勇	昭和45年10月13日～平成18年3月31日
予防係	消防副士長	賀東嘉広	昭和48年4月1日～昭和51年9月1日
庶務係主任	消防士長	山澤則雄	昭和48年4月1日～昭和58年12月22日
警備1係	消防士	田中政尚	昭和49年4月1日～昭和55年8月31日
予防救急課長	消防司令	吉田欣司	昭和49年4月1日～平成12年1月29日
警防管理課長	消防司令	鎌田徳良	昭和50年4月1日～平成24年3月31日
次長	消防司令	矢島慶治	昭和50年4月1日～平成26年3月31日
警防管理課長	消防司令	高田和則	昭和51年7月1日～平成25年3月31日
救急救助係長	消防司令補	前島仁	昭和51年11月5日～平成24年12月31日
警防係	消防士	湯田崇	平成17年4月1日～平成18年3月31日
救急救助係	消防士	秋松賢	平成18年4月1日～平成20年3月31日
警防係	消防士	和田山哲史	平成24年4月1日～平成29年3月31日
予防広報係	消防副士長	川村翔	平成25年4月1日～令和元年12月31日
予防広報係	消防士	池田大貴	平成25年4月1日～平成29年3月31日
警防係	消防士	中谷晃基	平成29年4月1日～令和3年3月31日

■鶴居消防署

役職	階級	氏名	在籍期間
予防救急課長	消防司令	佐野吉晴	昭和49年5月21日～平成24年3月31日
警防係	消防士	木下博喜	平成19年5月1日～平成23年3月31日
警防係	消防士	表駿光	平成24年5月1日～平成25年7月31日
総務係主査	事務吏員	松村美樹	平成17年10月11日～平成20年6月30日
総務係主査	事務吏員	太田都志子	平成20年7月1日～平成22年1月31日
総務係主査	事務吏員	佐藤一憲	平成22年4月1日～平成25年3月31日

消 防 本 部



消防長
高田 勝也



総務課長
中川 貴代



消防課長
高田 和久



役 職	階 級	氏 名	拜 命 年 月 日
消防長	消防司令長	高田 勝也	昭和61年4月1日
総務課長		中川 貴代	昭和58年4月1日
消防課長	消防司令	高田 和久	平成4年4月1日
消防係長	消防司令補	佐藤 直幸	平成13年4月1日
総務係長	消防司令補	守屋 公揮	平成14年4月1日
通信指令係長	消防司令補	堀口 翔太	平成16年7月1日
通信指令係	消防司令補	鈴木 利弘	昭和61年4月1日
通信指令係	消防司令補	田中 稔	平成6年4月1日
総務係	消防士長	星川 悠斗	平成25年10月1日
消防係	消防士	吉田 将也	平成28年4月1日

弟子屈消防署



署長 池田 保士



役 職	階 級	氏 名	拜 命 年 月 日
署 長	消防司令	池 田 保 士	昭和61年4月1日
予防救急課長	消防司令	宮 崎 貴 親	平成6年4月1日
警防管理課長	消防司令	猿 田 正 和	平成7年4月1日
予防救急課長補佐	消防司令	松 原 博 志	平成8年4月1日
警防管理課長補佐	消防司令	林 昌 広	平成9年4月1日
予防広報係長	消防司令補	中 島 健 一	平成12年4月1日
警防係長	消防司令補	佐 藤 圭 一	平成14年5月1日
予防広報係長	消防司令補	村 岡 弘 康	平成14年5月1日
総務係長	消防司令補	武 山 桂 丞	平成13年4月1日
救急救助係長	消防司令補	佐々木 真 吾	平成16年5月1日
警防係長	消防司令補	武 田 清 和	平成17年5月1日
警防係主査	消防司令補	長谷川 進	平成9年4月1日
救急救助係主査	消防司令補	石 田 克 敏	平成18年10月1日
予防広報係主査	消防司令補	山 本 昇 平	平成20年5月1日
予防広報係主査	消防司令補	菊 地 一 世	平成22年4月1日
警防係主査	消防司令補	村 田 幸 治	平成22年5月1日
総務係主任	消防士長	鈴 木 謙 太	平成22年4月1日
予防広報係主任	消防士長	山 本 直 央	平成23年4月1日
警防係主任	消防士長	鈴 木 康 平	平成24年4月1日
総務係主任	消防士長	加 藤 利 器	平成26年4月1日
警防係主任	消防士長	古 瀬 翔 太	平成26年5月1日
予防広報係	消防副士長	中 本 聖 也	平成27年4月1日
予防広報係	消防副士長	杉 山 駿 介	平成29年4月1日
予防広報係	消 防 士	工 藤 瑞 希	平成30年4月1日
救急救助係	消 防 士	中 島 彰 良	平成31年4月1日
警 防 係	消 防 士	和 田 涼 馬	令和2年4月1日
警 防 係	消 防 士	兼 田 裕 樹	令和2年4月1日
警 防 係	消 防 士	太刀野 貴 稀	令和3年4月1日
警 防 係	消 防 士	内 海 慎 治	令和4年4月1日
警 防 係	消 防 士	阿 部 蒼 大	令和4年4月1日
警 防 係	消 防 士	川 端 柚 輝	令和5年4月1日
警 防 係	消 防 士	石 塚 敬 士	令和5年4月1日

標茶消防署



署長 高橋 勝



役 職	階 級	氏 名	拜 命 年 月 日
署 長	消防司令	高 橋 勝	昭和59年3月1日
警防管理課長 兼予防救急課長	消防司令	高 橋 行	平成7年4月1日
予防救急課長補佐	消防司令	小野寺 将 人	平成9年4月1日
警防管理課長補佐	消防司令	小 野 けん太	平成9年4月1日
救急救助係長	消防司令補	矢 島 幸 宏	平成12年4月1日
予防広報係長	消防司令補	佐々木 亮 太	平成16年4月1日
警防係長	消防司令補	大 越 慎太郎	平成18年4月1日
総務係長	消防司令補	工 藤 康 浩	平成18年7月1日
総務係主査	消防司令補	加 藤 悦 久	平成5年8月1日
警防係主査	消防司令補	谷 大 輝	平成21年4月1日
警防係主査	消防司令補	常 陸 拓 也	平成22年4月1日
総務係主任	消防士長	齊 藤 一 也	平成25年4月1日
予防広報係主任	消防士長	佐 藤 俊 明	平成22年4月1日
警防係主任	消防士長	氏 家 恭 介	平成23年4月1日
救急救助係	消防副士長	堀 内 一 磨	平成26年4月1日
総 務 係	消防副士長	中 川 貴 之	平成26年4月1日
予防広報係	消防副士長	下 山 竜 祐	平成29年4月1日
救急救助係	消防副士長	熊 谷 雄 斗	平成27年4月1日
予防広報係	消防副士長	松 本 健 太	令和2年4月1日
予防広報係	消 防 士	杉 野 瑠	令和2年4月1日
予防広報係	消 防 士	竹 林 達 海	令和3年4月1日
警 防 係	消 防 士	藤 川 峻 輔	令和3年4月1日
警 防 係	消 防 士	中 村 輝 基	令和4年4月1日
警 防 係	消 防 士	中 嶋 航 哉	令和5年4月1日
警 防 係	消 防 士	石 崎 大 雅	令和5年4月1日
標茶町役場派遣		高 田 貢	平成11年4月1日

鶴居消防署



署長 加藤 博由



役 職	階 級	氏 名	拜 命 年 月 日
署 長 兼警防管理課長	消防司令	加 藤 博 由	平成6年6月1日
予防救急課長	消防司令	早 川 宜 志	平成6年4月1日
警防管理課長補佐 兼総務係長	消防司令	村 上 勉	平成3年4月1日
予防救急課長補佐	消防司令	池 邊 智 史	平成13年7月1日
警防係長	消防司令補	今 野 智 王	平成9年4月1日
予防広報係長	消防司令補	菅 原 雄 樹	平成11年4月1日
救急救助係長	消防司令補	高 平 将 臣	平成11年4月1日
警防係主査	消防司令補	石 井 圭	平成23年4月1日
救急救助係主任 兼予防広報係主任	消防士長	山 下 悟 史	平成23年5月1日
総務係主任	消防士長	加 藤 大 輝	平成26年5月1日
警 防 係	消防副士長	東 康 太 郎	平成25年4月1日
総 務 係	消 防 士	渋 谷 瑛 一	平成30年4月1日
予防広報係	消 防 士	井 上 翔 也	令和2年4月1日
警 防 係	消 防 士	野 邑 拓 誠	令和3年4月1日
予防広報係	消 防 士	金 岩 鷹 哉	令和4年4月1日

歴代消防団幹部名簿

※組合創設時から現在まで

■弟子屈消防団

役 職	氏 名	就 任 期 間
団 長	古 屋 利 八	昭和46年12月1日～昭和58年3月16日
	佐 藤 繁 一	昭和58年4月1日～平成7年9月30日
	林 隆 雄	平成7年10月1日～平成21年9月30日
	藤 田 茂	平成21年10月1日～令和3年3月31日
副 団 長	佐 藤 繁 一	昭和46年12月1日～昭和58年3月31日
	南 昭 二	昭和58年4月1日～平成2年10月31日
	林 隆 雄	平成2年11月1日～平成7年9月30日
	吉 田 義 則	平成7年10月1日～平成14年3月31日
	藤 田 茂	平成14年4月1日～平成21年9月30日
	上 村 保 範	平成21年10月1日～令和2年3月31日
	白 山 義 信	令和2年4月1日～令和3年3月31日
第1分団分団長	右 近 慶 三	昭和50年4月1日～昭和53年10月8日
	坂 本 力 男	昭和53年11月1日～昭和62年3月31日
	林 隆 雄	昭和62年4月1日～平成2年10月31日
	吉 田 義 則	平成2年11月1日～平成7年9月30日
	澁 谷 清 一	平成7年10月1日～平成9年11月30日
	藤 田 茂	平成9年12月1日～平成14年3月31日
	筒 井 庄 一	平成14年4月1日～令和3年3月31日
第1分団副分団長	塩 谷 正 男	昭和50年4月1日～昭和51年8月18日
	板 倉 清 二	昭和51年9月1日～昭和58年3月31日
	秋 山 勉	昭和58年4月1日～昭和60年12月31日
	林 隆 雄	昭和61年1月1日～昭和61年12月6日
	吉 田 義 則	昭和61年12月7日～平成2年10月31日
	川 堰 欣 一	平成2年11月1日～平成6年9月30日
	藤 田 茂	平成6年10月1日～平成7年9月30日
	筒 井 庄 一	平成7年10月1日～平成9年11月30日
	平 塚 三 郎	平成9年12月1日～平成14年3月31日
	野 田 彰	平成14年4月1日～平成21年9月30日
	村 田 隆	平成21年10月1日～平成26年2月28日
	白 山 義 信	平成26年3月1日～平成30年3月31日
	金 川 礼 光	平成30年4月1日～令和2年3月31日
	市 山 榮 吉	令和2年4月1日～令和3年3月31日
第2分団分団長	坂 本 力 男	昭和50年4月1日～昭和53年10月31日
	南 昭 二	昭和53年11月1日～昭和58年3月31日
	板 倉 清 二	昭和58年4月1日～昭和61年12月5日
	林 隆 雄	昭和61年12月7日～昭和62年3月31日
	館 田 榮 仁	昭和62年4月1日～平成3年3月31日
	澁 谷 清 一	平成3年4月1日～平成7年9月30日
	藤 田 茂	平成7年10月1日～平成9年11月30日
	筒 井 庄 一	平成9年12月1日～平成14年3月31日
	平 塚 三 郎	平成14年4月1日～平成17年3月31日
	上 村 保 範	平成17年4月1日～平成21年9月30日
	野 田 彰	平成21年10月1日～平成30年3月31日
	白 山 義 信	平成30年4月1日～令和2年3月31日
	金 山 礼 光	令和2年4月1日～令和3年3月31日
第2分団副分団長	南 昭 二	昭和50年4月1日～昭和53年10月31日
	秋 山 勉	昭和53年11月1日～昭和58年3月31日
	林 隆 雄	昭和58年4月1日～昭和60年12月31日
	館 田 榮 仁	昭和61年1月1日～昭和62年3月31日
	澁 谷 清 一	昭和62年4月1日～平成3年3月31日
藤 田 茂	平成3年4月1日～平成6年9月30日	

役 職	氏 名	就 任 期 間
第2分団副分団長	筒井 庄 一	平成6年10月1日～平成7年9月30日
	平塚 三 郎	平成7年10月1日～平成9年11月30日
	野田 彰	平成9年12月1日～平成14年3月31日
	上村 保 範	平成14年4月1日～平成17年3月31日
	野田 孝	平成17年4月1日～平成21年3月31日
	村田 隆	平成21年4月1日～平成21年9月30日
	白山 義 信	平成21年10月1日～平成26年2月28日
	金川 礼 光	平成26年3月1日～平成30年3月31日
	市山 榮 吉	平成30年4月1日～令和2年3月31日
江上 詞	令和2年4月1日～令和3年3月31日	

■川湯消防団

役 職	氏 名	就 任 期 間
団 長	根津 文 男	昭和25年2月1日～昭和60年2月28日
	鈴木 義 光	昭和60年3月1日～平成7年3月31日
	見澤 憲 政	平成7年4月1日～平成10年5月30日
	松田 勝 吉	平成10年6月1日～平成17年3月31日
	濱岡 正 次	平成17年4月1日～平成31年3月31日
	不動 繁 雄	平成31年4月1日～令和3年3月31日
副 団 長	鈴木 義 光	昭和46年5月1日～昭和60年2月28日
	見澤 憲 政	昭和60年3月1日～平成7年3月31日
	松田 勝 吉	平成7年4月1日～平成10年5月31日
	納谷 幸 治	平成10年6月1日～平成21年1月31日
	不動 繁 雄	平成21年3月1日～平成31年3月31日
	佐々木 英 勝	平成31年4月1日～令和3年3月31日
第1分団分団長	見澤 憲 政	昭和50年4月1日～昭和60年2月28日
	潮見 春 雄	昭和60年3月1日～平成10年1月31日
	納谷 幸 治	平成10年2月1日～平成10年5月31日
	川堰 一 彦	平成10年6月1日～平成15年5月1日
	小林 三 男	平成15年6月1日～平成23年3月31日
	田中 実	平成23年4月1日～平成23年8月31日
	山本 昭 義	平成23年10月1日～平成25年3月31日
	佐々木 英 勝	平成25年4月1日～平成31年3月31日
第1分団副分団長	松田 弘 行	平成31年4月1日～令和3年3月31日
	大野 定 良	昭和50年4月1日～昭和59年2月28日
	納谷 幸 治	昭和59年3月1日～昭和60年2月28日
	松田 勝 吉	昭和60年3月1日～平成7年3月31日
	山本 昭 義	平成7年4月1日～平成23年3月31日
	松田 弘 行	平成23年4月1日～平成25年3月31日
	柴崎 一 彦	平成25年4月1日～平成31年3月31日
第2分団分団長	栗田 康 則	平成31年4月1日～令和3年3月31日
	山口 芳 雄	昭和50年4月1日～昭和56年12月31日
	潮見 春 雄	昭和57年1月1日～昭和60年2月28日
	納谷 幸 治	昭和60年3月1日～平成10年1月31日
	川堰 一 彦	平成10年2月1日～平成10年5月31日
	濱岡 正 次	平成10年6月1日～平成17年3月31日
	不動 繁 雄	平成17年4月1日～平成21年2月28日
	田中 実	平成21年3月1日～平成23年3月31日
	山本 昭 義	平成23年4月1日～平成23年9月30日
	佐々木 英 勝	平成23年10月1日～平成25年3月31日
	松田 弘 行	平成25年4月1日～平成31年3月31日
柴崎 一 彦	平成31年4月1日～令和元年6月30日	
作田 幸 久	令和2年4月1日～令和3年3月31日	

役 職	氏 名	就 任 期 間
第2分団副分団長	潮 見 春 雄	昭和50年4月1日～昭和56年12月31日
	納 谷 幸 治	昭和57年2月1日～昭和59年2月28日
	松 田 勝 吉	昭和59年3月1日～昭和60年2月28日
	新 居 悦 男	昭和60年3月1日～平成2年3月31日
	小野寺 幸 男	平成2年4月1日～平成3年10月31日
	山 本 昭 義	平成3年12月1日～平成7年3月31日
	川 堰 一 彦	平成7年4月1日～平成13年1月31日
	濱 岡 正 次	平成10年2月1日～平成10年5月31日
	中 島 慶 吉	平成10年6月1日～平成13年12月31日
	小 林 三 男	平成14年4月1日～平成15年5月30日
	不 動 繁 雄	平成15年6月1日～平成17年3月31日
	田 中 実	平成17年4月1日～平成21年2月28日
	松 田 弘 行	平成21年3月1日～平成23年3月31日
	柴 崎 一 彦	平成23年4月1日～平成25年3月31日
	栗 田 康 則	平成25年4月1日～平成31年3月31日
	作 田 幸 久	平成31年4月1日～令和2年3月31日
佐 野 克 彦	令和2年4月1日～令和3年3月31日	

■弟子屈町消防団

役 職	氏 名	就 任 期 間
団 長	藤 田 茂	令和3年4月1日～ 現 在
副 団 長	不 動 繁 雄	令和3年4月1日～ 現 在
	佐々木 英 勝	令和3年4月1日～ 現 在
	白 山 義 信	令和3年4月1日～ 現 在
弟子屈第1分団分団長	筒 井 庄 一	令和3年4月1日～令和3年12月31日
	金 川 礼 光	令和4年1月1日～ 現 在
弟子屈第1分団副分団長	江 上 詞	令和3年4月1日～令和3年12月31日
	中 澤 高 行	令和4年1月1日～ 現 在
弟子屈第2分団分団長	金 川 礼 光	令和3年4月1日～令和3年12月31日
	江 上 詞	令和4年1月1日～ 現 在
弟子屈第2分団副分団長	中 澤 高 行	令和3年4月1日～令和3年12月31日
	古 瀬 公 一	令和4年1月1日～ 現 在
弟子屈第3分団分団長	吉清水 幸 夫	令和3年4月1日～ 現 在
弟子屈第3分団副分団長	星 川 幸 喜	令和3年4月1日～ 現 在
川湯第1分団分団長	松 田 弘 行	令和3年4月1日～ 現 在
川湯第1分団副分団長	栗 田 康 則	令和3年4月1日～ 現 在
川湯第2分団分団長	作 田 幸 久	令和3年4月1日～ 現 在
川湯第2分団副分団長	佐 野 克 彦	令和3年4月1日～ 現 在

※弟子屈消防団・川湯消防団は令和3年4月1日より統合され弟子屈町消防団となる。

■標茶消防団

役 職	氏 名	就 任 期 間
団 長	三 本 仙一郎	昭和35年4月1日～昭和50年3月31日
	森 山 廣太郎	昭和50年4月1日～昭和52年1月31日
	千 葉 義 一	昭和52年3月1日～昭和54年2月28日
	高 橋 昭 壽	昭和54年3月1日～平成14年3月31日
	幸 坂 邦 夫	平成14年4月1日～平成18年3月31日
	田 中 純 一	平成18年4月1日～ 現 在
副 団 長	森 山 廣太郎	昭和45年6月15日～昭和50年3月31日
	千 葉 義 一	昭和48年3月31日～昭和52年1月31日
	高 橋 昭 壽	昭和50年4月1日～昭和54年2月28日
	越 善 武	昭和52年3月1日～昭和59年12月1日
	牛 崎 義 和	昭和54年3月1日～平成14年3月31日
	北 浦 惇	昭和60年1月1日～平成11年9月30日
	梶 川 宏	平成8年1月1日～平成15年3月31日
	高 橋 要	平成14年4月1日～平成16年4月18日
	鈴 木 勝 己	平成14年4月1日～ 現 在
	田 中 純 一	平成15年4月1日～平成18年3月31日
	栗 栖 一 巳	平成16年5月1日～平成21年3月31日
	蛭 名 嘉 章	平成18年4月1日～ 現 在
三島木 洋 一	平成21年4月1日～ 現 在	
第1分団分団長	高 橋 昭 壽	昭和48年3月31日～昭和50年3月31日
	牛 崎 義 和	昭和50年4月1日～昭和54年2月28日
	北 浦 惇	昭和54年3月1日～平成14年3月31日
	佐 藤 武	昭和60年1月1日～平成2年3月31日
	伊 勢 進	平成2年4月1日～平成6年2月28日
	梶 川 宏	平成6年3月1日～平成7年12月31日
	幸 坂 邦 夫	平成8年1月1日～平成11年9月30日
	鈴 木 勝 己	平成11年10月1日～平成14年3月31日
	田 中 純 一	平成14年4月1日～平成15年3月31日
	蛭 名 嘉 章	平成15年4月1日～平成18年3月31日
	畠 山 雅 之	平成18年4月1日～令和4年4月30日
	山 崎 孝 一	令和4年5月1日～ 現 在
第1分団副分団長	牛 崎 義 和	昭和48年3月31日～昭和50年3月31日
	北 浦 惇	昭和50年4月1日～昭和50年12月31日
	佐 藤 武	昭和51年1月1日～昭和54年2月28日
	伊 勢 進	昭和54年3月1日～昭和59年12月31日
	酒 井 輝 一	昭和60年1月1日～昭和63年8月31日
	田 尾 昭五郎	昭和63年9月1日～平成元年1月25日
	幸 坂 邦 夫	平成元年1月25日～平成6年2月28日
	青 山 英 敏	平成6年4月1日～平成8年12月31日
	小 林 守	平成9年3月1日～平成12年4月30日
	蛭 名 嘉 章	平成12年5月1日～平成14年3月31日
	畠 山 雅 之	平成14年4月1日～平成18年3月31日
第1分団副分団長	山 崎 孝 一	平成18年4月1日～令和4年4月30日
	遠 藤 昭	令和4年5月1日～ 現 在
第2分団分団長	北 浦 惇	昭和51年1月1日～昭和54年2月28日
	佐 藤 武	昭和54年3月1日～昭和59年12月31日
	伊 勢 進	昭和60年1月1日～平成2年3月31日
	梶 川 宏	平成2年4月1日～平成6年2月28日
	幸 坂 邦 夫	平成6年3月1日～平成7年12月31日
	鈴 木 勝 己	平成8年1月1日～平成11年9月30日
	田 中 純 一	平成11年10月1日～平成14年3月31日
	蛭 名 嘉 章	平成14年4月1日～平成15年3月31日
	田 中 德 久	平成15年4月1日～平成28年3月31日
藤 原 利 洋	平成28年4月1日～ 現 在	

役 職	氏 名	就 任 期 間
第2分団副分団長	伊 勢 進	昭和51年1月1日～昭和54年2月28日
	酒 井 輝 一	昭和54年3月1日～昭和59年12月31日
	梶 川 宏	昭和60年1月1日～平成2年3月31日
	田 村 清 則	平成2年4月1日～平成7年3月31日
	鈴 木 勝 己	平成7年4月1日～平成7年12月31日
	小 林 守	平成8年1月1日～平成9年2月28日
	矢 部 拓 道	平成9年3月1日～平成12年3月31日
	田 中 徳 久	平成12年5月1日～平成15年3月31日
	山 崎 孝 一	平成15年4月1日～平成18年3月31日
	藤 原 利 洋	平成18年4月1日～平成28年3月31日
	山 林 幹 雄	平成28年4月1日～平成31年3月31日
倉 内 秀 和	平成31年4月1日～ 現 在	
第3分団分団長	寺 島 寿	昭和50年4月1日～平成2年7月20日
	伊 藤 新太郎	平成2年8月1日～平成15年3月31日
	栗 栖 一 巳	平成15年4月1日～平成16年4月30日
	三島木 洋 一	平成16年5月1日～平成21年3月31日
	森 田 誠 一	平成21年4月1日～ 現 在
第3分団副分団長	越 崎 哲 夫	昭和50年4月1日～昭和52年2月28日
	狩 野 徹	平成2年8月1日～平成7年5月31日
	栗 栖 一 巳	平成7年7月1日～平成15年3月31日
	三島木 洋 一	平成15年4月1日～平成16年4月30日
	野 崎 政 則	平成16年5月1日～平成25年6月30日
	森 雅 俊	平成25年7月1日～平成29年6月29日
	森 田 利 和	平成29年8月1日～ 現 在
第4分団分団長	越 善 武	昭和50年4月1日～昭和52年2月28日
	橋 本 正 敏	昭和52年3月1日～昭和60年3月31日
	相 撲 実 現	昭和60年4月1日～平成10年1月31日
	鳥 海 征 嗣	平成10年2月1日～平成17年7月31日
	高 平 敏 夫	平成17年8月1日～令和3年3月31日
	橋 本 寛	令和3年4月1日～ 現 在
第4分団副分団長	橋 本 正 敏	昭和50年4月1日～昭和52年2月28日
	伊 藤 堅太郎	昭和52年3月1日～昭和60年3月31日
	加 地 亀 市	昭和60年4月1日～平成元年1月25日
	川 口 克 紀	平成元年1月25日～平成10年1月31日
	高 平 敏 夫	平成10年2月1日～平成10年1月31日
	小 山 富 男	平成17年8月1日～令和2年6月30日
	橋 本 寛	令和2年7月1日～令和3年3月31日
	野 田 雄 一	令和4年4月1日～ 現 在
第5分団分団長	大 山 宏	昭和50年4月1日～平成7年9月14日
	高 橋 要	平成7年9月15日～平成14年3月31日
	木 内 貞 良	平成14年4月1日～平成18年3月31日
	榊 辰 男	平成18年4月1日～平成21年3月31日
	藤 野 紀 男	平成21年4月1日～平成24年3月31日
	麻 野 孝 行	平成24年4月1日～令和4年3月31日
	澁 谷 弘 一 郎	令和4年4月1日～ 現 在
第5分団副分団長	熊 谷 力 雄	昭和50年4月1日～昭和60年3月31日
	菊 地 亨	昭和60年4月1日～平成7年3月31日
	高 橋 要	平成7年4月1日～平成7年9月14日
	木 内 貞 良	平成7年10月1日～平成14年3月31日
	榊 辰 男	平成14年5月1日～平成18年3月31日
	藤 野 紀 男	平成18年4月1日～平成21年3月31日
	麻 野 孝 行	平成21年4月1日～平成24年3月31日
	澁 谷 弘 一 郎	平成24年4月1日～令和4年3月31日
	菊 地 映 司	令和4年4月1日～ 現 在

■鶴居消防団

役 職	氏 名	就 任 期 間
団 長	櫻 橋 敏 夫	平成10年10月1日～平成30年9月30日
	松 井 廣 道	平成30年10月1日～ 現 在
副 団 長	久保田 欣 史	平成14年10月1日～平成17年2月16日
	山 口 紘 美	平成17年4月1日～平成22年6月30日
	松 井 廣 道	平成22年8月1日～平成30年9月30日
	小野寺 正 幸	平成24年4月1日～ 現 在
	成 田 信	平成30年10月1日～ 現 在
第1分団分団長	小野寺 正 幸	平成14年10月1日～平成24年3月31日
	成 田 信	平成24年4月1日～平成30年9月30日
	加 藤 由 治	平成30年10月1日～ 現 在
第1分団副分団長	澁 谷 松 男	平成5年4月1日～ 現 在
第2分団分団長	山 口 紘 美	平成10年10月1日～平成17年3月31日
	鈴 木 重 行	平成17年4月1日～平成27年3月31日
	丹 所 昌 睦	平成27年4月1日～ 現 在
第2分団副分団長	鈴 木 重 行	平成14年10月1日～平成17年3月31日
	藤 澤 常 行	平成17年4月1日～平成21年9月30日
	澁 谷 實	平成21年11月1日～平成24年3月31日
	丹 所 昌 睦	平成24年4月1日～平成27年3月31日
	大 裕 晋 二	平成27年4月1日～ 現 在
第3分団分団長	松 井 廣 道	平成16年4月1日～平成22年7月31日
	菊 地 哲 男	平成22年8月1日～令和3年3月31日
	片 渕 幸 雄	令和3年4月1日～ 現 在
第3分団副分団長	伊 藤 正 利	平成16年4月1日～平成22年7月31日
	片 渕 幸 雄	平成22年8月1日～令和3年3月31日
	山 村 匡 男	令和3年4月1日～ 現 在
第4分団分団長	遠 藤 諭	平成11年11月1日～平成24年3月31日
	渡 部 隆 信	平成24年4月1日～令和2年3月31日
	澁 谷 忠 裕	令和2年4月1日～ 現 在
第4分団副分団長	渡 部 隆 信	平成18年4月1日～平成24年3月31日
	井 上 元 嗣	平成24年4月1日～平成31年3月31日
	澁 谷 忠 裕	平成31年4月1日～令和2年3月31日
	遠 藤 範 幸	令和2年4月1日～ 現 在

※平成17年10月11日より釧路北部消防事務組合に加入

消防団員〔各消防団本部〕

■弟子屈町消防団



団長 藤田 茂



副団長 不動 繁雄



副団長 佐々木英勝



副団長 白山 義信

■標茶消防団



団長 田中 純一



副団長 蛸名 嘉章



副団長 鈴木 勝己



副団長 三島木洋一

■ 鶴居消防団



団長 松井 廣道



副団長 小野寺正幸



副団長 成田 信

弟子屈町消防団 第1分団



第1分団長
金川 礼光



階 級	氏 名	拜 命 年 月 日
分団長	金川 礼光	昭和57年 5月 1日
副分団長	中澤 高行	昭和57年 4月 1日
部 長	須田 潤	昭和51年 6月 1日
〃	古屋 幸二	昭和61年 4月 1日
〃	上村 剛志	平成21年 5月 1日
班 長	佐々木光司	昭和59年 7月 1日
〃	村山 克久	昭和62年 8月 1日
〃	大宮 正博	平成 7年11月 1日
〃	渡辺 浩彦	平成 9年10月 1日
〃	河上 寿史	平成17年 5月 1日
〃	角藤 貴宜	平成19年 4月 1日
〃	佐藤 祐一	平成21年12月 1日
団 員	小濱 威徳	平成 9年 4月 1日
〃	澁谷 昇平	平成18年 3月 1日
〃	吉田 竜也	平成19年 3月 1日
〃	望月 大介	平成21年 8月 4日
〃	鈴木 崇弘	平成23年 5月 1日
〃	用松 連	平成26年 4月 1日
〃	菊池 隼人	平成28年 8月 1日
〃	鏡 信雄	令和 4年 6月 1日
〃	羽田 和也	令和 4年 6月 1日
〃	渡邊 雅仁	令和 4年 6月 1日

弟子屈町消防団 第2分団



第2分団長
江上 詞



階 級	氏 名	拝 命 年 月 日
分団長	江上 詞	昭和55年3月1日
副分団長	古瀬 公一	平成4年2月1日
部 長	粥川 裕光	平成7年4月1日
〃	松田 豊	平成10年7月1日
〃	西川 進	平成26年4月1日
班 長	熊谷 和則	昭和62年2月1日
〃	矢澤 一弘	平成3年5月1日
〃	今井 慎也	平成14年12月1日
〃	山内 和良	平成14年12月1日
〃	筒井 貴文	平成14年12月1日
団 員	松田 朋史	平成6年7月1日
〃	佐々木 翼	平成20年5月1日
〃	三浦 明義	平成21年1月1日
〃	北崎 翔陽	平成27年5月1日
〃	高橋 勇輔	平成27年8月1日
〃	石本 淳一	平成29年10月1日
〃	服部 隆二	平成30年8月1日
〃	金川 竜佑	令和3年6月1日
〃	鈴木 克哉	令和3年10月1日
〃	白石 寿彰	令和4年7月1日
〃	城川 翔磨	令和4年10月1日

弟子屈町消防団 第3分団



第3分団長
吉清水 幸夫



階 級	氏 名	拝 命 年 月 日
分団長	吉清水幸夫	昭和52年3月1日
副分団長	星川 幸喜	平成4年6月1日
部 長	金澤 賢二	平成元年4月1日
〃	深井 直実	昭和62年4月1日
班 長	高橋 幸一	昭和62年3月1日
〃	八幡 豊明	平成8年7月1日
団 員	鴨志田光荣	昭和57年3月1日
〃	深谷 和明	平成11年6月1日
〃	早勢 翔太	平成15年4月1日
〃	土田 祐也	平成22年2月1日
〃	蔵崎 恒寛	平成23年5月1日
〃	藤原 俊和	平成24年2月1日
〃	在津 信二	平成25年5月1日
〃	金川 智志	平成30年7月1日
〃	前田 航太	平成30年8月1日
〃	辻 隆二	令和3年4月1日
〃	山野 太郎	令和3年4月1日

弟子屈町消防団 川湯第1・2分団



川湯第1分団長 松田 弘行



川湯第2分団長 作田 幸久



■第1分団

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	松田 弘行	平成3年4月1日
副分団長	栗田 康則	昭和60年9月1日
部 長	小西 初雄	昭和45年8月21日
〃	鈴木 信一	昭和55年1月1日
〃	齋木 弥	昭和55年2月1日
〃	高橋 広幸	平成11年12月1日
班 長	長谷川義信	平成8年4月1日
〃	成田 哲也	平成10年4月1日
〃	鈴木 和実	平成23年5月1日
〃	大浦 勇樹	平成24年1月1日
団 員	金子 高志	平成15年9月1日
〃	猪狩 大智	平成25年1月1日
〃	北崎 陽考	平成30年6月1日
〃	木村 真一	平成30年6月1日

■第2分団

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	作田 幸久	昭和45年10月28日
副分団長	佐野 克彦	昭和62年5月1日
部 長	中原 忠男	昭和44年10月1日
〃	澤森 正弘	平成10年4月1日
〃	濱野 雅彦	平成11年12月1日
班 長	瀬原 栄一	平成元年6月1日
〃	松本 伸治	平成21年4月1日
〃	今川 拓也	平成26年11月1日
団 員	瀬川 太一	平成17年4月1日
〃	村井 正法	平成25年8月1日
〃	榎本 茂人	平成27年2月1日
〃	西村 凡成	平成30年2月1日

弟子屈町消防団 女性消防部



部長 郷司 多美子



部長 本田 千津子



階 級	氏 名	拝 命 年 月 日
部 長	郷司多美子	平成9年4月1日
〃	本田千津子	平成13年4月1日
班 長	平岡美代子	平成9年4月1日
〃	斉藤真由美	平成22年1月1日
団 員	船坂喜美恵	平成21年7月1日
〃	藤原 直美	平成24年3月1日
〃	斉藤 恵子	平成24年7月10日
〃	山口 裕美	平成29年10月1日
〃	山野 千尋	令和3年4月1日
〃	中原 加奈	令和4年1月1日
〃	馬場 綾奈	令和4年4月1日
〃	相澤 結香	令和4年8月1日

標茶消防団 第1・2分団



第1分団長 山崎 孝一



第2分団長 藤原 利洋



■第1分団

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	山崎 孝一	昭和61年 5 月 1 日
副分団長	遠藤 昭	平成10年 4 月 1 日
部 長	村上 徳幸	平成 4 年 8 月10日
〃	木下 徹	平成10年 4 月 1 日
〃	佐藤 紀寿	平成10年 3 月 1 日
班 長	遠藤 優一	平成 9 年 2 月 1 日
〃	気仙 昌樹	平成15年 4 月 1 日
〃	幸坂 泰裕	平成18年 6 月 1 日
〃	遠藤 謙二	平成21年 4 月 1 日
〃	佐藤 洋平	平成27年 8 月 1 日
団 員	藤原 守崇	平成28年12月 1 日
〃	佐伯 哉	平成29年 8 月 1 日
〃	小野寺明人	平成31年 4 月 1 日
〃	村山 由樹	令和 3 年 7 月 1 日

■第2分団

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	藤原 利洋	昭和58年11月 1 日
副分団長	倉内 秀和	平成11年 8 月 1 日
部 長	小渡 幸次	平成 6 年11月 1 日
〃	河合 義彦	平成16年 2 月 1 日
〃	栗田 勇	平成19年 9 月 1 日
班 長	武山 幸男	平成10年12月 1 日
〃	小林 浩	平成12年 6 月 1 日
〃	笥 陽介	平成17年 2 月 1 日
〃	野呂 亮平	平成23年 7 月 1 日
〃	湯田 賢三	平成27年 5 月 1 日
団 員	山崎 貢	平成 6 年11月 1 日
〃	竹田 寛幸	平成13年 5 月 1 日
〃	河野 了俊	平成23年 6 月 1 日
〃	野崎 哲也	平成28年12月 1 日
〃	佐藤 辰也	令和 2 年 5 月 1 日

標茶消防団 第3分団



第3分団長 森田 誠一



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	森田 誠一	昭和50年4月1日
副分団長	森田 利和	平成2年11月1日
部 長	森田 泰彦	昭和58年10月1日
〃	鎌仲 貴之	平成9年12月1日
〃	勝呂 信義	平成7年8月1日
班 長	岡村 齐	平成16年5月1日
〃	乗田優一郎	平成18年7月1日
〃	森田 昌樹	平成20年8月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
班 長	堀井 清司	平成21年1月1日
〃	林 雄大	平成23年6月1日
団 員	小林慶次朗	平成26年6月1日
〃	倉戸 秀之	平成26年6月1日
〃	古川 幸輝	平成29年8月1日
〃	佐藤 栄	平成31年4月1日
〃	小野 朗	令和元年6月1日

標茶消防団 第4分団



第4分団長 橋本 寛



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	橋本 寛	昭和61年4月8日
副分団長	野田 雄一	平成元年6月1日
部 長	土佐 良實	昭和61年10月1日
〃	宍戸 力	平成12年7月1日
班 長	斉藤 良樹	昭和57年4月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
班 長	鷺見 祐将	平成16年10月1日
〃	坪岡 始	平成16年10月1日
団 員	齊藤 一晃	昭和60年4月1日
〃	二色 勝博	平成4年1月1日
〃	池内 宗徳	平成9年9月1日

標茶消防団 第5分団



第5分団長 澁谷 弘一郎



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	澁谷弘一郎	昭和63年5月1日
副分団長	菊地 映司	平成9年5月1日
部 長	鈴木 重充	平成5年7月1日
〃	高橋 盛也	平成9年5月1日
〃	伊藤 正和	平成10年10月1日
班 長	菊地ひろし	平成14年5月1日
〃	小端 直樹	平成19年2月1日
〃	高橋 一郎	平成21年4月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
班 長	石井 淳	平成21年4月1日
団 員	阿部 俊夫	平成21年4月1日
〃	高取 大竜	平成23年6月1日
〃	平 幸樹	平成26年5月1日
〃	佐藤 喜貴	平成27年7月1日
〃	大宮 睦美	平成29年8月1日
〃	嶋中 雄樹	令和4年4月1日

標茶消防団 第1分団茶安別消防部



部長 菊地 信行



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
部 長	菊地 信行	昭和50年5月1日
班 長	山本 政弘	昭和57年4月1日
〃	佐藤 徳市	昭和61年5月1日
〃	加藤 和由	平成7年4月1日
団 員	藤川 秀樹	平成9年5月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	眞野 俊明	平成12年2月1日
〃	佐々木裕之	平成17年9月1日
〃	長坂 浩行	平成20年7月1日
〃	土塚 亮	平成29年4月1日

標茶消防団 第2分団久著呂消防部



部長 佐々木 憲一



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
部 長	佐々木憲一	平成2年5月1日
班 長	佐藤 国芳	昭和62年12月1日
〃	柳田 和重	平成7年5月1日
〃	小川 久	平成7年10月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	東 克弘	平成17年12月15日
〃	大倉 誠一	平成21年1月1日
〃	齊藤 雅幸	平成31年4月1日

標茶消防団 第4分団阿歴内消防部



部長 高橋 克則



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
部 長	高橋 克則	昭和56年6月1日
班 長	大谷 正志	平成7年1月1日
〃	大和田 満	平成13年3月1日
〃	小野寺孝弘	平成13年3月1日
団 員	関 貴幸	平成16年7月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	佐藤 修一	平成21年4月1日
〃	御堂 昭壽	平成28年4月1日
〃	吉田 知彦	平成31年4月1日
〃	近藤 拓也	令和元年7月1日

標茶消防団 女性消防部



部長 鴻池 智子



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
部 長	鴻池 智子	平成4年9月1日
班 長	小野寺容子	平成19年11月1日
〃	村上 治子	平成22年1月1日
〃	吉田由美子	平成27年7月1日
団 員	原田 直美	平成19年11月1日
〃	石川 梨香	平成28年4月1日
〃	秋田 彩	平成28年4月1日
〃	高橋みゆき	平成28年4月1日
〃	小端小百合	令和4年4月1日
〃	小端 里歩	令和4年4月1日

鶴居消防団 第1分団



第1分団長 加藤 由治



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	加藤 由治	平成11年1月1日
副分団長	澁谷 松男	昭和46年4月1日
部 長	澁谷 守	昭和55年10月1日
〃	佐藤 大輔	平成9年4月1日
班 長	伊藤 敏弘	昭和56年6月1日
〃	菊地 仁	昭和57年1月1日
〃	長屋 英俊	昭和60年9月1日
〃	小川 勝利	平成26年8月1日
団 員	高橋 直孝	昭和53年12月1日
〃	及川 文雄	昭和57年9月1日
〃	竹内 智春	平成5年4月1日
〃	小林 弘昌	平成10年5月1日
〃	野田 秀次	平成11年1月1日
〃	松井 宏篤	平成11年6月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	伊豆原泰平	平成15年8月1日
〃	寺島 圭亮	平成16年4月1日
〃	志村 剛	平成16年4月1日
〃	和田 貴義	平成21年4月1日
〃	西村 豪祐	平成23年1月1日
〃	佐野 吉晴	平成26年8月1日
〃	古川 徹	平成26年8月1日
〃	佐藤 利光	平成28年4月1日
〃	吉田 綾稀	平成29年4月1日
〃	大澤 智靖	令和元年7月1日
〃	米川 快斗	令和2年5月1日
〃	藤林 諒	令和3年4月1日
〃	辻田 泰貴	令和4年4月1日
〃	長岡 翼	令和4年8月1日

鶴居消防団 第1分団下幌呂消防部



部長 門間 孝巖



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
部 長	門間 孝巖	平成14年10月 1日
班 長	氏原 秀和	平成26年 4月 1日
団 員	貞金 貴之	平成21年 4月 1日
〃	西川 大輔	平成26年 4月 1日
〃	鳴川 孝志	平成26年 4月 1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	八卷 聡	平成26年 4月 1日
〃	堀尾 亮太	平成26年 4月 1日
〃	西村 浩二	平成31年 1月 1日
〃	小山石修一	令和 2年 9月 1日

鶴居消防団 第2分団



第2分団長 丹所 昌睦



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	丹所 昌睦	平成 3年12月 1日
副分団長	大裕 晋二	平成 7年 6月 1日
部 長	松井 睦路	平成 7年 6月 1日
〃	坂本 和也	平成 8年 5月 1日
班 長	野田二三男	昭和52年 8月 1日
〃	松井 俊治	昭和62年 1月 1日
〃	植田 紘史	平成14年10月 1日
団 員	東 善章	平成17年 4月 1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	武藤 潤	平成18年 4月 1日
〃	吉田 晃博	平成19年 4月 1日
〃	藤澤 稔	平成19年 4月 1日
〃	音成 邦仁	平成23年 4月 1日
〃	伊藤 尚之	平成25年 4月 1日
〃	齋藤 忠	平成27年 4月 1日
〃	大瀧 篤史	令和 2年 4月 1日

鶴居消防団 第3分団



第3分団長 片瀨 幸雄



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	片瀨 幸雄	平成15年 8 月 1 日
副分団長	山村 匡男	平成24年 1 月 1 日
部 長	吉田 剛	昭和62年 4 月 1 日
班 長	宮崎 悟	平成 8 年 1 月 1 日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
班 長	松井 宜樹	平成12年 5 月 1 日
団 員	富坂 隆志	平成12年 5 月 1 日
〃	三浦 治久	平成15年 4 月 1 日
〃	松井 君広	平成22年 8 月 1 日

鶴居消防団 第4分団



第4分団長 澁谷 忠裕



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
分団長	澁谷 忠裕	昭和58年 3 月11日
副分団長	遠藤 範幸	平成10年 5 月 1 日
部 長	齋藤 和弘	平成 9 年 5 月 1 日
班 長	鈴木 元司	平成 2 年10月 1 日
〃	佐藤 真吾	平成18年 4 月 1 日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	藤原 雅敏	平成17年 1 月 1 日
〃	梅津 潤	平成18年 4 月 1 日
〃	菱沼 恭平	平成24年 4 月 1 日
〃	増田 一真	平成24年 4 月 1 日
〃	鈴木 翔太	平成25年 4 月 1 日

鶴居消防団 女性消防部



部長 小泉きぬ子



階 級	氏 名	入 団 年 月 日
部 長	小泉きぬ子	平成26年4月1日
班 長	谷口 陽子	平成26年4月1日
〃	水本 梨佳	平成26年4月1日
団 員	齋藤 欣巳	平成26年4月1日

階 級	氏 名	入 団 年 月 日
団 員	和田 知慧	平成26年4月1日
〃	堀尾 勇子	平成26年4月1日
〃	辻本亜由美	令和2年4月1日
〃	鳴川 知恵	令和3年5月1日

火災一覽 救急統計



火災一覧 昭和48年から（200㎡ 700万死者1名以上）組合内

年月日	覚知時分	発生場所	火災種別	用途	焼損程度
S60. 5. 8	18:20	標茶町字阿歴内片無去	建物	住宅	全焼
S60. 5. 28	4:50	弟子屈町字当別原野	建物	集会場	全焼
S60. 8. 20	11:23	弟子屈町字屈斜路	建物	倉庫	全焼
S61. 4. 19	3:39	弟子屈町字当別	建物	住宅	全焼
S61. 8. 20	6:05	標茶町字茶安別	建物	養畜舎	全焼
S61. 12. 22	14:02	標茶町字虹別原野	建物	住宅	全焼
S62. 3. 8	6:48	弟子屈町字熊牛原野	建物	納屋	部分焼
S62. 4. 29	9:49	標茶町字標茶	建物	納屋	全焼
S62. 6. 4	1:41	弟子屈町字弟子屈原野	建物	養畜舎	全焼
S62. 7. 26	17:32	標茶町字阿歴内原野	建物	住宅	全焼
S62. 10. 20	2:22	弟子屈町字屈斜路	建物	住宅	全焼
S62. 12. 10	22:37	弟子屈町字屈斜路池の湯	建物	住宅	全焼
S63. 2. 25	15:46	標茶町字オソツベツ原野	車両	自家用乗用車	
S63. 4. 23	9:54	標茶町字中御卒別原野	建物	養畜舎	全焼・半焼
S63. 12. 26	9:51	標茶町字虹別原野	建物	養畜舎	全焼
H 1. 10. 10	19:48	標茶町弥栄	建物	納屋	半焼
H 1. 10. 11	6:50	弟子屈町鑑別	建物	倉庫	全焼
H 1. 12. 31	19:27	標茶町ルラン	建物	住宅	全焼
H 2. 12. 18	10:41	標茶町塘路	建物	倉庫	全焼
H 3. 12. 12	22:00	標茶町ルラン	建物	車庫	全焼1部分1
H 4. 3. 20	13:23	標茶町磯分内	建物	住宅	全焼
H 4. 5. 9	5:35	弟子屈町高栄	建物	校舎	部分焼
H 4. 5. 24	3:35	弟子屈町川湯	建物	倉庫	全焼
H 4. 9. 24	22:33	弟子屈町川湯	建物	倉庫・住宅	全焼・半焼
H 5. 3. 17	16:48	弟子屈町美里	建物	宿泊所	全焼
H 5. 8. 29	18:43	標茶町磯分内	建物	住宅	全焼
H 5. 9. 13	18:35	弟子屈町屈斜路	建物	店舗	全焼
H 5. 10. 15	12:53	標茶町中御卒別	建物	納屋	全焼
H 5. 11. 15	23:20	鶴居村幌呂	建物	住宅	全焼
H 6. 11. 14	14:53	標茶町虹別	建物	牛舎	全焼
H 7. 1. 23	4:35	弟子屈町湯の島	建物	住宅	全焼
H 7. 7. 17	15:10	弟子屈町南弟子屈	建物	事務所	半焼
H 7. 10. 22	15:25	弟子屈町川湯	建物	住宅	全焼
H 8. 1. 18	7:46	標茶町南標茶	建物	店舗	全焼
H 8. 4. 8	14:00	弟子屈町川湯	建物	養畜舎	部分焼
H 8. 4. 15	0:15	弟子屈町桜丘	建物	物置	全焼
H 8. 11. 19	不明	弟子屈町屈斜路	建物	住宅	全焼
H 9. 2. 16	20:52	標茶町中御卒別	建物	空家	全焼

焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死傷者		出動人員		原因
		死	傷	職	団	
71	182	1		9	55	風呂釜の輻射熱
106	7,708		1	11	43	不明
99	14,614			5	8	不明
199	12,483		2	13	46	プロパンガスの漏洩
382	4,648			14	35	不明
105	7,957			13	45	不明
220	2,206			12	46	自然発火
292	4,402			8	18	たき火の拡大
565	24,397			12	44	自然発火
45	10,022			5	15	落雷
83	10,068			15	52	不明
222	10,032		1	14	48	石油ストーブに誤ってガソリンを入れ引火
	100	1		9		不明
341	3,475			10	27	不明
213	5,706			6	12	水道管の解凍で使用したトーチランプが牧草に着火
0	2,883	1		12		ロールベールから自然発火
461	6,462					不明
82	8,255			10	41	石油ストーブへの給油誤り
383	88,602			6	13	ストーブ操作の誤り
3,965	883			9	42	煙突の亀裂から出火
113	9,049			12	17	ロウソクの転倒
81	20,205		1			不明
61	9,349					不明
98	22,262					不明
191	8,144					石油ストーブの輻射熱
177	8,598			9	17	放火疑い
177	22,840					不明
292	2,137			10	19	電気溶接機から出火
97	5,400	1		4	33	不明
329	15,431			13	14	不明
109	2,621	1				不明
108	26,169					ガスバーナーの取扱い誤り
164	17,402					移動式ストーブとカーテンの接触
181	21,364			18	30	ストーブ上に落下物
630	6,759					電気配線のスパーク
164	9,800					放火疑い
229	60,421					不明
408	652			10	9	不明

年月日	覚知時分	発生場所	火災種別	用途	焼損程度
H9.3.10	23:45	弟子屈町川湯	建物	旅館	部分焼
H9.5.30	15:35	弟子屈町川湯	建物	作業場	全焼
H9.6.11	9:25	弟子屈町鈴蘭	建物	遊技場	全焼
H9.7.26	12:57	標茶町開運	建物	住宅	全焼
H9.10.28	9:15	弟子屈町川湯	建物	展示館	半焼
H10.2.13	8:49	標茶町沼幌	建物	住宅	全焼
H10.3.9	9:01	標茶町ルラン	建物	住宅	全焼
H10.12.9	7:05	標茶町南標茶	建物	店舗	部分焼
H10.12.14	16:45	弟子屈町高栄	建物	住宅	部分焼
H11.1.26	不明	弟子屈町屈斜路	建物	養畜舎・納屋	全焼
H11.2.14	17:30	標茶町中御卒別	建物	住宅	全焼
H11.3.12	19:30	弟子屈町美留和	建物	休憩所・住宅	全焼・部分焼
H12.2.21	7:55	標茶町沼幌	建物	養畜舎	
H12.3.5	16:20	鶴居村下雪裡	建物	養畜舎	全焼
H12.6.20	0:00	鶴居村鶴居東	建物	工場	半焼
H13.1.19	8:55	弟子屈町湯の島	建物	商業併用住宅	全焼
				飲食店	全焼
				飲食店	全焼
				飲食店	部分焼
H13.2.2	23:55	標茶町ルラン	建物	住宅	全焼
H13.3.8	3:08	標茶町開運	建物	住宅	全焼
H13.3.25	15:35	弟子屈町川湯	建物	住宅	半焼
H13.7.28	4:49	標茶町開運	建物	寺院	全焼
H14.1.10	21:23	弟子屈町札友内	建物	養畜舎	全焼
H14.5.29	7:36	弟子屈町奥春別	建物	納屋	全焼
H14.8.3	不明	弟子屈町奥春別	建物	住宅	全焼
H14.10.5	0:25	標茶町上御卒別	建物	住宅	全焼
H15.5.15	11:56	標茶町中茶安別	建物	住宅	全焼
H15.10.19	3:17	標茶町阿歴内	建物	納屋	全焼
H16.4.10	4:14	弟子屈町高栄	建物	共同住宅	部分焼
H16.7.30	3:00	標茶町中茶安別	建物	住宅	全焼
H16.7.31	17:29	標茶町桜	建物	住宅	半焼
H17.1.4	2:02	標茶町磯分内	建物	住宅	全焼
H17.3.21	20:13	標茶町塘路	建物	納屋	全焼
H18.11.4	20:30	弟子屈町川湯	建物	作業場	全焼
H18.11.7	2:38	鶴居村中雪裡	建物	養畜舎	全焼
H20.4.19	不明	弟子屈町川湯	建物	ホテル・店舗	全焼
H20.5.12	13:55	弟子屈町奥春別	建物	牛舎	全焼
H20.11.26	7:57	弟子屈町南弟子屈	建物	住宅	全焼

焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死傷者		出動人員		原因
		死	傷	職	団	
290	74,512					たばこの火の不始末
246	3,784					薪ストーブの伝導加熱
868	361,177					プラズマ切断機の火花
235	3,710			16	25	風呂釜下部の炭化
82	38,292					ライターの使用誤り
144	14,923			14	21	こんろ付近の壁が炭化し出火
64	7,875			18	20	布団内の電気あんかより出火
195	12,690			12		たばこの火の不完全始末
3	5	1				ライターの使用誤り
618	20,787					自然発火
119	9,124			13	21	不明
33	7,537					石油ストーブの輻射熱
329	10,529			3		不明
560	8,692			8	19	自然発火疑い
143	8,841			8	14	ベルトコンベア
166	1,892		2			ガソリン飛散により石油ストーブに引火
367	9,357					
115	4,377					
45	1,016					
99	5,326	1		19	32	不明
60	1,403	1		16	24	不明
61	7,943					不明
436	74,409			15	64	不明
937	13,595					不明
365	2,632					電気コンセントがグラファイト化し出火
105	10,790					たばこの火が可燃物に着火
125	13,249			14	15	不明
794	19,125			12	28	おがくずの炭化燃焼
396	4,637			14	13	自然発火
62	9,143		1			石油ストーブが可燃物に着火
240	1,780	1		12	8	不明
60	4,850			15	23	不明
222	10,385			13	14	不明
521	3,774			12	10	不明
214	4,939					薪ストーブの残り火
2,692	14,409			10	25	不明
1,343	63,760					不明
1,020	42,072					電気配線
193	24,772					不明

年月日	覚知時分	発生場所	火災種別	用途	焼損程度
H24. 4. 4	4:49	標茶町沼幌	建物	養畜舎	全焼
H25. 6. 23	20:20	弟子屈町屈斜路	建物	催物会場	半焼
H26. 3. 30	4:00	弟子屈町高栄	建物	住宅	全焼
H26. 5. 18	1:50	弟子屈町美里	建物	養畜舎	全焼
H26. 6. 4	8:09	標茶町中茶安別	建物	養畜舎	半焼
H26. 10. 14	15:05	弟子屈町鑑別	建物	養畜舎	全焼
H28. 10. 23	18:30	弟子屈町美留和	建物	作業場	全焼
H29. 1. 18	17:16	標茶町中茶安別	建物	養畜舎	全焼
H30. 5. 20	23:56	標茶町沼幌	建物	牛舎	全焼
H30. 9. 19	11:23	鶴居村中雪裡	建物	養畜舎	全焼
R 1. 5. 5	4:00	弟子屈町中央	建物	住宅	全焼
R 2. 3. 23	3:26	鶴居村下久著呂	建物	養畜舎	全焼
R 3. 3. 11	8:48	標茶町磯分内	建物	住宅	全焼
R 3. 8. 10	12:43	標茶町開運	建物	工場	部分焼
R 3. 10. 9	18:30	標茶町富士	建物	店舗	全焼
R 4. 5. 23	14:18	標茶町中御卒別	建物	養畜舎	全焼
R 4. 10. 6	5:26	標茶町コッタロ	建物	倉庫	半焼

焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死傷者		出動人員		原因
		死	傷	職	団	
397	11,016			14	17	生石灰の化学反応
209	7,369					不明
84	7,251	1				不明
874	13,520					不明
214	5,299			11	8	電気配線のスパーク
3,162	144,000					不明
261	13,368					不明
1,017	24,247			15	10	不明
106	2,075			13	9	風呂釜の輻射熱
495	7,460			13	15	不明
44	788	1				引込配線の経年劣化による絶縁不良
979	17,698			9	21	不明
67	1,266			11	13	グラインダーの火花が可燃物に着火
278	12,294			11	10	焼却炉の火の粉
205	5,648			15	18	鍋の油の発炎燃焼
1,001	25,115			22	11	配線被覆の損傷
126	1,890			9	4	バーク堆肥の発酵熱

救急業務統計

区分		計	救急事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
昭和48年	出場件数	279	1		3	92	14	5	10	1	7	119	27
	不搬送件数	27	1			21	1		1			3	
	搬送人員	292			3	110	13	5	9	1	7	116	28
昭和49年	出場件数	275	2		1	52	12	10	11	1	9	130	47
	不搬送件数	30	2			11	2					11	4
	搬送人員	283			1	75	11	10	11	1	9	122	43
昭和50年	出場件数	322	1		1	72	11	7	27	4	7	169	23
	不搬送件数	36	1			16	3	1	1		3	11	
	搬送人員	347			1	86	8	6	26	4	4	171	41
昭和51年	出場件数	344	3		1	59	9	13	38	3	7	180	31
	不搬送件数	30	2			12	1		3		2	10	
	搬送人員	355	1		1	84	8	13	35	3	6	170	34
昭和52年	出場件数	423	8		1	67	12	9	45	2	7	215	57
	不搬送件数	48	8		1	19	1		1		1	14	3
	搬送人員	395				63	12	9	44	2	6	202	57
昭和53年	出場件数	409	4		4	73	17	12	27	2	3	204	63
	不搬送件数	28	2		1	10	2		1		1	6	5
	搬送人員	428	2		4	97	16	12	27	2	2	199	67
昭和54年	出場件数	487	2		2	102	12	15	44	5	10	215	80
	不搬送件数	45	2			6					2	33	2
	搬送人員	537			2	158	12	15	44	8	7	208	83
昭和55年	出場件数	515	2			77	17	12	50	4	9	275	69
	不搬送件数	30	1			7	3		1		1	15	2
	搬送人員	527	1			108	14	12	52	4	8	261	67
昭和56年	出場件数	522	1		1	111	10	11	55	1	5	259	68
	不搬送件数	43	1			13			8		2	19	
	搬送人員	545			1	157	10	12	48	1	3	243	70
昭和57年	出場件数	501	2			97	7	13	65	4	11	238	64
	不搬送件数	21	1			11					1	8	
	搬送人員	533	1			127	7	13	70	4	11	232	68
昭和58年	出場件数	511	3		1	121	6	10	50	2	9	265	44
	不搬送件数	40	2			18			2			18	
	搬送人員	538	1		1	169	7	10	48	3	9	246	44
昭和59年	出場件数	553	2		1	121	9	13	54	3	5	282	63
	不搬送件数	33			1	20					1	11	
	搬送人員	591	2			163	9	13	54	3	5	272	70
昭和60年	出場件数	539	1	1	2	125	16	10	51	2	2	272	57
	不搬送件数	40		1		24		1	4		1	9	
	搬送人員	583	1		3	178	16	9	47	2	1	267	59
昭和61年	出場件数	486	1		2	116	10	2	59	4	4	235	53
	不搬送件数	35				17			2		2	14	
	搬送人員	511	2		2	151	10	2	58	5	2	225	54

区分		計	救急事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
昭和62年	出場件数	523	1		1	96	2	7	53	4	3	266	90
	不搬送件数	33			1	17			3	1	1	10	
	搬送人員	523	1			106	2	7	51	5	2	257	92
昭和63年	出場件数	586			4	116	6	7	57	1	7	272	116
	不搬送件数	25				9		1	2		2	11	
	搬送人員	605			4	142	6	8	56	1	6	261	121
平成元年	出場件数	623			3	106	8	4	53	5	8	274	162
	不搬送件数	30				13			4		1	12	
	搬送人員	667			3	142	8	4	51	6	7	271	175
平成2年	出場件数	644	3			104	15	4	62	4	3	290	159
	不搬送件数	25				11			1		1	12	
	搬送人員	687	5			146	15	4	64	4	2	279	168
平成3年	出場件数	668			2	123	5	6	54	1	6	316	155
	不搬送件数	36				14			2	1	1	16	2
	搬送人員	691			2	159	5	6	53		5	300	161
平成4年	出場件数	677			2	132	8	9	56	5	6	330	129
	不搬送件数	38				11		1	2	1	1	22	
	搬送人員	726			2	198	8	8	54	4	5	309	138
平成5年	出場件数	764				134	9	2	54	5	4	355	201
	不搬送件数	47				13	1		2			29	2
	搬送人員	802				195	8	2	52	5	4	328	208
平成6年	出場件数	775	4			116	9	7	80	3	7	318	231
	不搬送件数	47	1			21		1	1	1	4	17	1
	搬送人員	800	3			147	9	6	85	2	3	305	240
平成7年	出場件数	767		1		113	12	4	58	4	5	357	213
	不搬送件数	42				15					1	26	
	搬送人員	774		2		139	12	4	59	4	4	333	217
平成8年	出場件数	794	1		1	109	15	4	83	7	6	336	232
	不搬送件数	47				20	1		3	1	2	19	1
	搬送人員	798	1		1	126	14	5	83	7	4	318	239
平成9年	出場件数	877				128	8	3	90	3	13	392	240
	不搬送件数	52				17			6	1	2	23	3
	搬送人員	906				184	8	3	84	4	11	372	240
平成10年	出場件数	724	1		1	97	3	4	78	4	12	351	173
	不搬送件数	43				12			2		1	24	4
	搬送人員	731	1		1	125	4	4	77	5	11	329	174
平成11年	出場件数	805				141	6	2	85	3	7	355	206
	不搬送件数	40				22			6		2	6	4
	搬送人員	824				174	6	2	79	3	5	352	203
平成12年	出場件数	866		2	2	124	7	5	80	1	11	395	239
	不搬送件数	60		2		24		1	9	1	5	16	2
	搬送人員	842			2	131	8	4	71		6	379	241

区 分		計	救 急 事 故 種 別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成13年	出場件数	875	4		2	113	7	3	94		8	385	259
	不搬送件数	54	2			18	1		8		4	19	2
	搬送人員	855	4		3	118	6	3	86		4	368	263
平成14年	出場件数	877			2	119	10	1	72	3	8	383	279
	不搬送件数	65			1	27		1	4	1	9	20	2
	搬送人員	859			1	134	10	1	67	3	6	355	282
平成15年	出場件数	941	2		3	116	7	5	81	3	5	407	312
	不搬送件数	54				23	1		5		2	21	2
	搬送人員	941	3		5	137	6	5	76	3	3	386	317
平成16年	出場件数	946	2			105	14	3	98	1	13	437	273
	不搬送件数	44				18	1		2		5	17	1
	搬送人員	944	2			117	13	3	97	1	10	420	281
平成17年	出場件数	1035	2			127	8	6	97		14	492	289
	不搬送件数	57				26			3		4	18	6
	搬送人員	1013	4			134	8	6	92		10	475	284
平成18年	出場件数	1072		1	1	117	4	6	97	2	13	529	302
	不搬送件数	60			1	29			1		5	22	2
	搬送人員	1043		1		114	4	6	97	3	8	509	301
平成19年	出場件数	1025				96	9		120	2	14	518	266
	不搬送件数	57				11		3	6	3	8	23	3
	搬送人員	982				94	9		112		8	493	266
平成20年	出場件数	932	3			78	10	1	103		16	478	243
	不搬送件数	49				13	1		5		8	19	3
	搬送人員	913	4			91	9	1	99		8	460	241
平成21年	出場件数	945	3			68	9	2	96	1	11	505	250
	不搬送件数	46				13			2		3	26	2
	搬送人員	909	3			62	9	2	97	1	8	477	250
平成22年	出場件数	997	1		2	61	13	2	115	1	20	539	243
	不搬送件数	66			2	8		1	5	1	12	30	7
	搬送人員	941	2		2	58	13	2	110	1	11	505	237
平成23年	出場件数	970			1	73	15	1	115	3	6	509	247
	不搬送件数	40			1	8	1		5	1	3	20	1
	搬送人員	942				75	14	1	112	2	3	489	246
平成24年	出場件数	993	2		1	102	7	1	120	2	9	530	219
	不搬送件数	66	1		1	10			7	1	5	35	6
	搬送人員	946	1			111	7	1	113	1	4	495	213
平成25年	出場件数	981	1		1	60	18		129		8	501	263
	不搬送件数	45	1		1	10			6		3	19	5
	搬送人員	948				62	18		123		5	482	258
平成26年	出場件数	1087	1		1	67	14	3	145	3	11	558	284
	不搬送件数	62			1	17			7		2	26	9
	搬送人員	1038	1			60	14	3	140	3	9	533	275

区 分		計	救 急 事 故 種 別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成27年	出場件数	1023	1		1	90	18	2	134	1	6	497	273
	不搬送件数	66	1		1	14	2		8	1	3	27	9
	搬送人員	972				90	16	2	126		3	471	264
平成28年	出場件数	993	1		2	101	17	1	121		4	501	245
	不搬送件数	61			1	22			6		1	26	5
	搬送人員	951	1		1	97	17	1	115		3	476	240
平成29年	出場件数	992				61	21	3	140	1	12	502	252
	不搬送件数	50				9		1	6	1	4	24	5
	搬送人員	951				59	21	2	135		8	479	247
平成30年	出場件数	1027	1		3	69	14	2	128	2	8	506	294
	不搬送件数	54			1	13			4		3	29	4
	搬送人員	986	1		2	64	14	2	127	2	5	477	292
令和元年	出場件数	974	1		2	84	9		101	1	10	502	264
	不搬送件数	60				13			8		7	26	6
	搬送人員	932	1		3	87	9		93	1	3	477	258
令和2年	出場件数	993			3	56	15	1	114	3	14	501	286
	不搬送件数	50				10			3	2	5	22	8
	搬送人員	946			3	48	15	1	111	1	9	479	279
令和3年	出場件数	960			1	53	14	1	95		4	519	273
	不搬送件数	62				8	1		4		2	36	11
	搬送人員	904			1	51	13	1	91		2	483	262
令和4年	出場件数	1001	1			52	12	2	130		9	542	253
	不搬送件数	62				8			7		4	35	8
	搬送人員	947	1			52	12	2	123		5	507	245

年別	区分 署・支署別	事故種別救急出場件数（搬送人員）											
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
昭和49年	弟子屈消防署	177 (187)			1 (1)	29 (49)	9 (9)	10 (10)	4 (4)		7 (7)	92 (84)	25 (23)
	川湯支署	0 (0)											
	標茶消防署	98 (97)	2			23 (27)	3 (2)		7 (7)	1 (1)	2 (2)	38 (38)	22 (20)
	合計	275 (284)	2 (0)	0 (0)	1 (1)	52 (76)	12 (11)	10 (10)	11 (11)	1 (1)	9 (9)	130 (122)	47 (43)
昭和50年	弟子屈消防署	144 (149)				33 (28)	6 (5)	5 (4)	9 (9)	1 (1)	3 (2)	68 (73)	19 (27)
	川湯支署	69 (74)				11 (18)	1 (1)		8 (8)	1 (1)	3 (2)	44 (43)	1 (1)
	標茶消防署	119 (116)	1		1 (1)	28 (32)	4 (2)	2 (2)	10 (9)	2 (2)	1 (1)	57 (55)	13 (13)
	合計	332 (339)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	72 (78)	11 (8)	7 (6)	27 (26)	4 (4)	7 (4)	169 (171)	33 (41)
昭和51年	弟子屈消防署	133 (141)			1 (1)	23 (31)	2 (2)	10 (10)	9 (9)		4 (4)	62 (59)	22 (25)
	川湯支署	101 (109)				10 (28)	3 (2)	2 (2)	20 (17)	3 (3)	1 (1)	61 (56)	1 (1)
	標茶消防署	112 (105)	5 (1)			26 (25)	4 (4)	1 (1)	9 (9)		2 (2)	57 (55)	8 (8)
	合計	346 (355)	5 (1)	0 (0)	1 (1)	59 (84)	9 (8)	13 (13)	38 (35)	3 (3)	7 (6)	180 (170)	31 (34)
昭和52年	弟子屈消防署	166 (166)			1	25 (34)	3 (2)	9 (9)	13 (12)	1 (1)	4 (4)	78 (72)	32 (32)
	川湯支署	103 (98)				6 (3)	4 (5)		22 (22)		1	62 (57)	8 (11)
	標茶消防署	154 (131)	8			36 (26)	5 (5)		10 (10)	1 (1)	2 (2)	75 (73)	17 (14)
	合計	423 (395)	8 (0)	0 (0)	1 (0)	67 (63)	12 (12)	9 (9)	45 (44)	2 (2)	7 (6)	215 (202)	57 (57)
昭和53年	弟子屈消防署	153 (162)	1 (1)		1 (1)	29 (42)	8 (7)	8 (8)	7 (7)	1 (1)	1 (1)	71 (67)	26 (27)
	川湯支署	110 (109)			3 (3)	15 (17)	2 (1)	3 (3)	14 (15)	1 (1)	1	66 (64)	5 (5)
	標茶消防署	146 (156)	3 (1)			29 (38)	7 (8)	1 (1)	6 (5)		1 (1)	67 (67)	32 (35)
	合計	409 (427)	4 (2)	0 (0)	4 (4)	73 (97)	17 (16)	12 (12)	27 (27)	2 (2)	3 (2)	204 (198)	63 (67)
昭和54年	弟子屈消防署	190 (217)	1		2 (2)	39 (72)	5 (5)	11 (11)	14 (14)	1 (1)	6 (4)	69 (67)	42 (41)
	川湯支署	118 (126)	1			14 (22)	2 (2)	2 (2)	21 (21)	3 (6)		67 (65)	8 (8)
	標茶消防署	179 (194)				49 (64)	5 (5)	2 (2)	9 (9)	1 (1)	4 (3)	79 (76)	30 (34)
	合計	487 (537)	2 (0)	0 (0)	2 (2)	102 (158)	12 (12)	15 (15)	44 (44)	5 (8)	10 (7)	215 (208)	80 (83)
昭和55年	弟子屈消防署	204 (202)	1 (1)			31 (42)	3 (2)	11 (11)	18 (18)	1 (1)	7 (6)	91 (82)	41 (39)
	川湯支署	140 (153)				15 (28)	2 (1)		28 (30)	3 (3)	1 (1)	84 (83)	7 (7)
	標茶消防署	171 (172)	1			31 (38)	12 (11)	1 (1)	4 (4)		1 (1)	100 (96)	21 (21)
	合計	515 (527)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	77 (108)	17 (14)	12 (12)	50 (52)	4 (4)	9 (8)	275 (261)	69 (67)

年別	区分 署・支署別	事故種別救急出場件数(搬送人員)											
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
昭和56年	弟子屈消防署	208 (229)			1 (1)	42 (68)	3 (3)	10 (10)	20 (17)		3 (2)	84 (81)	45 (47)
	川湯支署	135 (136)				18 (26)	3 (3)	1 (2)	24 (22)			86 (80)	3 (3)
	標茶消防署	179 (180)	1			51 (63)	4 (4)		11 (9)	1 (1)	2 (1)	89 (82)	20 (20)
	合計	522 (545)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	111 (157)	10 (10)	11 (12)	55 (48)	1 (1)	5 (3)	259 (243)	68 (70)
昭和57年	弟子屈消防署	217 (226)				41 (53)	3 (3)	11 (11)	22 (23)	2 (2)	5 (4)	92 (88)	41 (42)
	川湯支署	111 (118)				10 (14)			27 (31)	1 (1)	2 (3)	67 (65)	4 (4)
	標茶消防署	173 (189)	2 (1)			46 (60)	4 (4)	2 (2)	16 (16)	1 (1)	4 (4)	79 (79)	19 (22)
	合計	501 (533)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	97 (127)	7 (7)	13 (13)	65 (70)	4 (4)	11 (11)	238 (232)	64 (68)
昭和58年	弟子屈消防署	197 (206)	2			49 (69)	1 (1)	9 (9)	17 (17)	1 (1)	6 (6)	96 (88)	16 (15)
	川湯支署	124 (127)	1 (1)		1 (1)	21 (31)	1 (1)	1 (1)	18 (16)	1 (2)	1 (1)	76 (70)	3 (3)
	標茶消防署	190 (205)				51 (69)	4 (5)		15 (15)		2 (2)	93 (88)	25 (26)
	合計	511 (538)	3 (1)	0 (0)	1 (1)	121 (169)	6 (7)	10 (10)	50 (48)	2 (3)	9 (9)	265 (246)	44 (44)
昭和59年	弟子屈消防署	242 (254)	1 (1)		1	48 (65)	3 (3)	10 (10)	16 (16)	3 (3)	1	125 (121)	34 (35)
	川湯支署	146 (158)	1 (1)			22 (33)	4 (4)	1 (1)	19 (19)		3 (4)	93 (93)	3 (3)
	標茶消防署	165 (179)				51 (65)	2 (2)	2 (2)	19 (19)		1 (1)	64 (58)	26 (32)
	合計	553 (591)	2 (2)	0 (0)	1 (0)	121 (163)	9 (9)	13 (13)	54 (54)	3 (3)	5 (5)	282 (272)	63 (70)
昭和60年	弟子屈消防署	201 (227)	1 (1)	1		52 (82)	6 (6)	8 (8)	13 (12)	2 (2)	1	97 (95)	20 (21)
	川湯支署	116 (117)			2 (3)	15 (20)	2 (2)	1	24 (21)		1 (1)	67 (66)	4 (4)
	標茶消防署	222 (239)				58 (76)	8 (8)	1 (1)	14 (14)			108 (106)	33 (34)
	合計	539 (583)	1 (1)	1 (0)	2 (3)	125 (178)	16 (16)	10 (9)	51 (47)	2 (2)	2 (1)	272 (267)	57 (59)
昭和61年	弟子屈消防署	208 (213)	1 (2)		1 (1)	58 (67)	3 (3)	2 (2)	23 (24)	1 (1)	2 (1)	89 (84)	28 (28)
	川湯支署	114 (109)			1 (1)	13 (13)	1 (1)		22 (20)	3 (4)	1 (1)	64 (60)	9 (9)
	標茶消防署	164 (189)				45 (71)	6 (6)		14 (14)		1	82 (81)	16 (17)
	合計	486 (511)	1 (2)	0 (0)	2 (2)	116 (151)	10 (10)	2 (2)	59 (58)	4 (5)	4 (2)	235 (225)	53 (54)
昭和62年	弟子屈消防署	213 (218)	1 (1)			46 (53)	1 (1)	4 (4)	17 (17)	1 (1)	1 (1)	93 (90)	49 (50)
	川湯支署	135 (132)			1	10 (9)			21 (21)	3 (4)	1 (1)	84 (83)	15 (14)
	標茶消防署	175 (173)				40 (44)	1 (1)	3 (3)	15 (13)		1	89 (84)	26 (28)
	合計	523 (523)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	96 (106)	2 (2)	7 (7)	53 (51)	4 (5)	3 (2)	266 (257)	90 (92)

年別	区分 署・支署別	事故種別救急出場件数（搬送人員）											
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
昭和63年	弟子屈消防署	223 (234)			1 (1)	34 (42)	2 (2)	5 (6)	29 (31)		1 (1)	100 (99)	51 (52)
	川湯支署	160 (154)			2 (2)	21 (24)	1 (1)	2 (2)	20 (19)		5 (5)	91 (82)	18 (19)
	標茶消防署	203 (217)			1 (1)	61 (76)	3 (3)		8 (6)	1 (1)	1 (1)	81 (80)	47 (50)
	合計	586 (605)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	116 (142)	6 (6)	7 (8)	57 (56)	1 (1)	7 (6)	272 (261)	116 (121)
平成元年	弟子屈消防署	275 (309)			1 (1)	50 (78)	2 (2)	3 (3)	17 (16)	3 (4)	5 (4)	101 (103)	93 (98)
	川湯支署	147 (144)			2 (2)	18 (16)	2 (2)		25 (24)	2 (2)	2 (2)	84 (81)	12 (15)
	標茶消防署	201 (214)				38 (48)	4 (4)	1 (1)	11 (11)		1 (1)	89 (87)	57 (62)
	合計	623 (667)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	106 (142)	8 (8)	4 (4)	53 (51)	5 (6)	8 (7)	274 (271)	162 (175)
平成2年	弟子屈消防署	250 (272)	2 (4)			42 (59)	6 (6)	3 (3)	28 (29)	2 (2)	2 (2)	82 (77)	83 (90)
	川湯支署	155 (154)				22 (22)	2 (2)		20 (21)	2 (2)		93 (90)	16 (17)
	標茶消防署	239 (261)	1 (1)			40 (65)	7 (7)	1 (1)	14 (14)		1 (0)	115 (112)	60 (61)
	合計	644 (687)	3 (5)	0 (0)	0 (0)	104 (146)	15 (15)	4 (4)	62 (64)	4 (4)	3 (2)	290 (279)	159 (168)
平成3年	弟子屈消防署	299 (303)			1 (1)	48 (60)	4 (4)		17 (17)	1 (1)	3 (2)	122 (118)	103 (101)
	川湯支署	164 (174)			1 (1)	24 (36)		1 (1)	19 (20)		2 (2)	107 (103)	10 (11)
	標茶消防署	205 (214)				51 (63)	1 (1)	5 (5)	18 (16)		1 (1)	87 (84)	42 (44)
	合計	668 (691)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	123 (159)	5 (5)	6 (6)	54 (53)	1 (0)	6 (5)	316 (305)	155 (156)
平成4年	弟子屈消防署	261 (282)				52 (74)	2 (2)	3 (3)	19 (19)	2 (2)	2 (2)	114 (109)	67 (71)
	川湯支署	136 (138)			1 (1)	19 (27)	1 (1)	3 (2)	21 (20)		1 (1)	78 (74)	12 (12)
	標茶消防署	280 (306)			1 (1)	61 (97)	5 (5)	3 (3)	16 (15)	3 (2)	3 (2)	138 (126)	50 (55)
	合計	677 (726)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	132 (198)	8 (8)	9 (8)	56 (54)	5 (4)	6 (5)	330 (309)	129 (138)
平成5年	弟子屈消防署	303 (332)				48 (80)	4 (4)		19 (19)	1 (1)	2 (2)	116 (109)	113 (117)
	川湯支署	166 (169)				17 (26)	1 (1)		21 (20)	1 (1)	2 (2)	105 (96)	19 (23)
	標茶消防署	295 (301)				69 (89)	4 (3)	2 (2)	14 (13)	3 (3)		134 (123)	69 (68)
	合計	764 (802)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	134 (195)	9 (8)	2 (2)	54 (52)	5 (5)	4 (4)	355 (328)	201 (208)
平成6年	弟子屈消防署	316 (312)	1 (1)			41 (43)	5 (5)	5 (4)	22 (23)	1 (1)	7 (3)	115 (109)	119 (123)
	川湯支署	176 (179)	3 (2)			16 (25)	2 (2)	39 (38)				95 (90)	21 (22)
	標茶消防署	283 (309)				59 (79)	4 (4)		19 (24)	2 (1)		108 (106)	91 (95)
	合計	775 (800)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	116 (147)	11 (11)	44 (42)	41 (47)	3 (2)	7 (3)	318 (305)	231 (240)

年別	区分 署・支署別	事故種別救急出場件数(搬送人員)											
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成7年	弟子屈消防署	309 (311)		1 (2)		39 (49)	7 (7)	2 (2)	15 (16)	2 (2)	4 (3)	129 (119)	110 (111)
	川湯支署	133 (138)				15 (24)			20 (20)	2 (2)		80 (76)	16 (16)
	標茶消防署	325 (325)				59 (66)	5 (5)	2 (2)	23 (23)		1 (1)	148 (138)	87 (90)
	合計	767 (774)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	113 (139)	12 (12)	4 (4)	58 (59)	4 (4)	5 (4)	357 (333)	213 (217)
平成8年	弟子屈消防署	344 (336)	1 (1)			46 (50)	8 (7)	1 (1)	35 (33)	2 (2)	3 (1)	129 (119)	119 (122)
	川湯支署	130 (133)			1 (1)	14 (19)		3 (4)	18 (21)	4 (5)		79 (73)	11 (10)
	標茶消防署	320 (329)				49 (57)	7 (7)		30 (29)	1 (0)	3 (3)	128 (126)	102 (107)
	合計	794 (798)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	109 (126)	15 (14)	4 (5)	83 (83)	7 (7)	6 (4)	336 (318)	232 (239)
平成9年	弟子屈消防署	387 (394)				53 (74)	3 (3)	1 (1)	39 (37)	1	4 (3)	169 (158)	117 (118)
	川湯支署	134 (131)				12 (15)			27 (23)	2 (4)	2 (2)	74 (71)	17 (16)
	標茶消防署	356 (381)				63 (95)	5 (5)	2 (2)	24 (24)		7 (6)	149 (143)	106 (106)
	合計	877 (906)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	128 (184)	8 (8)	3 (3)	90 (84)	3 (4)	13 (11)	392 (372)	240 (240)
平成10年	弟子屈消防署	284 (283)	1 (1)			30 (40)			32 (32)	3 (4)	1 (1)	129 (119)	87 (85)
	川湯支署	121 (118)			1 (1)	9 (8)	1 (2)		23 (23)	1 (1)	1 (1)	77 (74)	8 (8)
	標茶消防署	319 (330)				58 (77)	2 (2)	3 (3)	23 (22)		10 (9)	145 (136)	78 (81)
	合計	724 (731)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	97 (125)	3 (4)	4 (4)	78 (77)	4 (5)	12 (11)	351 (329)	173 (174)
平成11年	弟子屈消防署	357 (351)				60 (65)	1 (1)	2 (2)	37 (33)	3 (3)	1 (1)	136 (132)	117 (114)
	川湯支署	127 (131)				14 (17)			29 (28)		2 (1)	75 (78)	7 (7)
	標茶消防署	321 (342)				67 (92)	5 (5)		19 (18)		4 (3)	144 (142)	82 (82)
	合計	805 (824)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	141 (174)	6 (6)	2 (2)	85 (79)	3 (3)	7 (5)	355 (352)	206 (203)
平成12年	弟子屈消防署	350 (343)		1	2 (2)	42 (50)	3 (3)	1 (1)	31 (29)	1	3 (1)	145 (139)	121 (118)
	川湯支署	144 (131)		1		24 (20)	1 (1)	1 (1)	24 (21)		1	82 (78)	10 (10)
	標茶消防署	372 (368)				58 (61)	3 (4)	3 (2)	25 (21)		7 (5)	168 (162)	108 (113)
	合計	866 (842)	0 (0)	2 (0)	2 (2)	124 (131)	7 (8)	5 (4)	80 (71)	1 (0)	11 (6)	395 (379)	239 (241)
平成13年	弟子屈消防署	362 (360)	1 (2)			40 (45)	2 (2)	1 (1)	43 (40)		4 (1)	131 (126)	140 (143)
	川湯支署	151 (142)			2 (3)	11 (11)	1 (1)		21 (19)		1	98 (93)	17 (15)
	標茶消防署	362 (353)	3 (2)			62 (62)	4 (3)	2 (2)	30 (27)		3 (3)	156 (149)	102 (105)
	合計	875 (855)	4 (4)	0 (0)	2 (3)	113 (118)	7 (6)	3 (3)	94 (86)	0 (0)	8 (4)	385 (368)	259 (263)

年別	区 分 署・支署別	事故種別救急出場件数（搬送人員）											
		計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
平成 14年	弟子屈消防署	411 (406)			2 (1)	44 (50)	2 (2)	1 (1)	33 (32)	1 (1)	4 (3)	180 (172)	144 (144)
	川湯支署	128 (126)				11 (16)			18 (16)	2 (2)	2 (2)	66 (60)	29 (30)
	標茶消防署	338 (327)				64 (68)	8 (8)		21 (19)		2 (1)	137 (123)	106 (108)
	合 計	877 (859)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	119 (134)	10 (10)	1 (1)	72 (67)	3 (3)	8 (6)	383 (355)	279 (282)
平成 15年	弟子屈消防署	378 (376)	1 (1)		1 (2)	44 (51)	2 (2)	4 (4)	38 (36)	1 (1)	3 (2)	162 (155)	122 (122)
	川湯支署	128 (123)			2 (3)	9 (13)	1		18 (16)	2 (2)	1	68 (62)	27 (27)
	標茶消防署	435 (442)	1 (2)			63 (73)	4 (4)	1 (1)	25 (24)		1 (1)	177 (169)	163 (168)
	合 計	941 (941)	2 (3)	0 (0)	3 (5)	116 (137)	7 (6)	5 (5)	81 (76)	3 (3)	5 (3)	407 (386)	312 (317)
平成 16年	弟子屈消防署	364 (358)	1 (1)			30 (28)	4 (3)	1 (1)	44 (42)		9 (8)	162 (161)	113 (114)
	川湯支署	164 (156)				13 (16)	4 (4)		24 (24)			97 (86)	26 (26)
	標茶消防署	418 (430)	1 (1)			62 (73)	6 (6)	2 (2)	30 (31)	1 (1)	4 (2)	178 (173)	134 (141)
	合 計	946 (944)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	105 (117)	14 (13)	3 (3)	98 (97)	1 (1)	13 (10)	437 (420)	273 (281)
平成 17年	弟子屈消防署	375 (366)	1 (1)			46 (47)	1 (1)		39 (38)		3 (3)	179 (174)	106 (102)
	川湯支署	140 (131)				10 (8)	1 (1)		21 (17)		3 (3)	85 (82)	20 (20)
	標茶消防署	392 (389)	1 (3)			55 (57)	3 (3)	3 (3)	23 (23)		4 (3)	157 (151)	146 (146)
	鶴居消防署	128 (127)				16 (22)	3 (3)	3 (3)	14 (14)		4 (1)	71 (68)	17 (16)
	合 計	1035 (1013)	2 (4)	0 (0)	0 (0)	127 (134)	8 (8)	6 (6)	97 (92)	0 (0)	14 (10)	492 (475)	289 (284)
平成 18年	弟子屈消防署	384 (373)				36 (33)		1 (1)	35 (34)	1 (2)	3 (1)	176 (169)	132 (133)
	川湯支署	163 (166)				12 (19)	1 (1)		21 (22)		4 (3)	99 (95)	26 (26)
	標茶消防署	387 (375)		1 (1)	1	44 (42)	2 (2)	3 (3)	22 (22)	1 (1)	5 (3)	182 (176)	126 (125)
	鶴居消防署	138 (129)				25 (20)	1 (1)	2 (2)	19 (19)		1 (1)	72 (69)	18 (17)
	合 計	1072 (1043)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	117 (114)	4 (4)	6 (6)	97 (97)	2 (3)	13 (8)	529 (509)	302 (301)
平成 19年	弟子屈消防署	375 (355)				23 (24)	2 (2)		42 (40)	1	8 (4)	182 (168)	117 (117)
	川湯支署	135 (121)				2 (1)	1 (1)		31 (28)	1		76 (70)	24 (21)
	標茶消防署	384 (383)				53 (53)	4 (4)		28 (28)		5 (4)	179 (176)	115 (118)
	鶴居消防署	131 (123)				18 (16)	2 (2)		19 (16)		1	81 (79)	10 (10)
	合 計	1025 (982)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	96 (94)	9 (9)	0 (0)	120 (112)	2 (0)	14 (8)	518 (493)	266 (266)

年別	区分 署・支署別	事故種別救急出場件数(搬送人員)											
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成20年	弟子屈消防署	343 (346)	1 (1)			33 (41)	2 (2)	1 (1)	27 (27)		5 (5)	164 (159)	110 (110)
	川湯支署	126 (115)				4 (3)	1 (1)		23 (20)		3 (1)	80 (76)	15 (14)
	標茶消防署	343 (338)	2 (3)			26 (30)	5 (4)		37 (37)		6 (2)	167 (161)	100 (101)
	鶴居消防署	120 (114)				15 (17)	2 (2)		16 (15)		2	67 (64)	18 (16)
	合計	932 (913)	3 (4)	0 (0)	0 (0)	78 (91)	10 (9)	1 (1)	103 (99)	0 (0)	16 (8)	478 (460)	243 (241)
平成21年	弟子屈消防署	369 (361)	1 (1)			20 (23)	2 (2)		34 (34)	1 (1)	4 (4)	201 (189)	106 (107)
	川湯支署	108 (103)				7 (4)	1 (1)		20 (20)			59 (57)	21 (21)
	標茶消防署	329 (314)	1 (1)			27 (21)	5 (5)	1 (1)	24 (25)		3 (1)	160 (152)	108 (108)
	鶴居消防署	139 (131)	1 (1)			14 (14)	1 (1)	1 (1)	18 (18)		4 (3)	85 (79)	15 (14)
	合計	945 (909)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	68 (62)	9 (9)	2 (2)	96 (97)	1 (1)	11 (8)	505 (477)	250 (250)
平成22年	弟子屈消防署	398 (379)				27 (25)	4 (4)	1 (1)	39 (38)	1 (1)	8 (3)	220 (210)	98 (97)
	川湯支署	117 (109)			2 (2)	3 (3)			23 (22)		2 (1)	66 (60)	21 (21)
	標茶消防署	362 (341)	1 (2)			24 (25)	6 (6)		31 (28)		6 (4)	181 (167)	113 (109)
	鶴居消防署	120 (112)				7 (5)	3 (3)	1 (1)	22 (22)		4 (3)	72 (68)	11 (10)
	合計	997 (941)	1 (2)	0 (0)	2 (2)	61 (58)	13 (13)	2 (2)	115 (110)	1 (1)	20 (11)	539 (505)	243 (237)
平成23年	弟子屈消防署	364 (357)				19 (19)	3 (3)		33 (32)		2 (2)	184 (179)	123 (122)
	川湯支署	136 (125)				1			23 (21)	2 (2)	1	81 (74)	28 (28)
	標茶消防署	330 (324)			1	32 (33)	5 (5)	1 (1)	43 (43)	1	1	161 (157)	85 (85)
	鶴居消防署	140 (136)				21 (23)	7 (6)		16 (16)		2 (1)	83 (79)	11 (11)
	合計	970 (942)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	73 (75)	15 (14)	1 (1)	115 (112)	3 (2)	6 (3)	509 (489)	247 (246)
平成24年	弟子屈消防署	369 (350)	2 (1)		1	37 (38)	2 (2)	1 (1)	33 (32)	2 (1)	2	185 (175)	104 (100)
	川湯支署	134 (121)				7 (7)			31 (27)		1 (1)	76 (67)	19 (19)
	標茶消防署	363 (359)				43 (51)	3 (3)		39 (38)		2 (2)	187 (178)	89 (87)
	鶴居消防署	127 (116)				15 (15)	2 (2)		16 (15)		4 (1)	83 (76)	7 (7)
	合計	993 (946)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	102 (111)	7 (7)	1 (1)	119 (112)	2 (1)	9 (4)	531 (496)	219 (213)
平成25年	弟子屈消防署	424 (417)			1	21 (23)	5 (5)		55 (53)		1 (1)	207 (201)	134 (134)
	川湯支署	123 (117)				5 (4)			18 (18)		3 (2)	71 (67)	26 (26)
	標茶消防署	300 (285)	1			23 (23)	7 (7)		31 (28)		3 (1)	146 (141)	89 (85)
	鶴居消防署	134 (129)				11 (12)	6 (6)		25 (24)		1 (1)	77 (73)	14 (13)
	合計	981 (948)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	60 (62)	18 (18)	0 (0)	129 (123)	0 (0)	8 (5)	501 (482)	263 (258)

年別	区分 署・支署別	事故種別救急出場件数（搬送人員）											
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成26年	弟子屈消防署	484 (470)	1 (1)			25 (19)	3 (3)	1 (1)	62 (60)	2 (2)	4 (4)	223 (219)	163 (161)
	川湯支署	138 (122)			1	7 (7)			19 (19)	1 (1)	4 (2)	74 (62)	32 (31)
	標茶消防署	329 (320)				26 (27)	4 (4)		35 (33)		3 (3)	184 (178)	77 (75)
	鶴居消防署	136 (126)				9 (7)	7 (7)	2 (2)	29 (28)			77 (74)	12 (8)
	合計	1087 (1038)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	67 (60)	14 (14)	3 (3)	145 (140)	3 (3)	11 (9)	558 (533)	284 (275)
平成27年	弟子屈消防署	415 (404)				40 (43)	3 (2)		45 (42)	1	3 (2)	188 (181)	135 (134)
	川湯支署	147 (141)	1		1	12 (11)	1 (1)		25 (24)		1 (1)	69 (67)	37 (37)
	標茶消防署	316 (302)				24 (25)	9 (9)		36 (34)		1	153 (148)	93 (86)
	鶴居消防署	145 (135)				14 (11)	5 (4)	2 (2)	28 (26)		1	87 (85)	8 (7)
	合計	1023 (982)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	90 (90)	18 (16)	2 (2)	134 (126)	1 (0)	6 (3)	497 (481)	273 (264)
平成28年	弟子屈消防署	358 (346)	1 (1)		1	26 (24)	7 (7)		28 (28)		2 (2)	173 (166)	120 (118)
	川湯支署	125 (118)			1 (1)	8 (8)			22 (19)			71 (67)	23 (23)
	標茶消防署	352 (338)				48 (47)	4 (4)		38 (37)		2 (1)	170 (161)	90 (88)
	鶴居消防署	158 (149)				19 (18)	6 (6)	1 (1)	33 (31)			87 (82)	12 (11)
	合計	993 (951)	1 (1)	0 (0)	2 (1)	101 (97)	17 (17)	1 (1)	121 (115)	0 (0)	4 (3)	501 (476)	245 (240)
平成29年	弟子屈消防署 川湯支署	485 (471)				28 (29)	5 (5)		62 (59)	1	5 (3)	243 (235)	141 (140)
	標茶消防署	361 (342)				24 (21)	11 (11)	1 (1)	47 (47)		7 (5)	174 (163)	97 (94)
	鶴居消防署	146 (138)				9 (9)	5 (5)	2 (1)	31 (29)			85 (81)	14 (13)
	合計	992 (951)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	61 (59)	21 (21)	3 (2)	140 (135)	1 (0)	12 (8)	502 (479)	252 (247)
平成30年	弟子屈消防署 川湯支署	527 (516)			3 (2)	28 (27)	3 (3)		55 (57)	1 (1)	3 (2)	247 (236)	187 (188)
	標茶消防署	349 (333)				28 (29)	5 (5)	2 (2)	45 (43)	1 (1)	4 (2)	174 (164)	90 (87)
	鶴居消防署	151 (137)	1 (1)			13 (8)	6 (6)		28 (27)		1 (1)	85 (77)	17 (17)
	合計	1027 (986)	1 (1)	0 (0)	3 (2)	69 (64)	14 (14)	2 (2)	128 (127)	2 (2)	8 (5)	506 (477)	294 (292)
令和元年	弟子屈消防署 川湯支署	503 (480)	1 (1)		2 (3)	37 (36)	2 (2)		46 (45)		5 (1)	233 (216)	177 (176)
	標茶消防署	326 (312)				36 (37)	3 (3)		27 (22)	1 (1)	2 (1)	184 (178)	73 (70)
	鶴居消防署	145 (141)				11 (14)	4 (4)		28 (26)		3 (1)	85 (83)	14 (13)
	合計	974 (933)	1 (1)	0 (0)	2 (3)	84 (87)	9 (9)	0 (0)	101 (93)	1 (1)	10 (3)	502 (477)	264 (259)

年別	区 分 署・支署別	事故種別救急出場件数（搬送人員）											
		計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
令和2年	弟子屈消防署	485			3	21	4	1	59	1	11	229	156
	川湯支署	(463)			(3)	(17)	(4)	(1)	(57)	(1)	(8)	(216)	(156)
	標茶消防署	375				26	3		37	2	1	184	122
	(357)				(24)	(3)		(37)				(178)	(115)
令和3年	鶴居消防署	133				9	8		18		2	88	8
	(126)				(7)	(8)		(17)		(1)	(85)	(8)	
	合 計	993	0	0	3	56	15	1	114	3	14	501	286
	(946)	(0)	(0)	(3)	(48)	(15)	(1)	(111)	(1)	(9)	(479)	(279)	
令和4年	弟子屈消防署	454			1	19	2	1	35		1	256	139
	川湯支署	(430)			(1)	(19)	(2)	(1)	(33)			(238)	(136)
	標茶消防署	370				23	7		47		1	176	116
	(350)				(21)	(6)		(46)		(1)	(167)	(109)	
令和4年	鶴居消防署	136				11	5		13		2	87	18
	(124)				(11)	(5)		(12)		(1)	(78)	(17)	
	合 計	960	0	0	1	53	14	1	95	0	4	519	273
	(904)	(0)	(0)	(1)	(51)	(13)	(1)	(91)	(0)	(2)	(483)	(262)	
令和4年	弟子屈消防署	465	1			16	3	1	59		5	240	140
	川湯支署	(442)	(1)			(17)	(3)	(1)	(56)		(3)	(224)	(137)
	標茶消防署	384				28	4		42		2	211	97
	(360)				(24)	(4)		(41)		(1)	(198)	(92)	
令和4年	鶴居消防署	152				8	5	1	29		2	91	16
	(145)				(11)	(5)	(1)	(26)		(1)	(85)	(16)	
	合 計	1001	1	0	0	52	12	2	130	0	9	542	253
	(947)	(1)	(0)	(0)	(52)	(12)	(2)	(123)	(0)	(5)	(507)	(245)	



表彰
・
叙勲

組合消防団表彰旗および竿頭綬受章

表彰旗

日本消防協会	昭和50年2月25日	川湯消防団
日本消防協会	昭和62年2月10日	弟子屈消防団
消防庁長官表彰	平成8年3月6日	弟子屈消防団
北海道消防協会	平成20年9月6日	川湯消防団
北海道消防協会	平成21年6月5日	鶴居消防団
北海道知事表彰	平成25年11月21日	鶴居消防団
日本消防協会	平成27年3月10日	鶴居消防団
消防庁長官表彰	平成31年3月6日	標茶消防団
消防庁長官表彰	平成31年3月6日	鶴居消防団
消防庁長官表彰	令和2年3月4日	川湯消防団

竿頭綬

消防庁長官表彰	昭和62年3月4日	弟子屈消防団
北海道知事	昭和63年11月25日	鶴居消防団
北海道消防協会	平成13年6月8日	川湯消防団
消防庁長官表彰	平成19年3月2日	鶴居消防団
北海道消防協会	平成19年6月1日	鶴居消防団
消防庁長官表彰	平成20年3月7日	川湯消防団
消防庁長官表彰	平成21年3月6日	標茶消防団
日本消防協会	令和4年3月4日	鶴居消防団



叙勲受章者

消防団名	階級・役職	氏名	受章年月日	叙勲の種類
弟子屈消防団	元 団 長	古屋 利八	昭和58年3月16日	勲五等瑞宝章
	元 副 団 長	本山松右衛門	昭和62年11月3日	勲六等瑞宝章
	元 分 団 長	坂本 力男	昭和63年11月3日	勲六等瑞宝章
	元 分 団 長	板倉 清二	平成元年4月29日	勲六等瑞宝章
	元 副 団 長	南 昭二	平成5年11月3日	勲六等瑞宝章
	元 副 分 団 長	川堰 欣一	平成10年11月3日	勲六等瑞宝章
	元 団 長	佐藤 繁一	平成11年3月22日	勲五等瑞宝章
	元 副 団 長	吉田 義則	平成16年11月3日	瑞宝単光章
	元 団 長	林 隆雄	平成22年11月3日	瑞宝双光章
	元 副 分 団 長	野田 孝	平成24年11月3日	瑞宝単光章
	元 副 分 団 長	村田 隆	平成27年11月3日	瑞宝単光章
	元 副 団 長	上村 保範	令和3年4月29日	瑞宝単光章
	元 分 団 長	野田 彰	令和3年4月29日	瑞宝単光章
	川湯消防団	元 副 団 長	本間 精一	昭和53年11月3日
元 分 団 長		山口 芳雄	昭和58年11月3日	勲六等瑞宝章
元 団 長		根津 文男	昭和60年4月29日	勲五等双光旭日章
元 団 長		鈴木 義光	平成8年11月3日	勲五等瑞宝章
元 分 団 長		潮見 春雄	平成11年4月29日	勲六等瑞宝章
元 団 長		見澤 憲政	平成12年4月29日	勲五等瑞宝章
元 団 長		松田 勝吉	平成17年4月29日	瑞宝単光章
元 副 団 長		納谷 幸治	平成22年4月29日	瑞宝単光章
元 分 団 長		山本 昭義	平成26年4月29日	瑞宝単光章
元 分 団 長		小林 三男	平成27年4月29日	瑞宝単光章
元 団 長		濱岡 正次	令和2年4月29日	瑞宝双光章
元 分 団 長		柴崎 一彦	令和3年11月3日	瑞宝単光章
弟子屈町消防団	元 副 分 団 長	市山 榮吉	令和4年4月29日	瑞宝単光章
標茶消防団	元 団 長	森山廣太郎	昭和52年1月31日	勲六等瑞宝章
	元 団 長	三本仙一郎	昭和55年4月29日	勲五等瑞宝章
	元 副 団 長	越善 武	平成3年11月3日	勲六等単光旭日章
	元 副 団 長	北浦 惇	平成12年9月14日	瑞宝単光章
	元 団 長	高橋 昭壽	平成15年11月3日	瑞宝単光章
	元 分 団 長	寺島 壽	平成19年11月3日	瑞宝単光章
	元 団 長	幸坂 邦夫	平成20年11月18日	瑞宝単光章
	元 分 団 長	伊藤新太郎	平成21年11月3日	瑞宝単光章
	元 副 団 長	牛崎 義和	平成23年4月29日	瑞宝単光章
	元 副 団 長	梶川 宏	平成24年4月29日	瑞宝単光章
	元 副 団 長	栗栖 一巳	令和元年11月3日	瑞宝単光章
	元 分 団 長	田中 徳久	令和2年11月3日	瑞宝単光章
	元 部 長	村上 好明	令和3年11月	瑞宝単光章
元 分 団 長	高平 敏夫	令和4年11月3日	瑞宝単光章	

消防団名	階級・役職	氏名	受章年月日	叙勲の種類
鶴居消防団	元 団 長	三浦 菊治	平成17年3月31日	瑞宝双光章
	元 副 団 長	山口 紘美	平成26年4月29日	瑞宝单光章
	元 分 団 長	鈴木 重行	平成28年4月29日	瑞宝单光章
	元 副 団 長	伊藤 力	平成29年7月2日	瑞宝单光章
	元 分 団 長	宮崎 昭夫	平成30年4月29日	瑞宝单光章
	元 分 団 長	遠藤 諭	平成30年11月3日	瑞宝单光章
	元 団 長	櫻橋 敏夫	令和元年11月3日	瑞宝双光章
危険業務 従事者叙勲	元 消 防 長	澤頭 昇	平成17年11月3日	瑞宝单光章
	元 署 長	関澤 幸一	平成18年11月3日	瑞宝单光章
	元 次 長	森田 紀男	平成19年4月29日	瑞宝单光章
	元 消 防 長	館 定勝	平成20年11月3日	瑞宝单光章
	元 消 防 長	中山十二男	平成22年8月8日	瑞宝单光章
	元 支 署 長	大友 泰雄	平成23年4月29日	瑞宝单光章
	元 署 長	船坂 計明	平成24年4月29日	瑞宝单光章
	元 消 防 長	古屋 勝	平成26年4月29日	瑞宝单光章
	元 支 署 長	大橋 正	平成28年4月29日	瑞宝单光章
	元 消 防 長	館 郁男	平成29年4月29日	瑞宝双光章
	元 署 課 長	片岡 福美	平成29年11月3日	瑞宝单光章
	元 署 長	山崎 達生	令和元年11月3日	瑞宝单光章
	元 署 長	葛尾 政行	令和2年4月29日	瑞宝单光章
	元 署 課 長	高田 和則	令和4年4月29日	瑞宝单光章
元 次 長	久江 和則	令和4年11月29日	瑞宝单光章	

消防長官表彰者

消防団名	階級	氏名	受章年月日	叙勲の種類
弟子屈消防団	元分団長	板倉 清二	昭和59年3月9日	永年勤続功労章
	元副分団長	川堰 欣一	昭和62年3月4日	永年勤続功労章
	元団長	佐藤 繁一	平成元年3月6日	功 労 章
	元副団長	南 昭二	平成2年3月8日	永年勤続功労章
	元団長	林 隆雄	平成4年3月4日	永年勤続功労章
	元副団長	吉田 義則	平成8年3月6日	永年勤続功労章
	元副分団長	野田 孝	平成10年3月7日	永年勤続功労章
	団 長	藤田 茂	平成15年3月5日	永年勤続功労章
	元団長	林 隆雄	平成20年3月7日	功 労 章
	元副団長	上村 保範	平成27年3月6日	永年勤続功労章
	団 長	藤田 茂	平成28年3月9日	功 労 章
	副団長	白山 義信	平成29年3月8日	永年勤続功労章
	分団長	金川 礼光	平成30年3月7日	永年勤続功労章
川湯消防団	元団長	根津 文男	昭和52年3月7日	功 労 章
	元団長	鈴木 義光	昭和53年3月7日	永年勤続功労章
	元分団長	山口 芳雄	昭和54年3月5日	永年勤続功労章
	元分団長	潮見 春雄	昭和57年3月3日	永年勤続功労章
	元団長	見澤 憲政	昭和63年3月9日	永年勤続功労章
	元団長	鈴木 義光	平成2年3月8日	功 労 章
	元副団長	納谷 幸治	平成4年3月4日	永年勤続功労章
	元副分団長	中島 慶吉	平成7年3月3日	永年勤続功労章
	元団長	松田 勝吉	平成9年3月5日	永年勤続功労章
	元分団長	小林 三男	平成11年3月5日	永年勤続功労章
	元分団長	山本 昭義	平成12年3月8日	永年勤続功労章
	元団長	濱岡 正次	平成19年3月2日	永年勤続功労章
	副団長	不動 繁雄	平成22年3月5日	永年勤続功労章
	元団長	濱岡 正次	平成27年3月6日	功 労 章
	副団長	佐々木英勝	平成28年3月9日	永年勤続功労章
	元分団長	柴崎 一彦	平成29年3月8日	永年勤続功労章
	分団長	松田 弘行	令和2年3月4日	永年勤続功労章
分団長	作田 幸久	令和3年3月19日	永年勤続功労章	
弟子屈町消防団	分団長	江上 詞	令和4年3月2日	永年勤続功労章
	分団長	吉清水幸夫	令和4年3月2日	永年勤続功労章
標茶消防団	元副団長	北浦 惇	昭和61年3月5日	永年勤続功労賞
	元分団長	寺島 壽	昭和62年3月4日	永年勤続功労賞
	元副団長	牛崎 義和	昭和63年3月9日	永年勤続功労賞
	元分団長	佐藤 武	平成2年3月8日	永年勤続功労賞
	元団長	高橋 昭壽	平成7年3月3日	功 労 賞
	元分団長	伊藤新太郎	平成8年3月6日	永年勤続功労賞
	元副団長	高橋 要	平成10年3月7日	永年勤続功労賞
	元団長	幸坂 邦夫	平成13年3月8日	永年勤続功労賞
元副団長	梶川 宏	平成14年3月6日	永年勤続功労賞	

消防団名	階級	氏名	受章年月日	叙勲の種類
標茶消防団	元分団長	木内 貞良	平成16年3月4日	永年勤続功労賞
	元部長	村上 好明	平成18年3月3日	永年勤続功労賞
	元副団長	栗栖 一巳	平成21年3月6日	永年勤続功労賞
	元分団長	田中 徳久	平成22年3月5日	永年勤続功労賞
	元分団長	高平 敏夫	平成24年3月8日	永年勤続功労賞
	分団長	森田 誠一	平成25年3月6日	永年勤続功労賞
	元分団長	麻野 孝行	平成26年3月5日	永年勤続功労賞
	副団長	三島木洋一	平成27年3月6日	永年勤続功労賞
	団長	田中 純一	平成28年3月9日	永年勤続功労賞
	副団長	鈴木 勝巳	平成29年3月8日	永年勤続功労賞
	元副分団長	小山 富男	平成30年3月7日	永年勤続功労賞
	副団長	蛭名 嘉章	平成31年3月6日	永年勤続功労賞
	分団長	藤原 利洋	令和2年3月4日	永年勤続功労賞
	団長	田中 純一	令和3年3月19日	功 労 賞
	分団長	澁谷弘一郎	令和3年3月19日	永年勤続功労賞
	元分団長	畠山 雅之	令和4年3月2日	永年勤続功労賞
鶴居消防団	元団長	三浦 菊治	平成3年3月6日	功 労 賞
	元副団長	伊藤 力	平成8年3月6日	永年勤続功労賞
	元団長	櫻橋 敏夫	平成13年3月8日	永年勤続功労賞
	元分団長	宮崎 昭夫	平成14年3月6日	永年勤続功労賞
	元副団長	山口 紘美	平成19年3月2日	永年勤続功労賞
	元分団長	松井 廣道	平成20年3月7日	永年勤続功労賞
	元団長	櫻橋 敏夫	平成21年3月6日	功 労 賞
	元分団長	鈴木 重行	平成22年3月5日	永年勤続功労賞
	元分団長	遠藤 諭	平成23年3月5日	永年勤続功労賞
	元分団長	小野寺正幸	平成24年3月7日	永年勤続功労賞
	副分団長	澁谷 松男	平成26年3月5日	永年勤続功労賞
	元分団長	渡部 隆信	平成27年3月6日	永年勤続功労賞
	元副分団長	井上 元嗣	平成29年3月8日	永年勤続功労賞
	元分団長	菊地 哲男	平成31年3月5日	永年勤続功労賞
分団長	澁谷 忠裕	令和2年3月7日	永年勤続功労賞	



資

料

釧路管内消防団員技能競技大会の記録

年度	開催地	小型ポンプの部	大型ポンプの部
平成元年	浜中町	優勝 川湯消防団 準優勝 標茶消防団B	準優勝 標茶消防団
平成2年	標茶町	優勝 弟子屈消防団 準優勝 標茶茶安別班	準優勝 標茶第2分団 3位 標茶第3分団
平成3年	白糠町	準優勝 標茶第2分団 3位 鶴居第4分団	
平成4年	釧路市	準優勝 鶴居第4分団	準優勝 標茶第1分団
平成5年	釧路町	準優勝 川湯消防団A	優勝 弟子屈消防団
平成6年	弟子屈町		優勝 弟子屈消防団
平成7年	阿寒町	準優勝 標茶消防団 3位 弟子屈消防団	3位 標茶消防団A
平成8年	釧路市	準優勝 鶴居第3分団 3位 標茶消防団	優勝 標茶消防団B
平成9年	厚岸町	準優勝 鶴居第4分団	優勝 標茶第3分団
平成10年	弟子屈町 川湯		優勝 鶴居第1分団 準優勝 標茶第3分団
平成11年	音別町	優勝 川湯消防団 準優勝 標茶第5分団	優勝 弟子屈消防団
平成12年	浜中町	優勝 弟子屈消防団 3位 鶴居消防団A	優勝 鶴居第1分団
平成13年	鶴居村	準優勝 鶴居第2分団	優勝 鶴居第1分団 3位 標茶第2分団
平成14年	標茶町	優勝 鶴居消防団B 準優勝 弟子屈消防団 3位 鶴居消防団A	優勝 鶴居第1分団 準優勝 弟子屈消防団 3位 標茶第3分団
平成15年	釧路町	準優勝 鶴居消防団B	優勝 鶴居第1分団 準優勝 弟子屈消防団
平成16年	白糠町	優勝 鶴居消防団A 準優勝 鶴居消防団B	準優勝 弟子屈消防団 3位 鶴居第1分団
平成17年	弟子屈町	優勝 鶴居消防団A 準優勝 川湯消防団B 3位 鶴居消防団B	優勝 弟子屈消防団
平成18年	阿寒町	優勝 鶴居消防団A 準優勝 鶴居消防団B	優勝 鶴居第1分団 3位 標茶第3分団
平成19年	厚岸町	優勝 弟子屈消防団 準優勝 鶴居消防団A 3位 鶴居消防団B	優勝 鶴居第1分団 準優勝 標茶第1分団
平成20年	弟子屈町 川湯	準優勝 鶴居消防団A 3位 川湯消防団B	3位 標茶第1分団
平成21年	釧路市	優勝 弟子屈消防団 準優勝 鶴居消防団B	3位 鶴居第1分団
平成22年	釧路市	優勝 弟子屈消防団 3位 鶴居消防団A	優勝 標茶第1分団
平成23年	釧路市	準優勝 標茶第5分団 3位 鶴居消防団B	優勝 標茶第1分団
平成24年	釧路市		準優勝 標茶第1分団 3位 弟子屈消防団

年度	開催地	小型ポンプの部	大型ポンプの部
平成25年	釧路市	優勝 鶴居消防団A 3位 川湯消防団B	準優勝 鶴居第1分団 3位 弟子屈消防団
平成26年	釧路市		優勝 鶴居第1分団 3位 標茶第3分団
平成27年	釧路市	優勝 鶴居消防団B	優勝 標茶第1分団 準優勝 標茶第3分団
平成28年	釧路市	優勝 川湯消防団	準優勝 標茶第1分団 3位 標茶第3分団
平成29年	釧路市	優勝 弟子屈消防団B 準優勝 弟子屈消防団A 3位 鶴居消防団B	準優勝 鶴居第1分団 3位 標茶第3分団
平成30年	釧路市	中止	中止
令和元年	釧路市	優勝 鶴居消防団B 3位 川湯消防団	準優勝 鶴居第1分団
令和2年	釧路市	中止	中止
令和3年	釧路市	中止	中止
令和4年	釧路市		3位 弟子屈消防団

釧路管内消防団員技能競技大会の記録



北海道消防操法訓練大会出場

昭和48年 8月17日	川湯消防団	ポンプ車操法	優勝
昭和52年 7月21日	標茶消防団	小型ポンプ操法	
昭和55年 8月22日	弟子屈消防団	ポンプ車操法	準優勝
昭和59年 7月27日	川湯消防団	小型ポンプ操法	
昭和63年 7月29日	標茶消防団	ポンプ車操法	優勝
平成 4年 7月31日	弟子屈消防団	小型ポンプ操法	優勝
平成10年 7月30日	標茶消防団	ポンプ車操法	準優勝
平成15年 7月24日	川湯消防団	ポンプ車操法	
平成18年 7月20日	弟子屈消防団	ポンプ車操法	準優勝
平成23年 7月14日	鶴居消防団	小型ポンプ操法	
平成24年 7月19日	標茶消防団	小型ポンプ操法	
平成28年 7月15日	川湯消防団	小型ポンプ操法	
令和元年 7月19日	弟子屈消防団	小型ポンプ操法	準優勝



民間防火組織結成状況

名 称	会長及び指導者名	結成年月日	クラブ会員数
弟子屈防火管理協議会	筒井 庄一	昭和57年 6 月 1 日	78
弟子屈婦人防火クラブ	柏倉 征子	昭和55年 8 月 1 日	15
認定こども園ましゅう幼年消防クラブ	鈴木 幸栄	昭和60年 4 月 1 日	112
標茶女性消防クラブ	三浦 直美	昭和55年 8 月 1 日	31
磯分内少年消防クラブ	森田 泰彦	昭和55年 8 月 1 日	12



協力団体

町 村 名	名 称	会 長 名
弟子屈町	弟子屈消防後援会	菊池 浩
	川湯消防分団後援会	大友 泰雄
標茶町	標茶消防後援会	生田 健
	標茶町消防後援会連合会	生田 健
鶴居村	鶴居消防連合後援会	山本 孝司
	第1分団後援会	山本 孝司
	下幌呂消防部後援会	中谷 正人
	第2分団後援会	藤澤 常行
	第3分団後援会	井上 義幸
	第4分団後援会	遠藤 諭

消防行事 訓練の様子



東日本大震災 被害状況 活動写真



無人航空機（ドローン）による災害現場写真





編集後記

釧路北部消防事務組合では昭和48年4月1日常備消防発足から50周年を迎えるにあたり、この記念誌を発行いたしました。

50年の歴史の中には様々な災害が発生しその都度対策がなされ、緊急援助隊の法制化や災害における特殊装備の普及など大きな変遷を遂げてきました。

これまでの先人達が築き上げてきた多くの経験をこれからも後世に残し、次の50年へ向けて新たな飛躍を図る契機として職・団員一致団結し「安心・安全なまちづくりに」に繋げるよう努力してまいります。

記念誌発刊にあたりましては、多くの皆様方に貴重な資料の提供やご助言を頂き誠にありがとうございました。

記念誌編集者一同

釧路北部消防事務組合創設50周年記念誌 消防50年のあゆみ

発刊 令和5年6月

発行所 釧路北部消防事務組合消防本部

川上郡弟子屈町美里3丁目8番1号

電話 015-482-3276

発行者 釧路北部消防事務組合 組合長 徳永哲雄

編集 釧路北部消防事務組合

印刷 白糠印刷株式会社

